

ひとのわ

こころのわ



2010年
総明会会報

明治大学付属
明治高等学校
中学校同窓会

明治中學校校歌

一章

帝都の真中駿河臺、
遙かに望む富士のねの
高き理想の影追ひて
集る健兒勇ましや

二章

學びの高嶺文の海、
嶮しく荒き行末を
懼れず笑みて進みゆく
我等が意氣は天を吞む

三章

忠と孝の大糸を
色どる正義、愛、誠
我等が胸をかさるべき
大和錦の美ならずや

四章

世界に王たる日の本の
國民の基と身をなして
我等が校の名を掲げむ
我等が國の威を掲げむ



校歌

作詞 児玉 花外
作曲 山田 耕筈

一、白雲なびく駿河台
眉秀でたる若人が
撞くや時代の暁の鐘
文化の潮みちびきて
遂げし維新の栄になふ
明治その名で吾等が母校
明治その名で吾等が母校

二、權利自由の揺籃の
歴史は古く今もなほ
強き光に輝けり
独立自治の旗翳し
高き理想の道を行く
我等が健兒の意氣をば知るや
我等が健兒の意氣をば知るや

三、靈峰不二を仰ぎつつ
刻苦研鑽他念なき
我等に燃ゆる希望あり
いでや東亜の一角に
時代の夢を破るべく
正義の鐘を打ちて鳴らさむ
正義の鐘を打ちて鳴らさむ

総 明 会

昭和59年開催の第20回総会において命名された。
初代校長の鶴澤総明先生のお名前をいただき、かつ、
明中高同期会と同窓生の総体の連帯を意味するものである。



目 次

2	総明会総会・懇親会のご案内	23	特集 「ひとのわ こころのわ」
4	総明会会長就任挨拶	I	恩師とのわ
5	校長挨拶	II	親子のわ
6	名誉会長挨拶	III	東京五輪のわ
7	前会長退任挨拶	IV	現役生徒のわ
8	2009年度 活動報告	V	応援スタンドのわ
9	総明会 本部・理事一覧	53	学校報告
10	総明会 評議委員会名簿	67	活動報告 同期会・班クラブOB会
11	平成21年度 会計報告	121	前年度幹事学年挨拶
12	明大明治力ミングのお知らせ	122	次年度幹事学年挨拶
16	チャリティーゴルフ大会	123	本年度幹事学年挨拶
18	平成21年度 明朗会活動報告	126	総明会 御寄付者一覧
19	総明会ホームページリニューアル	128	総明会 会則
20	総明会活動 班クラブ合宿への差し入れ	132	創立100周年寄付のお願い
		134	創立100周年 御寄付者一覧
		135	編集後記

金子光男

(明治大学政治経済学部教授)

明治大学付属
明治高校・中学校 校長

納谷 廣美

明治大学 長

長堀 守弘

(学)明治大学 理事長

第46回 総明会 総会・懇親会のご案内

明治大学付属明治高等学校・中学校卒業生の皆様におかれましては、益々、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、平成22年 総明会 総会・懇親会は、下記のとおり開催する運びとなりました。

今年は、「**ひとのわ こころのわ**」をテーマに掲げ、昭和58年卒「明輪会」が幹事学年を務めさせていただいております。

明るく、楽しい話題の少ない社会情勢ではありますが、当日は、ご臨席の皆様にて、楽しいひとときをお過ごしいただけるよう趣向を凝らした企画を用意して、お待ちしております。

ご同期、ご家族お誘い合わせの上、是非、ご出席いただきますようご案内申し上げます。

また、総会の前に、在校生も参加する「**明大明治カミング**」を開催いたします。詳細は別記事12～15ページをご参照ください。

記

日時：平成 22 年 11 月 20 日（土）

総 会 午後 5 時 1 0 分から

懇親会 午後 6 時から（受付開始 午後 5 時 3 0 分）

場所：ホテルイースト21東京 1 F イースト21ホール

江東区東陽 6 - 3 - 3 TEL（代表）03（5683）5683

会費：一般会員	10,000円
シニア会員（昭和43年以前のご卒業）	8,000円
ヤング会員（平成15年から平成18年までのご卒業）	8,000円
学生会員	3,000円
ご同伴者	5,000円

※ お手数ながら、ご出席いただける場合には、同封の葉書による返信・参加申込書によるFAX・ホームページ上からのご連絡をお願い申し上げます。

【ホームページ】<http://www.meiji.cside7.com/>

なお、お知らせをいただいていない場合でもご出席いただけますので、お誘い合わせの上、ぜひ会場まで足をお運びください。



第四十六回 総会 式次第案	一、開会	二、会長挨拶	三、議長選出	四、書記選出	五、議事	六、閉会
	会務報告	会計報告	監査報告	母校・百周年事業についてのご報告、ご提案		

「ホテルイースト21」周辺の地図と無料シャトルバスのご案内

シャトルバスのご案内

【JR錦糸町駅】
南口出口より左手、四ツ目通り沿い
「LIVIN」高架下より出発
【バス運行時間】
15:00～18:00
(00・30分毎発)

【東西線東陽町駅】
1番出口より右手、永代通り沿い
「マクドナルド」前より出発
【バス運行時間】
15:00～18:00
(00・15・30・45分毎発)

※バスの出発時間は交通状況により
多少前後する場合がございます。

〔シャトルバス以外の交通機関〕

- 地下鉄 ・東陽町駅[東京メトロ東西線]下車、徒歩約7分
東陽町駅1番出口（大手町寄り）より右手へお進みください。
・住吉駅[都営新宿線・東京メトロ半蔵門線]下車、
バス約10分[東22系統/東陽町駅・東京駅北口行：豊住橋（東京イースト21）下車]。
- J R ・錦糸町駅[JR総武線]下車、
バス約15分[東22系統/東陽町駅・東京駅北口行：豊住橋（東京イースト21）下車]。
- タクシー ・東京駅[JR山手線・各線・新幹線]より約15分 錦糸町駅[JR総武線]より約10分

総明会会長就任挨拶

明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会
総明会会長 尾 島 育 四 郎



この度、伝統ある総明会会長の大役を仰せつかりました尾島育四郎と申します。本会の発展と充実の為に微力を尽くしたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

総明会は、戦前・戦後の諸先輩方のご努力により会として立派に成長・発展して参りました。すなわち、1965年6月に笹村初代

会長の時に会が発足致しました。片岡・栗原会長を経て、坂本会長に至るまでが基礎固めと会の発展期であったと思います。5代目の向殿会長の時に参加致しましたが、現在と違って財政的にも、又、スタッフ人員の数の少なさでも比べようありませんでした。

しかし会長を囲む諸先輩方の層の厚さは、現在より充実していた感があります。財政基盤の確立、組織の確立、事業の活発化、母校との交流の活発化、以上4点を目的にして参りましたが、大凡の事は達成出来た事と思ひます。

次のステップへの課題は、総明会と母校とのコミュニケーションを盛んにすることが、我々に与えられた使命だろうと考えます。

母校も共学制に移行しましたが、「質実剛健・独立自治」の校訓は本校の理念であります。共学制になる事を自覚して理念を解釈しますと（強さ・優しさ・純朴さ）と学びの自立・共生の自治（共に生きる）となります。

来年度の4月には女性会員が誕生します。そして2年後に母校の百周年・5年後に総明会の50周年を迎えます。多くの節目を迎えますが、私は就任の挨拶で「経験が、知識がないからと言って気

後れることはない」という道元禅師の言葉を引用致しました。大切な事は付和雷同する事無く、確りと自分達の理念を持って「和」を貫く事と思ひます。

その基礎に建って母校と同窓会がよりベストな意思疎通を築いてゆく事が大切だと考えます。

今回懇親会企画の中で明治カミングが学校側の協力のもと実施されます。学校側に於いても百周年事業の参考になりたいとお聞きしました。お互いの協力関係が充分に発揮された成果と思ひます。今後も真摯に向き合つてまいります。

結びに会員皆様方の総会・懇親会出席を心からお待ちしております。申し上げております。

「明治のわ」・「未来へのわ」

明治大学付属明治高校・中学校

校長 金子 光男



今年も本誌刊行の頃となりました。早速、会報委員より原稿依頼をうけましたが、その折、付属と大学とのつながりを示す「明治のわ」と百周年に向けた「未来へのわ」を中心に、という注文がきました。以下、これについて思うところを記してみましよう。

今年、私が大学に就職して39年目です。その間、

私は大学の側から付属を眺めてきたわけですが、昨年よりわが視線はガラリと一転し、今や付属から大学を見ることになりました。こんな二通りの経験をした教員は、明大広しといえど、そうはおらず、それだけにわが体験も何かの参考になるやもしれません。

付属とは、以前の私にとって何であったか。大学に付置された機関であり、それゆえに卒業生も受け入れる。ならば、出来るだけ優秀な生徒を送られたし。

これが本音のところでしょう。冷たいといえば、誠にツメタイものでした。しかし、今は違います。生徒は

すべてわが教え子です。各人の多幸を祈り、できるだけその希望をかなえてやりたい。そのための労を、私は吝んではならないと自戒しております。

ここに付属と大学を繋ぐ私の「明治のわ」ができました。

考えてみれば、付属は単に大学に生徒の受け入れを願うだけの従属的な組織ではなく、大学から懇請されて、明大の中核的な存在として活躍できる学生を輩出すべき機関であります。

であれば、付属は大学に對してこんなふうになければなりません。我々は優れた学生を送っている。それに見合った教育がなされておりましたか、等々。

私共の関係はこのように双方向的なものでなければなりません。その時、私共ははじめて互いに尊敬しあ

う関係を築くことができるはずです。

しかし、そのためには、まずは付属側がそれだけの実績を残し、大学からの今以上の信頼をかちえなければならぬでしょう。これができるとき、「明治のわ」は力強く、いっそうの輝きを持つことになりましよう。

「未来へのわ」を述べる紙幅がきました。ここでは一つのことだけを記しておきます。2年後の百周年は、本校の向こう百年の発展を願い、その基盤となるような祝典でなければ意味はありません。

明大付属は、あの百周年を期に一変した。付属の飛躍はあの日以来のことである。後の校史編纂者、教育界の人々に、かような嘆声と羨望の声を発せさせるようなものでありたい、と願っております。

母校と誇り

総明会 名誉会長
向殿 政男

誇れる母校を持つということは幸せなことである。

我々の母校明治中学・高校が、伝統を引き継ぎながら新しい時代の要請に応え、そして新しい時代の息吹を吸収しながら新天地である調布の地で着実に発展し、地道に、誠実に有意な人材を育成している、そういうことを風聞に聞く時代の来ることを強く願っている。

更に、世界へ向けて自ら飛び出すような進取の氣に富んだ素晴らしい卒業生を輩出しているということや、幾つかの分野で、その分野は学問でも、スポーツでも、芸術、芸能でも問わないが、他に負けない秀でた特徴を

もった学校である、そういうことを報道で聞く時代の来ることを強く願っている。

そして、そのつばみや花が、明治大学で大きく開花し、世間に知られるようになり、明治中学・高校出身者が明治大学はもろんのこと、日本や世界をリードする人物に育って行く、そういう時代の来ることを願い、夢見ている。それが、卒業生をはじめ、明治に係するオール明治の人々の誇りに繋がる。

母校を誇りあるものにするのは、何も現役の学生や教職員だけではない。学校の評価は卒業生で定まるともいわれる。同窓会である

総明会のメンバーも、それぞれの分野で誠実に活躍していることが、ひいては母校の評価へ繋がり、我々の誇りに繋がる。

今年の幹事学年である明輪会の皆様の年齢が、私の息子の年齢に近くなり、従ってその父母の年齢が私と同じ年ぐらいになりつつあることを知って、感慨深いものがある。同窓会活動は、何も昔を懐かしみ、卒業生同士の親睦を深めるだけが目ではない。

その第一義は、如何に母校の発展に支援、応援できるかにある。その支援・応援活動を通して我々卒業生のお互いの親睦を深めるところに真の目的がある。

今年も見事に総明会の伝統が引き継がれ、明輪会の皆様のご努力で総会と懇親会が立派に開催される、そ

のこと自体が母校に対する支援・応援でもあり、そのご苦労に深く感謝すると共に、この伝統を誇りに思う。私たちが母校明治中学・高校を卒業したということ

は、永遠の縁であり、孫や子孫まで語り継がれるはずである。その母校が発展することは卒業生の誇りであり、その礎を築き、継続させることは我々卒業生の責務である。

昭和36年卒
総明会
名誉会長

明治大学教授

向殿 政男

TEL03-3701-1691

退任のご挨拶

総明会 前会長

佐久間 洋一

皆さん、総明会会長在任中の6年間大変お世話になりました。歴史ある総明会

ではあつという間に駆け抜けた6年間でした。

会長が私で務まるのか不安の中で引き受けましたが、何とか無事に大役を務めて退くことができましたのは、至らぬ私を支えて下さった皆さんのお陰と感謝しております。ありがとうございます。

会長を務めさせていただいたお陰で、これまで縁のなかった多くのことを体験し、数々の“氣付き”がありました。特に、一私学の同窓会に過ぎないと思っていた総明会が実は多方面の方々から注目されているという事実です。

今振り返りますと、2003年の秋、私の故郷といえる浅草のビューホテルで会長に指名されてから尾島現会長にバトンタッチした昨年11月まで、時間としては長いようですが感覚とし

関係者などから総明会ホームページを見た感想をいただいたり、会の発展についての提言をいただいたりしました。

大学の理事長や学長、理事、学部長、先輩や後輩、教職員、PTAの役員等々とお会いする中で、刻々と歴史が刻まれ営々と伝統が築かれていくと実感し、母校が百年続く理由がここにあると再認識しました。

その同窓会である総明会は、総会、懇親会が毎年定期的に幹事学年を中心に開催されているだけでなく、同窓会誌を発行し、年間を通して諸活動をするための各種委員会が組織化されており、このことは他の同窓会と比較しても自慢できるものです。

さて、これまであらゆる機会に繰り返してまいりましたが、総明会は特定の人のものでなく、会員一人

一人のものであり、人事を含めた組織、運営は、個々の会員が総明会に魅力を感じ、活動に参加できるようにすることを最大限考慮して決定されなければなりません。

言うは易し行うは難ですが、さらなる総明会の発展には欠かせないと考えています。幸いにも後任の尾島会長は私と対照的な親分肌でリーダーシップを発揮されておられますので、同会長の下で時代に即した魅力ある新たな企画を始められるものと確信しております。

最後に、総明会と皆さんのご発展を祈念し、私の退任の挨拶とさせていただきます。

2009年度活動報告と新任ご挨拶

総明会 専務理事

竹澤

啓

今年度から、総明会専務理事を務めさせていただいております竹澤です。

2001年に翼明会実行委員長として総明会の幹事学年を務めてから、はや10年たちました

その間、財務委員長、名簿委員長を務めてまいりました。

このたび、専務理事としてさらなる総明会の発展と充実に向けて微力ながら誠心誠意、頑張っていこうと思っております。

今年度より11年前より続けてまいりました委員会制度の変更をいたしました。

次頁にありますように、育成委員会等を新設し、5年後10年後も総明会の伝統を絶やさず、また毎年の総会、懇親会を卒業後27年たっ

た幹事学年が担当するとい
う、総明会のすばらしい制
度を次世代の会員に円滑に
引きついでいけるように、
各委員会の委員長・副委員
長ともども一致団結し総明
会のさらなる飛躍を目指し
ていく所存です。

会員数について今年度卒業の229名をくわえ、合計18330名の卒業生総数となります。
現在総明会で住所を把握している会員総数は11500名です。

ら、総明会ホームページを一新いたしました。見やすく、そして新しい情報をいち早く写真つきで掲載をするをモットーに広報委員会が作成しています。
ぜひ会員の皆様にはホームページを見ていただきたく申し上げます。
ホームページ アドレス
<http://www.meiji-cside7.com/>

2009／11／29	総会 懇親会 (ANA インターコンチネンタルホテル)
2009／12／12	忘年会
2010／ 1／20	新大学卒業生との懇親会
2010／ 1／22	第一回理事会
2010／ 1／29	第一回評議員会
2010／ 1／30	白駿会新年会
2010／ 2／16	新卒業生総明会説明会
2010／ 2／26	武陵会懇親会
2010／ 3／10	明治高校卒業式
2010／ 3／12	新大学卒業生第一回同期会
2010／ 3／13	新卒業生との昼食会
2010／ 3／19	第二回理事会
2010／ 3／27	第二回評議員会（母校にて）
2010／ 4／ 6	明治高校入学式
2010／ 5／21	第三回理事会
2010／ 5／22	武陵会総会（明大中野高校）
2010／ 6／ 6	総明会チャリティゴルフ (97名参加成田の森C C)
2010／ 6／20	白駿会総会 (京王プラザホテル)
2010／ 7／ 3	評議員 クラブO B会懇親 パーティー（肉の万世）
2010／ 7／23	第四回理事会

平成22年度 総明会 本部・理事一覧

(敬称略)

【委員会・役職】		【卒年】	【氏名】
会長		昭和41年卒	尾島 育四郎
副会長		昭和44年卒	関谷 芳久
副会長		昭和45年卒	吉田 耕太郎
副会長		昭和51年卒	井家上 哲史
専務理事		昭和49年卒	竹澤 啓
専務理事補佐		昭和51年卒	小林 祥悟
会計		昭和43年卒	中村 正容
事務局長		昭和54年卒	熊倉 章雄
会計	副会計	昭和49年卒	佐藤 眞弘
	副会計	昭和56年卒	狩野 智雄
事務局	副事務局長	昭和54年卒	荒井 信之
総会委員会	委員長	昭和47年卒	戸張 毅
	副委員長	昭和52年卒	石黒 理樹
	副委員長	昭和56年卒	須藤 貢一
会報委員会	委員長	昭和54年卒	玉置 孝一
	副委員長	昭和56年卒	飯野 善明
	副委員長	昭和56年卒	衛藤 雅一
	副委員長	昭和57年卒	関川 一浩
ゴルフ委員会	委員長	昭和52年卒	有田 幸訓
	副委員長	昭和54年卒	志村 和哉
企画委員会	委員長	昭和51年卒	岡本 雅仁
	副委員長	昭和57年卒	小林 謙之
学校渉外担当	委員長	昭和45年卒	比留間 竹郎
	副委員長	昭和53年卒	竹越 利之
組織委員会	委員長	昭和49年卒	谷田 文夫
	副委員長	昭和57年卒	菊池 正純
育成委員会	委員長	昭和57年卒	染谷 貴男
	副委員長	昭和57年卒	宮田 健
総務委員会	委員長	昭和52年卒	大西 静士郎
	副委員長	昭和56年卒	安蒜 信夫
広報委員会	委員長	昭和50年卒	山崎 秀樹
	副委員長	昭和57年卒	熊谷 康生
100周年記念担当	委員長	昭和50年卒	桑崎 安弘
	副委員長	昭和51年卒	上野 雅宏

卒業年	名 称	氏 名	氏 名
平成 5年		安 藤 高 利	田 中 誠
平成 6年		新 村 哲 也	
平成 7年		石 田 頼 央	
平成 8年			
平成 9年		香 川 満 洋	小 谷 健 志
平成10年	紫 98 俱	秋 山 光 一	平 田 邊 大
平成11年	明 哲 会	石 川 一 理	戸 保 科 大
平成12年	明 瀑 治	玉 大 上	橋 弘 頌 仁
平成13年		大 原 康 介	武 雄 一郎
平成14年		大 川 康 介	徳 正 純
平成15年		杉 荒 川 田	井 崎 裕 貴
平成16年	白 雲 会	大 杉 角 田	竹 崎 裕 貴
平成17年		大 早 大 亀	森 貴 将
平成18年			
平成19年			
平成20年			
平成21年			
平成22年	明 雄 会		

班部OB会評議員

名 称	氏 名
生徒会本部	長 谷 川 裕
応援指導班	佐 藤 欣 生
新聞班	西 山 光 彦
吹奏楽班	竹 越 利 幸
図書班	平 田 雅 博
放送班	鈴 木 幸 男
剣道部（見心会）	鈴 木 古 俊
硬式野球部（明球会）	世 古 室 洋
サッカー部	大 小 川 守 一
柔道部	小 石 川 市 郎
水泳部（明水会）	吉 口 泰 夫
スキー部（明雪会）	山 崎 哲 次
卓球部（明卓会）	岩 佐 藤 秀 文
庭球部	伊 藤 井 勝 也
バレー部	櫻 吉 田 博 仁
フエンシング部	武 田 弘 資
陸上競技部	森 島 八 一
バスケットボール部	横 谷 昌 明
アイスホッケー愛好会（明水会）	儀 部 大 進
囲碁部	赤 岩 林 謙 之
化学部	小 土 田 正 昭
JRC	
物理部（明物会）	
マンドリン部	
地理研究部	
歴史研究部	

昨年1年間ご連絡を取れなかった評議員の方は
お名前を記載できませんでした。
お気づきの方は、総明会事務局まで、ご
連絡を頂けますようお願いいたします。

総明会評議委員会名簿

同期会

（敬称略）

卒業年	名 称	氏 名	氏 名
昭和11年		板 垣 忠 吉	
昭和12年		中 富 光 国	
昭和15年	明 中 26 会	三 笠 光 人	
昭和17年	一 七 会	安 藤 賢 司	
昭和19年		鈴 木 昭 雄	齊 藤 久 也
昭和21年	午 巳 の 小	林 昭 二	高 橋 信 雄
昭和24年		小 西 新 玉	城 実 右 郎
昭和25年	明 二 会	田 井 川 玉	寺 渡 邊 幹
昭和26年	猿 二 会	熊 米 山 耕	持 丸 孝 雄
昭和27年	明 高 会	戸 田 和 一	夫 山 本 峰 司
昭和28年	明 窓 会	高 矢 高 橋	八 丈 島 高 校
昭和29年	八 29 会	嶋 田 彰 行	石 宇 田 雄 弘
昭和30年		大 出 育 男	佐 藤 健 一
昭和31年	明 業 会	大 石 坂 善 義	正 茂 一
昭和32年	明 三 治 会	三 雨 藤 佳 一	倉 林 貞 夫
昭和33年		旧 珊 瑚 の 会	加 藤 洋 洋
昭和34年		明 駿 会	高 橋 誠 正
昭和35年		37 二 年 一 七 会	高 塚 正 健
昭和36年		明 優 会	阿 部 川 秀 次
昭和37年		41 明 友 会	小 新 村 嶋 保
昭和38年		M 紫 讀 会	寺 田 康 夫
昭和39年		男 坂 俱 楽 部	上 野 隆 敏
昭和40年		獅 子 の 会	金 内 雨 海
昭和41年		明 潮 七 同 志 会	石 田 重 和
昭和42年		波 翼 明 会	森 三 前 稻 一
昭和43年		明 紫 々 会	黒 口 幸 和
昭和44年		明 友 誠 会	井 志 大 狩 池 塚
昭和45年		明 紫 明 会	魂 魂 輪 心
昭和46年		明 子 校 根 性 組	
昭和47年		紫 友 誠 会	
昭和48年		明 紫 明 会	
昭和49年		明 紫 明 会	
昭和50年		明 紫 明 会	
昭和51年		明 紫 明 会	
昭和52年		明 紫 明 会	
昭和53年		明 紫 明 会	
昭和54年		明 紫 明 会	
昭和55年		明 紫 明 会	
昭和56年		明 紫 明 会	
昭和57年		明 紫 明 会	
昭和58年		明 紫 明 会	
昭和59年		明 紫 明 会	
昭和60年		明 紫 明 会	
昭和61年		明 紫 明 会	
昭和62年		明 紫 明 会	
昭和63年		明 紫 明 会	
平成元年		明 紫 明 会	
平成 2年		明 紫 明 会	
平成 3年		明 紫 明 会	
平成 4年		明 紫 明 会	

総明会 平成21年度 一般会計報告

(自)平成21年4月1日～(至)平成22年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	8,398,620 円	会議費	685,778 円
新入会員入会金	2,290,000 円	交流費(学校、他)	1,449,742 円
新入会員永久会費	2,290,000 円	通信費	—
学年会費	760,000 円	事務費	137,666 円
雑入(会議費、他)	655,000 円	各委員会活動費	2,044,641 円
雑入(ゴルフ委員会)	—	雑費	40,577 円
寄付金	107,000 円	基金へ組入れ	2,000,000 円
貯金利息	1,804 円	次年度繰越金	8,144,020 円
合 計	14,502,424 円	合 計	14,502,424 円

総明会 平成21年度 基金会計報告

(自)平成21年4月1日～(至)平成22年3月31日

基金区分	平成20年度末残金	平成21年度増減額	適用	平成21年度末残金
事業遂行基金	4,799,759円	2,027,511円	一般会計から繰入及び利息	6,827,270円
財政基盤基金	8,005,194円	0円		8,005,194円
100周年記念事業特別基金	8,853,000円	1,860,000円	寄付金募集	10,713,000円

上記のとおり報告いたします。

平成 22 年 3 月 31 日 会 長 尾島育四郎 会 計 中村 正容

監査の結果相違ありません。

平成 22 年 5 月 17 日 監 査 佐藤 仁 監 査 阿部 正行

総明会 平成22年度 一般会計予算(案)

(自)平成22年4月1日～(至)平成23年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	8,144,020 円	会議費	600,000 円
新入会員入会金	2,290,000 円	交流費(学校、他)	1,300,000 円
新入会員永久会費	2,290,000 円	事務費	180,000 円
学年・クラブ会費	625,000 円	各委員会活動費	2,066,000 円
雑入(会議費、他)	600,000 円	雑費	50,000 円
雑入	50,980 円	基金へ組入れ	1,500,000 円
		次年度繰越金	8,304,000 円
合 計	14,000,000 円	合 計	14,000,000 円

総明会 平成22年度 基金会計予算(案)

(自)平成22年4月1日～(至)平成23年3月31日

基金区分	平成21年度末残金	平成22年度増減額	適用	平成22年度末残金
事業遂行基金	6,827,270円	1,500,000円	一般会計から繰入及び利息	8,327,270円
財政基盤基金	8,005,194円	0円		8,005,194円
校舎移転・100周年記念事業特別基金	10,713,000円	400,000円	寄付金募集	11,113,000円

第45回 総明会 特別会計報告

(自)平成21年4月1日～(至)平成22年3月31日

収入の部		支出の部	
総会会費収入	3,445,500 円	総会関係費	5,355,252 円
総明会より助成金	1,169,775 円	会報関係費	2,845,231 円
寄付・広告	5,591,372 円	運営関係費	2,006,164 円
合 計	10,206,647 円	合 計	10,206,647 円

第46回 総明会 特別会計予算(案)

(自)平成22年4月1日～(至)平成23年3月31日

収入の部		支出の部	
総会会費収入	2,500,000 円	総会関係費	4,500,000 円
総明会より助成金	1,000,000 円	会報関係費	2,500,000 円
寄付・広告	5,000,000 円	運営関係費	1,500,000 円
合 計	8,500,000 円	合 計	8,500,000 円

明大明治カミング開催のお知らせ

"広げようOBと現役との輪"

今回、新たな取り組みとして、11月20日の第46回総明会・懇親会に先立ち、当日、同ホテルにて「明大明治カミング」と称した企画をご用意いたしました。ご家族（奥様、お子様、お孫さん、親御さん、特に未来の明高・明中生）に明治の良さをもっともっと知っていただきたく、先生、現役、OBが一体となって明治高校・中学校の"今"をご紹介します。

2012年の明治高校創立100周年を前に、卒業生としてどのような協力ができるか？また、総明会をより現役学生に知ってもらえるか？などの良いきっかけになればと思います。本年から完全な共学校となった今の明治の姿をOBの皆様に見ていただけると幸いです。

受験生を対象にミニ学校説明会も実施予定です。明大明治カミングのプログラム中は、出入り自由です。ご家族を連れて、是非遊びにいらしてください。皆様のお越しを心よりお待ち申し上げます。

当日は**入場無料**ですので、明治高校・中学校に興味をお持ちのお子様やお孫さまの参加もお待ちしております。

開催日 2010年11月20日（土）
会 場 ホテルイースト21東京
 1F イースト21ホール
時 間 午後3時30分～午後5時45分

【お申し込みについて】

当日参加も大歓迎ですが、参加人数の事前把握のため、以下のいずれかの方法によるお申し込みにご協力お願い申し上げます。

1. 同封のハガキの返信
2. 参加申込書でFAX送信

3. 総明会ホームページ

総明会 | 検索

<http://www.meiji.cside7.com/>

明大明治カミング プログラム

- 第一部 午後 3 時 30 分～午後 5 時
マンドリン部 演奏披露
吹奏楽班 演奏披露
応援指導班 校歌・応援歌披露
- 第二部 午後 5 時 15 分～午後 5 時 45 分
ミニ学校説明会



(マンドリン部)



(吹奏楽班)



(応援指導班)

なお、「明大明治カミング」の企画としてこんなことをやって欲しいというご意見ご要望がございましたら、参加申込書もしくはホームページのアンケート欄にお書き添えいただきたく、よろしくお願い申し上げます。今年の企画に間に合わなくとも、今後の参考にさせていただきます。

「明大明治カミング」

明治大学付属明治高校・中学校
副校長 小西 哲男

総明会の皆様方には、日頃より本校の教育及び教育活動にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。

特に、今年度幹事学年

「明輪会」が卒業生と在校生との絆を深める交流の場「明大明治カミング」を催すにあたり、各班・各部の監督・コーチとして生徒の教育に携わっていただいている諸先輩に深く感謝いたします。

課外活動（班・部活動）

は本校の教育活動の柱のひとつであり、人間形成の大切な場と捉えています。

中学・高校の受験生を対象にした学校説明会では、

60歳代から大学生までの幅広い年齢層の卒業生が、監督・コーチとして各班・部員を指導し本校の教育を支えていただいていることを紹介しています。

その折には、40年間、今も現役で指導していただいているバスケット部中村監督、マンドリン部久保田監督を紹介し、本校生徒は幅広い年齢の層の方から技術だけでなく、いろいろな人の生き方を指導していただいていると説明し、多くの方から共感を得ています。本校としては、このような繋がりを今後も大切にし、より発展させていきたいと思っています。

さて、今回の幹事学年の企画「明大明治カミング」には、在校生が初めて卒業生の会へ参加することになります。

本校は、神田駿河台での95年間の歴史と伝統を引継ぎ、2008年調布校地移転、共学化を図り、本年度から全学年共学となりまして。

女子生徒が入学し、新たに出来た部や移転前より活性化した班・部もあります。教育界では「不易と流行」という言葉がよく使われますが、今回の企画では、本校でも特に伝統ある班・部活動を諸先輩方に紹介・披露することで「変わらぬ明大明治」、共学化と伴に「変わりつつある明大明治」を感じていただき、総明会会員だけでなく在校生や教

職員・PTA・白駿会の結束を強め、本校の新たな飛躍の契機にしたいと思っています。

本校は、2012年創立百周年を迎えます。百周年委員会では、明大明治の「百年の歩み」を内外にアピールする契機と、本校のさらなる発展を目指す事業を計画しています。ご支援よろしくお願いいたします。



3年目の総会委員長として

総明会 総会委員長
戸張 毅

この会報が届く頃にはとても過ぎしやすく、さわやかな風が感じられる季節ではないでしょうか。

さて、総明会にかかわるようになったのは、総会・懇親会の幹事学年を担当した時の3年、その後会則の改定のための委員会に3年、そして今担当しております3年目の総会委員会であります。

何が楽しくて総明会のお手伝いをやっているのだろうと思うことがあります。自分の場合は、旧大学記念館講堂で帽子を投げた瞬間が想いだされます。少しの不安と大きな希望を胸におとなの第一歩を歩みだした卒業という自分自身の原点があり、総明会でお手伝い

しながらその原点からの成長を確認しているのだと思っております。

具体的には当時の先生方、先輩、同期、後輩とのやり取り、そしてもっとも大事な校歌を謳うことにより原点を確認し、今現在の成長を確認して、明日の希望へと繋いでいるのだと確信しております。

その原点の本体であります明治高校に今、百年に一度の大変革が起こっていると感じているのは自分だけでしょうか。平成20年の校舎移転と男女共学、平成23年の女子総明会会員の誕生、平成24年の学校創立百周年です。

その原点の縦軸をなしている中心軸が揺れ動いてい

る、というよりは太くならうとしているのではないのでしょうか。限られた紙面の中で表現するのは難しいことですが、何か希望に繋がるご提案ができれば幸いです。

これからの総明会は、神田猿樂町関係の会員が調布の新会員への「伝統の継承」が必要というところ、聞こえはいいのですが、噛み砕いた言い方ですと歩みよって伝えていくこと、具体的には、学校関係に必要な資金の提供、学校が必要とすることへの協力、先輩会員の職業人としての豊富な経験を伝える等だともいます。そのことを通じて先輩会員と新人会員が男女の性差も埋めて、総明会の輪が大きく、太くなっていくものだと考えております。

自分自身そのような考えも纏まらないでおりましたところ、今年の総明会幹事

学年の大塚君より「明大明治カミング」という企画が学校と総明会に持ち上り、形として学校関係者、現役学生及び総明会会員各位がひとつになって総会と懇親会の輪をひろげていきましようという運びとなりました。

総明会総会・懇親会に関係各位の多数のご出席をいただき、明治高校、総明会が大きく、太く、広がりをもせていければとおもいます。

最後になりますが、総会委員長として明輪会会員（幹事学年）、総会委員とともに明治高校、総明会の発展のお役に立てますよう誠心誠意職務を遂行していく所存です。どうぞ温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

末筆ながら、皆様のご健勝を祈念申しあげます。

第16回 総明会チャリティーゴルフ大会

昭和58年卒 明輪会 荻部 大

時は、平成22年6月6日。
本来ならば梅雨入りを間近に控え、曇天あるいは雨模様を気にする季節ではありますが、どうやら今年は起死回生ならぬ快晴の朝を迎えることが叶いました。

場所は、千葉県成田市郊外の「成田の森カントリークラブ」で開催されたチャリティーゴルフも数えること16回目を迎え、昭和34年卒業の大先輩から平成10年卒業の若武者まで、更には、お世話になった恩師や父母の皆様をお迎えし、明治の名の下に総勢97名の参加によりゴルフ大会の幕が切って落とされました。
比較的フラットなコース

で、ところどころ戦略的にレイアウトされた飽きのこない18ホールに、ドラコン・ニアピン等の各コンテストを交え、新ベリア方式による「個人順位戦」と「学年対抗団体戦」更には、去年より好評を博した「大先輩名人戦」の3種類の競技を行い、それぞれの順位を競いました。

各組による学年毎・クラブ毎にティーオフした以降は、入賞目指してハッスルプレー・珍プレーの続出となり、ゴルフプレーの楽しさも去ることながら、懐かしい良き母校生活を思い出しながら、満面の笑顔を浮かべる皆様にお会いするこ

とが出来ました。

母校へのチャリティーホールではワンオンコンテストを行い、多くの皆様より寄付が集まり、無事表彰式の場にて、母校へチャリティーとして寄贈することが出来ました。

また、大会に際し、数多くの先輩諸氏によるご寄付を賜りました。物心両面にご寄付ご協力賜りました皆様には、紙面を借りまして厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

総明会役員並びに、ご来賓の挨拶に始まった表彰式では、順位発表が始まると入賞者氏名を読み上げるたびに各テーブルより歓声が上がり、盛り上がりも最高潮に達しました。

最後は、お待ちかねの校歌斉唱！応援団OBの今井

高志さんの華麗なエールにあわせ右手を振り上げ、参加者全員にて見事に校歌一番を歌い上げ、惜しまれつつ閉会となりました。

来年の幹事学年への引継ぎも無事にとり行われ、良き伝統の継承と、輪の広がりを感じ取った一日でございました。何かと行き届かず、ご迷惑等多々あったかと存じますが、恐れながらこの場を借りてお詫び申し上げます。

総明会のますますのご発展並びに、会員の皆様の末永いご健勝とご多幸を祈りつつ、来年6月第一日曜日の17回大会会場にて是非とも再会できますよう心より願う次第でございます。ありがとうございます。

第16回 総明会チャリティーゴルフ大会成績表

個人戦		氏名	卒業年	OUT	IN	GRS	HD	NET
	優 勝	山口達明	S 60	46	41	87	15.6	71.4
	準優勝	斉藤公義	S 46	40	43	83	10.8	72.2
	3 位	竹澤 啓	S 49	40	41	81	8.5	72.6

団体戦			卒業年	代表選手			NET
	優 勝	昭和60年		宮島 賢	金井 壮	山口達明	
				斉藤公義	塙 直樹	木村 茂	
				秋山勝光	田島 実	栗田 茂	
	準優勝	昭和46年		宮島 賢	金井 壮	山口達明	217.6
				斉藤公義	塙 直樹	木村 茂	
				秋山勝光	田島 実	栗田 茂	
	3 位	昭和44年		宮島 賢	金井 壮	山口達明	220.8
				斉藤公義	塙 直樹	木村 茂	
				秋山勝光	田島 実	栗田 茂	
	3 位	昭和44年		宮島 賢	金井 壮	山口達明	222.0
				斉藤公義	塙 直樹	木村 茂	
				秋山勝光	田島 実	栗田 茂	

名人戦		氏名	卒業年	OUT	IN	GRS	HD	NET
	優 勝	新村秀男	S 42	46	45	91	18.0	73.0
	準優勝	福島正太郎	S 34	40	46	86	12.0	74.0
	3 位	石川 淳	S 34	48	46	94	19.2	74.8



※ 18学年、先生及び父母会、応援団、水泳部の選抜メンバーによる。

※ 4位以下の方は紙面の関係上省略させて頂きました。

◎寄付ご報告

・金一封

山浦 晟暉様 金壺万円

尾島育四郎様 金壺万円

関谷 芳久様 金壺万円

吉田耕太郎様 金壺万円

竹澤 啓様 金壺万円

・協賛

山浦 晟暉様

ディズニールランドペア入場券

中村 正容様

バスタオル(参加者全員)

成田の森カントリークラブ様

キャディーバッグ及びポストンバッグ

◎チャリティー報告

合計 七万二千元

寄付 七万二千元

※ 多大なご寄付とご協賛を賜わり、まことに有難うございました。

第16回総明会チャリティーゴルフ大会開催コース

成田の森カントリークラブ



〒289-0426 千葉県香取市山倉2628-4
TEL 0478-79-1000 FAX 0478-79-1010
<http://www.pacificgolf.co.jp/naritanomori/>



平成21年度

企画委員会活動「明朗会」報告

企画委員会 昭和51年卒 明々会 岡本 雅仁

一昨年前の「ボウリング大会」に続き、昨年は10月18日(日)「都心でゆったり温泉」と銘打ち、東京ドーム天然温泉「スパ・ラクーア」にて、葉谷企画委員長のもと開催されました。大先輩の皆様が同期の方々や後輩達と一緒に大きな湯船に浸かり、サウナで汗をかき、秋晴れの陽射しの中、和気あいあいと都心の天然温泉を楽しみました。日頃の疲れを癒した後は、施設内にある宴会場へ湯衣のまま移動し、懇親会が開かれました。佐久間前会長のご発声により「湯上りの冷たいビールで乾杯！」に始まり「黒豚しゃぶしゃぶ料理」を堪能致しました。余興のゲームで獲得されたマクドナルドカードなどを帰宅後お孫さんとお楽しみ活用していただければ、企画いたしました私達にとってうれしい限りです。

ご好評につき、今年もまた秋口に、第2弾「都心でゆったり温泉2」を企画致しました。

まだまだ、力不足のため「明朗会」のお楽しみをご存知で無い先輩方も多数おられます。各学年の評議員の皆様、班クラブOB会の評議員の皆様、御手数ですがどうぞお仲間をお誘いいただき、より多くの皆様と「明朗会」を楽しんでいきたいと考えています。

毎回お手伝いいただく幹事学年の方々等、今年も大先輩方と「裸のお付き合い」ができますこと楽しみにしています。これからも大先輩方に楽しんでいただければ「明朗会」を目指し、企画を練りまして大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

最後に、平成21年度「明朗会」開催にあたりご寄付、ご協力を賜りました方々に感謝申し上げます。



<平成21年度「明朗会」ご参加の皆様>

小田川玉城 (25年卒)	尾島育四郎 (41年卒)
桑原 精一 (26年卒)	菊本 哲也 (41年卒)
鈴木美津夫 (28年卒)	広瀬 準 (41年卒)
山本 峰司 (29年卒)	結城 康郎 (42年卒)
岡崎 安彦 (34年卒)	佐久間洋一 (43年卒)
井上 進治 (38年卒)	中村 正容 (43年卒)
佐藤 仁 (39年卒)	福光登志雄 (43年卒)
西山 光彦 (39年卒)	佐伯 正 (44年卒)
久保井賢一郎 (39年卒)	龜岡 亨 (44年卒)
阿部 正行 (40年卒)	堀内 伸夫 (44年卒)

中河 孝樹 (44年卒)
戸張 毅 (47年卒)
内田 茂 (47年卒)
竹澤 啓 (49年卒)
井家上哲史 (51年卒)
小林 祥悟 (51年卒)
可児 清 (51年卒)
有田 幸訓 (52年卒)
五十嵐公一 (54年卒)
吉口 市郎 (55年卒)

<平成21年幹事学年>

田中 幹浩 (57年卒)
小林 謙之 (57年卒)
関川 一浩 (57年卒)
鳴海 浩樹 (57年卒)
熊谷 康生 (57年卒)

<企画委員会>

葉谷 豊 (44年卒)
岡本 雅仁 (51年卒)

総明会のホームページが、 装いも新たにリニューアル!!

総明会広報委員会では、卒業生・在校生の皆様にも様々な情報を発信していくために2010年5月よりホームページをリニューアルいたしました。総明会の活動報告、そして、これからの情報をいち早く発信していきます。



<http://www.meiji.cside7.com/>

※会員ページに入るには、ユーザー名とパスワードが必要です。
「会員ページに入る」ボタンを押すと、ユーザー名とパスワードの入力を求めてきますので下記をご入力ください。

ユーザー名：meiji パスワード：otokozaka

ホームページリニューアルにあたり、皆様に楽しんでいただくために、3つのコンセプトを基に内容を新たに構成しました。

① 活動報告

② これからの情報の告知とコミュニケーション

③ 楽しむためのコンテンツ

①は、従来の内容と変わらず迅速に、理事会・評議会・OB会などの活動内容を掲載していきます。

②は、過去の活動報告だけでなく、総明会の今後行われる行事・イベント・総会の進行状況などのお知らせを告知し、多くの皆様に知っていただき、たくさんの方に参加していただけるお手伝いが目的です。トップページで、お知らせしていきますので、チェック

してください。

また、会員ページには、2つの掲示板を設置しました。1つは、総明会の行事の告知用です。もう1つは、フリー掲示板で、自己紹介、仕事・お店の紹介など、個人的な内容もOKです。ご自由にお使いください。

③は、見て、読んで、楽しんでいただくために、「総明会メモリアル」に、懐かしい旧校舎の写真などを、アルバム形式で掲載しています。また、「総明会コラム」では、諸先輩の執筆した記事などをお楽しみ頂けます。そして、「会員ページ」には、パソコン用オリジナル壁紙をご用意しました。

これからも、更なる内容の充実を目指して、皆様のお役に立つホームページを制作していきますのでよろしくお願ひします。

広報委員会

総明会「班・部活動」夏合宿に スポーツドリンク差し入れ

総明会学校渉外担当

今年度も総明会では、夏合宿を行う「班・部」にスポーツドリンクの差し入れを行いました。

今夏合宿を行った「班・部」は次のとおりです。

班・部名	期 間	参加人数	住 所
応援指導班	7/29～8/2	35	新潟県南魚沼郡湯沢町
吹奏楽班	7/28～8/2	100	埼玉県秩父郡皆野町
図書班	7/28～7/30	20	山梨県北杜市高根町清里
剣道部	7/28～8/1	31	山梨県南都留郡山中湖村
高校軟式野球部	8/2～8/7	25	栃木県真岡市田町
中学野球部	8/16～8/19	37	茨城県神栖市矢田部
高校山岳部	8/8～8/13	22	上高地小梨平キャンプ場他5か所
水泳部	8/3～8/6	26	福島県会津若松市大戸町
スキー部	8/17～8/20	11	長野県下高井郡木島平村
卓球部(高)	7/27～7/31	16	栃木県那須塩原市永田町 他
柔道部	8/23～8/28	12	長野県小諸市菱平
ソフトテニス	7/28～8/1	21	千葉県長生郡白子町
バレー部(男子)	8/2～8/7	26	新潟県南魚沼市小栗山
バレー部(女子)	8/2～8/5	29	新潟県南魚沼市小栗山
バスケット部	8/2～8/7	106	長野県下高井郡山ノ内町北志賀竜王高原
バドミントン(高)	7/28～8/2	40	長野県下高井郡山ノ内町北志賀竜王高原
バドミントン(中)	8/10～8/13	42	長野県上田市菅平
サッカー部	8/2～8/6	109	茨城県神栖市波崎町
硬式テニス部(男子)	8/5～8/9	73	長野県上田市菅平高原
硬式テニス部(女子)	8/8～8/12	28	山梨県南都留郡山中湖村
E S S 部	8/22～8/23	7	福島県岩瀬郡天栄村
マンドリン部	8/7～8/11	37	山梨県南都留郡河口湖町
地理研究部	8/2～8/7	11	広島県福山市東桜町
歴史研究部	8/20～8/23	5	岐阜県高山市昭和町
地学部	8/7～8/8	3	埼玉県秩父市大滝
コンピュータ部	8/1～8/3	14	大阪府大阪市中央区城見
鉄道研究部	8/2～8/4	8	銚子市清川町 他

スポーツドリリンク差し入れ御礼

応援指導班コーチ 平成8年卒 山崎 政彦

明治高校応援指導班で コーチを務めさせて頂いて



おります山崎でございます。

この度は、総明会学校渉外担当様より、スポーツドリリンクの差し入れを頂きました。

非常に暑さの厳しい折の合宿であり、熱中症には必要以上に配慮しなければならぬ状況でもあったため、現役一同、大変喜んでおりました。

また、私自身、コーチという指導する側からですが、心強い支援だったと思います。ご報告申し上げますと共に、御礼申し上げます。

さて、今回、スポーツドリリンクをいただきましたが、日頃、現役はあまり総明会というものを意識して活動をしているという印象に乏しい状況でした。

どちらかというと、応援指導班のOB会の印象が強く、応援指導班のOBに支援されているという認識はあっても、明治全体のOBに支援されているという認識は薄いといわざるを得ない状況にあると思います。これは各班活動、部活動によって状況は異なるでしょうが、私自身、総明会というとあまりに組織が大きすぎて、全体像がつかめないという印象を現役時代持っておりました。

しかし、今回、このように総明会という全ての明治のOB諸兄よりご支援頂く事によって、総明会が身近に感じられ、我々は応援指導班の一員であるのみならず、明治の一員なんだというのを再認識するきっかけを頂けたような気がします。

部活の先輩は当然にご支援頂いているところですが、それだけでないところに、明治の連帯感、明治全体の縦のつながりを意識し、そこに明治の良さを感じ取る事ができました。

今後お願い申し上げますというのとは図々しいことかとは思いますが、現役達にも明治の良さを明治全体を通じて感じ取ってもらえるよう、お願い申し上げます。この度は誠にありがとうございました。

総明会

会長 尾島育四郎

四十一年卒 41明友会

副会長 関谷 芳久

四十四年卒 男坂俱樂部

副会長 吉田耕太郎

四十五年卒 獅子の会

副会長 井家上哲史

五十一年卒 明々会

専務理事 竹澤 啓

四十九年卒 翼明会

事務局長 熊倉 章雄

五十四年卒 明誠会

会計 中村 正容

四十三年卒 紫讃会

祝 第46回総明会総会・懇親会

総明会会長（昭和41年卒 41明友会）

尾 島 育 四 郎

〒150-0001 渋谷区神宮前5丁目41-6

昭和51年卒

総明会

副会長

井家上哲史

明々会

昭和44年卒

総明会

副会長

関谷 芳久

男坂俱樂部

昭和45年卒

総明会

副会長

吉田耕太郎

獅子の会

昭和54年卒

総明会

事務局長

熊倉 章雄

明誠会

昭和43年卒

総明会

会計

中村 正容

紫讃会

昭和49年卒

総明会

専務理事

竹澤 啓

翼明会



特 集

ひとのわ こころのわ

明治を囲む、いろいろな「わ」についてご寄稿頂きました。
また、今年度幹事学年「明^{めい}輪^わ会」の名前の由来の一つである
東京五輪と明高についても振り返ってみました。

ひとのわ こころのわ 恩 師 と の わ

昭和58年卒 明輪会 担任篇

「あのころ」

坂口 泰通

そう：あのころの生徒たちのことは鮮明に覚えてい
るなあ。そしてあの感動を
超える経験はもうないと思
う。3年間ホント、いろい
ろなことがあった。そして
生徒たちと徐々に徐々につ
ながりを太くしていったよ
うに思う。わたしは、何か
ら何まで未熟で、若かった
なあ。若い教師と元氣盛り
の生徒たち、そんな感じだっ
た。

林間学校は山田牧場。学
寮だけでは宿泊ができず、
ヒュッテ〇〇とかいったと
ころに分宿した。

有名な体育の先生と生徒
のことで言い合ったよ。そ
の生徒の名も覚えてい
る。その場をおさめたいだけ
の先輩教員から謝るように促

された。こちらが伝えたこ
とをさっぱり忘れてしまっ
て生徒に怒りだす教員に、
ただただ謝れなんて不合理
だと思った。なぜかその日
の夜中には、宿のアイスが
大量に無くなった。

マラソン大会も思い出す。
いくら待っていても通過し
てこない生徒がとくにゴー
ルにいるではないか。擦り
傷をからだ一杯に作ってき
おそらくコースを走らずに
藪の中をゲリラのように突っ
切ってきたんだろう。

修学旅行は、九州だった。
岡山でなぜだかいったん下
車をし、夕食を食べてから
今度は夜汽車に乗る。左右
にめちゃくちゃ揺れる列車
だった。

くたくたになって西鹿児
島駅（現在の鹿児島中央駅）
で降り、バスとなる。バス
ガイドというよりバスガイ
ルといった女性に生徒たち
が半狂乱状態となる中、バ

スは出発をする。
夜中は無法状態。先輩教
師は部屋に鍵をかけ、何が
起こっても決して出てきて
くれなかった。押し入れの
中には煙草と日本酒があっ
た。

あのころの本校は、何し
る大変であった。今考える
と君たちも恵まれてなかっ
たと思う。何から何まで問
題が山積していた時期では
なかったか。そんな中の、
新入り教員と生徒。

でも、あの卒業式のこと
はよく覚えてい
る。いよいよ「仰げば尊し」を歌い式
も終焉となるころ、さあこ
れでお別れかと思
い生徒を見た。わんぱくであつた生
徒がわんわん泣いていた。
こちらも泣いた。

式終了後、また泣きあつ
たのを覚えている。あんな
ことはもうなかった。さ
らっと、別れていく今日、
あのころを懐かしむ。

「苦い思い出」

笹倉 康夫

明治の付属として柔道の関係で中野しか知らない私が明治高校に就職したのは、今から三十数年前になるろうか。

最初の年は高校1年で学年主任が樋山先生、私は山口栄蔵先生のクラスの副担任だった。

入学早々、クラスの生徒がお茶の水駅で不正をして職員会議無しにすぐ退学になり明治のシステムにビックリ。

5月の陣馬山遠足を制服制帽革靴で登山するとの指示があり、それは良くないと文句を言ったら革靴が運動靴に変更になっただけで登山せよとの指示があり、これが質実剛健かと又ビッ

クリした。

2年目に今年度幹事学年の高1の担任となる。一学期最後の保護者会で南志賀での林間学校の説明をする。と保護者から心配そうに卒業生が来て生活指導をするのかとの質問があり、何の事か分からず、それはありませんと答えたのだが、後から、中1の林間学校での卒業生からの「しごき」の慣例を指していたのが分かり、これも質実剛健かと驚かされた。

その頃の学校は、高ⅢA、B組が週2日ぐらい7時間授業があり柔道部の練習にも支障が出て大変で、校内も色々な事件があり大変だった。

三学期になると、ついに高1でも落書き事件があり私には大変なショックだった。

その犯人探すと称される

高1の生徒に対する取り調べが、私の教員生活35年のなかで一番悔やまれる事で、謝まらなければならぬことである。

それは、靴の裏にペンキが着いていないか調べる為に、生徒を裸足でビロティに並ばせ靴の検査、上着をまくらせて服にペンキが付いていないかの検査。

髪の毛の長い生徒は頭をたたかれながらしょぼんとしていた。

私にはガス室送りになるユダヤ人の列を連想させ、哀れで耐え難いものだった。私は上層部に抗議したが無視されてしまった。

今でもあの事を思い出すと、生徒に申し訳なく、謝らなければならぬ気持ちで一杯になる。

58歳で早期退職し、もう夢でうなされることもない。



ロッキーマウンテンでのヘリススキー
向かって右が笹倉先生

明治高校・昭和58年
(1983年)卒業生・
明輪会との交流の輪

岸 哲利

1980年、40歳の私はそれまでの国際関係担当の仕事辞し、英語とドイツ語の教員免許を持って、明治大学付属明治高校・中学校に赴任した。英語の授業以外に、希望する高校Ⅲ年生に放課後、週1回ドイツ語の初級会話、文法を教えた。高大連携の始まりと言えなくもない。

そして、ベートーヴェンの「交響曲第9番」の合唱部分をドイツ語で読んで、年末には、皆でこの「歓喜の歌」合唱付きを生で聞きに行った。

授業の最後は、この合唱の一字一句の意味を訳し、その詩の歴史的時代背景を

理解し、暗唱し、歌えるようになっていた。

当時、ドイツ語を自主的に学びにきた高校Ⅲ年生は7・8人だったが、高校卒業後も、数年間年末になると皆で集まって第九を聴きに行った。そのうちの一人T君は、今では、年末になると地域の合唱団で第九を歌っている。確実に一粒の種はまかれた！

この学年のもう一つの「輪」は、「海釣り」で、夏休みや冬休みに一緒に釣りに出かけたことだ。これも

今では、語り種になっているが、東京湾の第二海保での「おでこ」だった徹夜の釣り、すべての試験が終わった12月末、羽田空港近くの川岸でバケツ1杯のアナゴを徹夜して釣ったことだ。あの時の凍えるような寒さも忘れられない思い出である。

2005年、教員生活最

後の夏休み、私はナポリの近くソレント（あの「帰れソレント」の曲でよく知られた夏の観光地）でイタリア語とナポリ民謡を学んだ。2006年、65歳で定年退職した私は、教える側の立場から、一転して、「芸事」を学ぶ生徒になった。

その芸事とは、イタリアの歌（カンツォーネ）のレッスンとシニア劇団「かんじゅく座」（60歳以上の男女で構成される）への旗揚げに参加したことである。

幼き頃から、私の心の中にあった二つの夢の実現へ向けて5年目。今も毎日、芝居公演や歌の発表会へ向けた練習、稽古に忙しい。当分、ボケることはあるまい。

芝居で増えた人間関係、セリフや動作、イタリア語（ナポリ語の方言も）の理解、歌詞の暗唱、それらを

表現することの難しさを、感じるこの頃である。

だが、この新鮮な、ハラハラ、ドキドキ感は何だろう。これこそ、忘れていた青春の蘇りかもしれません。



ソレントにて



ひとのわ こころのわ

恩 師 と の わ

各年代 先生篇

「バン格拉デシュと明高中」

国語科教諭

松本麻奈美

フェアトレードという国際協力活動を通してバン格拉デシュと関わるようになり14年が経つ。明高中に着任後間もなく同僚に誘われたことがきっかけで、ここ十年は紫紺祭において高中生とともに活動している。

年に一度、「有志」でありながら継続参加できるのは、本校でその活動を始めた日下部尚徳氏のおかげである。いまやバン格拉デシュ研究の第一人者でありながら何かあれば母校に顔を出し、筆者とも「わ」をつなげてくれているからだ。

「わ」の始まりは日下部尚徳氏が高Ⅲの夏に遡る。

彼は自ら足を運んだイベントで国連職員に紹介されバングラを支援するNGOと出会い、明高中では恐らくあまりなじみのなかった

国際協力活動を紹介すべく有志を立ち上げ、自身の所属する班部の副顧問である筆者に（筆者が関わっていることを知らずに）その顧問を依頼した。

それが十年も続くとは本人達も予想しなかったものだ。彼は今もそのNGOと関わり、友人たちや、彼を慕って文化祭での有志活動を再開させた後輩たちもNGOに参加、NGOの一部は明高中の卒業生が支えている。

筆者も彼の想いに共感し、担当学年の生徒に半ば強制的に参加させ（共学になったので？今後は自主的な参加が期待されるか）、本校での活動を継続している次第である。

彼はまた在学中から自身の所属する吹奏楽のメンバーを中心にチャリティコンサートを企画、数年前にはついにバン格拉デシュでも実現させ、筆者もその場に立ち会った。

当日にバングラ史上最悪

の同時多発テロが起き、あわや中止という困難を乗り越えての成功は大変感慨深いものとなった。

またそれはストリートチルドレンと呼ばれることもたちがプロの演奏家と共演を果たす夢のような舞台でもあっただけに感動もひとしおであった。

なお、そのプロとは日本フィルハーモニー交響楽団首席ホルン奏者の福川伸陽氏である。

彼もまた卒業生であり、先日の日下部尚徳氏の結婚式には本番直前にも関わらず駆けつけ、祝福の音色を奏でた後演奏会へ向かって行った。

次世代に「共生のバトンをつなげたい」と語る日下部尚徳氏には、今年度より本校JRC部のコーチを引き受けていただいた。明高中から世界に「わ」をひろげる彼の活躍を、バングラデシュの未来とともに楽しみにしている。

明治高校・中学校
「内で感じる輪」

英語科教諭
蓮池 展之

私は、2007年4月より明治高校・中学校へ英語科教員として勤務させていただいております。今回は、明輪会幹事の方より「勤める前と後の明治高校・中学校のイメージの違い」についての原稿を依頼されましたので、そのことを中心に据えて、拙文ながら想いを述べていただきます。

私は、自分が高校受験の際に、出身校と明治高校が同日の試験日であり、どちらを受験しようか迷っていました。

その時のイメージは、「男子校でありながら少しおとなしい子が多い」、「校舎が入り組んでいて、なんだか窮屈そう」という

単純に「感覚」的なイメージしかありませんでした。何度も見学をして：などということも特別しませんでしたので、そのぼんやり抱いたイメージが当時の記憶として残っています。

ただ、部活動は盛んに、校舎周りや男坂など目一杯使ってみんなで頑張っている、というイメージが強く残っています。就職に当たって、周囲の友人（明高卒の子もいます）や、同職の間からは、「男子校だけでもおぼっちゃが多い」という話をよく耳にしたことを覚えています。

ご縁をいただき、勤め始めてからの印象は、今の時代にはめずらしく「真面目で素直な子が多い」というものでした。

もちろん、やんちゃな子もいて、「男子校特有のノリ」みたいなものもあって、

男子高卒の自分にはとてもしっくり来る部分もあったことを記憶しています。

加えて、「自分が好きなこと、熱中していることにはものすごい情熱を発揮する」という点も、勤務後に感じた印象でした。

特に部活動では、バスケット部の顧問を担当させていただき、みんなで決めた「目標」達成へ向けて、熱く進んでいく姿を毎日見ています。

大会では部員全員（さらにはOB達も応援に加わってくれます）で勝利に喜び、敗戦を悔しがります。

その姿には苦楽をともにした上でこそ築かれる縦横（同学年と先輩後輩）の「輪」を感じます。

また紫紺祭では、当日自分分はバスケットの大会引率でいみじくでしたが、委員を中心によくまとまり、ク

ラス全員で露店の準備をし、当日は大盛況に終わりました。引率から戻ってきて顔を出したときに、取っておいてくれた商品とみんなの笑顔を見たときに、クラスでもしっかりと築かれる「輪」を感じました。

現在では、3年前に調布校地へ移転し、男女共学になりました。学校全体がより明るい印象になりましたが、根底にある雰囲気は先輩方が長年の歴史の中で築かれてきた「明高中」という変化は無いと感じています。

今後も、そんな明治高校・中学校の「真面目さ、素直さ」そして「情熱」や、そこで築かれる縦横の「輪」を大事にしながら、さらなる発展に微力ながら尽くしたいと思います。よろしくお願ひします。

「時間を越えた教え子とのわ」

理科教諭

奥山 幸

明治高校に専任として勤めるようになって、はや7年が経ちました。思えば大学院の頃、ある意味突発的に教員になろうと決めたとき、なぜか明治高校からお電話を頂いて、講師として勤めることになりました。

かけ持ちしていた他の高校は数年で変わっていく中、明治高校だけは変わらずに働かせて頂き、その後専任になることができたことは、明治高校との「わ」というか、「縁」があったのだらうと今更ながら感じています。

もともと生物学が大好きで、いろいろな生物がそれ

ぞれの進化の中で生み出した巧みさと面白さを伝えながら、生命の大切さを伝えたいと、講師のころから授業を進めてきました。

講師の頃は、純粹に生命への思いやりの気持ちだけを伝えられたら・・・と、ただ進んできましたが、専任になり、担任になり、部活の顧問になったとき、教科のことでだけではなく、子ども達の日常生活や人間教育にまで踏み込まなければならぬということに、不安とあせりばかりを感じていました。「そもそも自分がそんなことができるだけの人間なのか」、そんな根本的なことにまで疑問を感じてしまうほど、落ち込んでしまうこともありました。

そんな頃、講師の頃に教えていた生徒たちが、「社

会人になったので会いたい」と立て続けに連絡をくれました。「先生の授業は内容までは覚えてないけど、生物にはいろんなやつがいて、その個性が大事ななんだから、すぐ思った」

「昔は生き物って気持ち悪かったけど、最近はかわいくみえる」私が悩みを相談したわけでもないのに、卒業生達の言葉は私の頭でっかちな不安を吹き飛ばし、とりあえずがむしやらにやってみよう!!という気にさせてくれました。

今の私にとって、卒業生と語り合う時間は、自分を振り返り、また前向きに進ませてくれる大切な時間になっています。

今でも日々、教師としてどうすべきなのか、どうすればよかったのか、悩み反

省することばかりですが、きちんと向き合っていけば、思いは必ず伝わることを改めて卒業生達から教えてもらった気がします。

ひとりの人間としてちゃんとアンテナをはり、これからも生徒達・卒業生達と一緒に成長していける人間でありたいと思う今日この頃です。



「奉職後38年を振り返って」

数学科教諭

山田 伸夫



昭和48年4月7日午前9時、明治高等学校・明治中学校の昭和48年度第1学期始業式が猿楽町校舎のコンクリートの校庭で行われた。朝礼台に面して（生徒側から見て）正面には1号館校舎、右手には昭和11年2月に完成し、第2次世界大戦も耐えてきたいわゆる赤扉と称する、1階は部室・生協売店、2階は体育館、3階は図書館がある廃墟と

化した2号館（昭和51年に建て替えられ、現在は漫画博物館として内装改築中）に囲まれた校庭で新任教員

3名が当時の校長福島則雄先生より紹介され、その代表として生徒に挨拶をした。

『本年度より縁あって本校に奉職させていただきました、山田伸夫でございます。数学を通して本日より

諸君達と共に学ばせて頂くのですが、学校生活は勉強以外にもさまざまな行事等も有ります。私も身体を張って全力で取り組みます。血

と涙と汗が通い合える深い付き合いができるようよろしくお願いいたします』比較の声が大きい方なので迫力はあったと思います。

始業式終了後、福島校長から呼び出しがあり、校長室で『君に応援団の面倒を

見てもらいたい』とのことお言葉頂き、即座に「承知致しました。私は自分自身経験したことのない分野で不安は有りますが精一杯頑張ります」と返答したのを今でも鮮明に記憶しております。

は教育実習も本校でさせてもらい、その翌年数学科の藤森先生が退職されるので採用試験を受験し、教壇に立つことになったのです。この38年を振り返って、一番印象に残っていることは、前述しました就任時より今日まで携わってこれた「応援指導班」です。

あれから38年の月日が経ち明年3月には定年退職を迎えることになりました。

私の明治との縁は父（明治40年生まれ。昨年17回忌を行う）が、旧制明治中学校第9回卒業生（大正14年3月卒・乙丑会）の「山田

市郎」であり、その後物理学校へ進学・卒業後、昭和4年から昭和20年まで旧制明治中学校の教員をしておりました。

その当時、明治大学理工学部の前身にあたる工業専門学校へ転属致しました。そのような関係もあり、私

は教育実習も本校でさせてもらい、その翌年数学科の藤森先生が退職されるので採用試験を受験し、教壇に立つことになったのです。

この38年を振り返って、一番印象に残っていることは、前述しました就任時より今日まで携わってこれた「応援指導班」です。

合宿も年に夏・春の2回、年によっては冬合宿をしたこともありました。合計80回余の合宿に参加し、生徒と寝食を共にしてきました。38年間と申しますと約2500日ですが応援団のことは一日たりとも忘れる事は無く、特に10年位前（調布校舎への移転が最終決定後）からは、移転後の応援団の位置付けと方向性を暗中模索したものです。色々と考えを巡らせ、決

断する折には、常に歴史ある應援團OB会のお力添えが有ったお蔭で、ここまで継続してこられたのであり、改めて深く感謝する次第です。

さて、今年の幹事学年の「明輪会」の皆様とは、明治中学から入学された方々はご存知の通り中学1年の時担任をさせて頂いたのが始まりです。

「明輪会」の諸君の生まれば昭和39年（西暦1964年）の方が多いと思いますが、この年は東京オリンピックが開催された年です。10月10日が開会式であり、参加国93、参加人数5140名でありました。

その年に生まれた君達が12才で明治中学校に入学。この年もカナダのモントリオールでオリンピックが開

かれました。

そして一昨年北京オリンピックでは参加国204、参加人数11193と国の数、人数共に東京オリンピックの2倍以上という「世界の平和の輪」である五輪であります。

このような深い意味もあって「明輪会」とネーミングされたと思います。永く記憶に残ると共に、私が退職する年度に幹事学年をされることにも不思議な縁（えにし）で結ばれていることを感ぜざるを得ません。

2年後には百周年を迎える本校ですが、私の今までの人生の6割近くを過ごさせて頂いた明治高等学校・明治中学校は真の故郷（母校・母港）であり、私自身がいかなる環境に置かれた時でも、「生きる力と励ま

し」を与えてくれたその年代年代の生徒の皆様、教員として本校から巣立って行ったOB諸兄、また、98年間の約2万名の卒業生の皆様の御支援・御指導の元に、今日を迎えられました事に重ね重ね深く感謝致し御礼申し上げます。本当に有難うございました。

総明会の益々の発展と会員各位の御健勝を祈念しべしを置きます。



ひとのわ こころのわ 親子のわ

親子のわ

親 昭和48年卒 岡本 力三

今年度の総明会幹事年度より、明中高親子二代に渡っての卒業生に、原稿依頼があるとの事、てっきり息子だけで良いと勝手に承諾してしまい、まさか私まで聞いてないよ（古いフレーズ）。

私の明高の想い出は数知れず。昭和47年卒・昭和48年卒の仲間達とは語らいはすれども、決して文章に残して、恩師の先生方・諸先輩方・後輩の総明会会員の皆様には知られたくない伝説なのです。

例えば、水道橋交差点封鎖事件、某女子校文化祭事件等々です。

当時の恩師の諸先生方・友人達とは笑って終わらせて頂ける年齢にはお陰様で成りました。

また、毎年昭和47年卒の仲間が数人食事に来てくれて、皆が当時の話を昨日見たかの様に語り、笑いこけ、本当に一緒に過ごした時の良さを感じさせて貰っています。

息子が高校に進級して、生徒会の手伝いをしていた折に、「お父さんの卒業当時の文集が整理されて捨ててあったから、拾って持ってきた」と、卒業文集の『過程』を渡された。

卒業当時は一切見ていなかった文集を懐かしく読み始め、当時の同級生の誰かが卒業する友達を一言で言いつくす、私の事を「明治、始まって以来の三大悪党の一人」と酷評しておりました。（笑い）

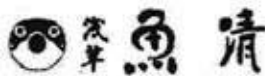
昭和48年卒で得た友人は、私が高校4年生なのか？私に一目置いてくれてやさしかった。（怖かったのか）また、諸先生方も辛抱強

く私を指導して下さいました。明治を卒業して本当に良かったと思います。息子とも共通の話題があり、対等に話し合える家族にも恵まれました。ありがとうございます。

息子を母校に入学させる事が困難な時代になり、明治の悪ガキ代表だった私、息子が同窓になった事でより明治への愛着が湧き、恥ずかしながら原稿を書かせて頂きました。

最後にくれぐれも、この原稿を没にして下さる事を願っております。

ふぐ 季節料理
和牛しゃぶしゃぶ



岡本力三・恵市郎

昭和48年卒 平成8年卒

台東区浅草四丁目35番2号

電話 03-3874-2390

URL <http://www.uosei.com>

親子のわ

子 平成8年卒 岡本恵市郎

今回、親子二代で明治高校OBの家族という事で原稿依頼を受けました。振り返って考えると、私と明治の関係は幼稚園から祖父母に子守唄のように校歌などを聞かされて刷り込まれてきたものでした。

明治中学に入学さえすれば、大学まで遊んで過ごせると祖父母や両親から聞いていましたし、親父も従兄も入学しているので明治に入学する事に小学生だった私としては、自然の流れと思っていた。しかし現実とは違って、入学試験の受験勉強の難しさに入学できるのか不安な日々が続きました。

晴れて合格して入学し、

あとは大学までエスカレーターと思い込んでいました。ところが、またもや現実の違いに悩まされました。

私は浅草育ち。毎年一学期の中間テストと重なる三社祭を楽しんだら、中学1年の中間テストの後、成績が悪いのでいきなりの三者面談。

親父の恩師の先生が多数健在し、ほぼ強制的に先生によって吟詠研究部や地理研に断る勇氣もなく入部。そして中学2年生の時に本当に入りたかったバスケットボール部に入学して楽しく過ごしました。

親父も相当遊んでいたように、私も血は争えないのか遊びの方がメインになって行動評価が危険になりました。そこで評価を高めるために高校協議会議長に立候補して、協議会議長となり皆をまとめて頑張りまし

た。親子が同窓生で一番嫌だったのが教員室に行くことでした。

私自身の担当教師になつてない先生からも『岡本ちゃっとな』と呼ばれられ、昔の親父の話は何人もの先生から聞かされること。何も悪いことをしていないのに、意味のわからない説教などど。

今現在は、家業である浅草のふぐ料理『魚清』の三代目として社会人になつても親子で仕事をしております。やはり人格の基礎を築く中学・高校が親父と同じ学校で学んだ事は言葉にするのは難しいですが、私にとっては良かったと思っています。

『質実剛健・独立自治』の言葉を胸に刻んで『浅草のふぐ屋の魚清』に誇りをもち、皆さまに喜んで食べ

て頂けるようにこれからも明治魂をもって頑張りたいと思っています。

『総明会会報を見ました』とご予約時にお伝えくだされば、ふぐコース『30%OFF』とさせて頂きます。諸先輩方のご来店を心よりお待ちしております。

住所

台東区浅草4-35-2

魚清ビル

電話

03-3874-2390



並んで写っているのが岡本親子

親子のわ

親 昭和58年卒 坂井周太郎
子 平成22年卒 坂井 大周

子供が明中に入学することは全く想定外の出来事だったので驚きましたが、親子二代お世話になることに御縁を感じました。

高Ⅱまで息子も猿楽町に通い、明高最後の男子校生として卒業しました。息子に聞いたところ、私が通った時代とあまり差を感じることはありませんでした。私としても受験を控えた紫紺祭見学の時に、校舎も変わりなく在校当時の様な思い出が明白に甦りました。私が明高に入学した当時

は国民総中流階級などとい

われ、まだ日本全体も景気が好く、先行きに何も不安を感じず、推薦をもらい明治大学に進学して就職するという甘い考え方ができており、私たち学生はそれを目標にモラトリウムな生活を暮らしてきたと思います。

しかし、息子の卒業式で始めて赴いた新しい調布校舎で目に映ったのは全く違う風景でした。みんな明るく、先生方も若々しくて、学校全体が生き生きとしていました。息子は、高Ⅱからこの新校舎で学んだのでその施設の恩恵は少なかつたと思いますが、素晴らしい環境で学生生活を送れたことは今後の財産になった

と思います。

このテーマを与えられて息子と明高についての印象を話し合ってみました。私は明中に合格した時の喜びは三十年以上経った現在でも忘れておりませんが、息子は意外にもクールに対応しております。

私の入学時の印象は大変先生方が厳しく、男子ばかりでかなりむさ苦しいものでした。息子は明るく楽しいたくさんの友人に早くから恵まれて、学校に対して何の不満も感じたことはなかったとのことです。父親と同じ学校に通ったことに関しては、あまり意識することはなかったが時々受け持ちでない先生から声

をかけられて驚いたぐらいだそうです。私は息子が中学から高校へ進学する時の親子面接で、その昔大変お世話になった山田先生が担当教官となり、明らかに息

子の方が成績優秀なために本人への質問はほどほどで、自分への質問が長くて深い内容だったのが思い出深かったです。

男同士ゆえなるか普段も会話することが少ないために、親子同窓生としての輪を広げる会話は難しい作業でしたが、これからも同じ学び舎で男子校での青春時代を過ごした総明会会員として、いつまでも明治への思いを二人とも変わらずに持ち続けていきます。

親子のわ

親 昭和58年卒 遠藤 憲治
子 中学1年 遠藤ちひろ

失礼して自己紹介をさせていただきます。

昭和52年明治中学入学、中学1・2年時は商業研究部に所属、簿記3級の資格を取得後、3年時アウタースペース部に転部。

明治高校進学後、高校軟式野球部に3年間所属。

昭和58年明治大学農学部農学科進学。農業土木コース卒業後、家業の印刷を継ぐべく中堅印刷会社に就職。修行後、遠藤印刷に就職し今に至ります。

子供は3人もうけました。長男は技術系大学附属高校の3年。娘は念願叶って明治中学入学。次男はプロテスタント系の中学にお世話

になっております。

質問1

何故明中に入学したか？

子：父から明中の話を聞いて気にはなっていた。チャレンジ校としては丁度良いレベルだった。

親：脳裏に焼き付く鮮烈な経験を沢山させていただきました。ただ生きてるだけのつまらない人間にならないで済んだのは、この学校のお陰であるという思いが強く、子どもにも同じ刺激を与えてあげられたら幸いと感じておりました。

質問2

入学前の明治の印象は？

子：質実剛健。飾らないけど凄そう。生徒が賢そう。とても歴史がある。校舎が綺麗で広い。入れたらいいなあ。

親：アメリカのハイスクールのような変貌に隔世の感

を覚えました。撞くや時代の暁の鐘です。

質問3

入学してみての感想は？

子：あまり思っていたほど堅い学校ではなかった。

親：生徒が自分の時代以上に生き活きとしているように感じます。先生方の努力の甲斐があったと感じ入ります。相変わらず礼には厳しい学校ようです。学校経営が上手と感じます。

質問4

親子で同じ学校に通うことを今現在どう感じるか？

子：父が「自分はこうだったのに、お前はダメだな」というニュアンスで色々小言を言われて少し嫌だ。

親：子供が決断しなければならぬ時に自分の経験に照らし合わせて微力ながら示唆できる場面があると感

じます。

質問5

親子で同窓生であること

をどう思いますか？

子：特に何も思わない。

親：30年という時を隔てて、自分のちっぽけな人生をトレースできて有意義だと感じました。後輩として・子として何かしらの希望を持って、自分よりももっとマシな人生を送れる一助になればと。明治の校風が女性にはどう影響するのか正直楽しみです。

質問6

明高が親子の関係にどのような影響を与えていると思いますか？

子：無回答。

親：共通の話題が増えました。女房は面白くないようです（苦笑）。乱文乱筆失礼。

東京五輪のわ

東京五輪出場 林崎昭裕氏 同期昭和36年卒 高德武典氏に聞く

昭和58年卒 明輪会 坂井周太郎・西秋 輝彦



林崎昭裕氏

明輪会の名の由来は、早生まれのものを除くと我々が東京五輪開催の1964年に生を受けたからである。そこで、「東京オリンピックと明治高校生の接点がないか？」と会報委員がいろいろと手を尽くし調査した結果、明高出身者でオリンピックに出場した方の記録に巡り合った。

その先輩は林崎昭裕（りんぎさあきひろ）氏といひ、射撃競技のスマールボアライフル伏射種目に日本代表選手として出場された方であった。

だが残念ながら林崎氏はすでに鬼籍にお入りになっていることもわかった。

しかし日本ライフル射撃協会、ならびに明治大学スポーツ振興事務室及び射撃部の関係者の方々のご尽力で明治高校からの同級生で明治大学射撃部に一緒に入部された高德武典氏をご紹介いただき貴重なお話を伺うことが出来た。

東京オリンピックは、戦後の日本国の歴史の中で大きな意味のあるイベントであった。敗戦国として焼け野原になった東京を大きく近代化へと導き、大阪万博とともに高度成長の象徴的なトピックとして今尚多くの人々の心にその名を刻んでいる。その東京オリンピックに出場した林崎氏とはどのような方だったのだろうか？

林崎氏と高德氏は明治高校時代ともに応援指導班に所属していた。新入生として明治大学和泉キャンパスを訪れたお二人は、「学生会館裏の射撃場でライフルを撃ってみないか？」との射撃部の先輩の勧誘に面白半分について行き射撃の楽しさを体感して入部。それからは「禁酒、禁煙、禁マージャン」というストイックな日々を送ることとなる。

入学時100名もの入部者も、朝9時集合で夕方4時過ぎまでの練習に明け暮れ、4年時には男子6名・女子3名になった。林崎氏はキャプテン。高德氏はマネージャーとして射撃部を盛りたてた。

高德氏曰く「林崎には天賦の才能があった」という言葉どおり一年生の終り頃からレギュラーメンバーとなり、その時から不動のエー



高徳武典氏

スとなった。明治大学射撃部は大正10年創部、大学初めの射撃部であるだけでなく今もなお常勝軍団の生え抜きのエリート集団で当時の部員数は100人を数えた。

その中で林崎氏は群を抜いていたという。「どうしてもそんなに当たるの?」という、高徳氏の質問に「言葉では説明できない」とひょうひょうと答えていたとのことである。

高徳氏に林崎氏のお人柄を伺うと、「決断力はある

が、明るく後輩にも優しくかった」とのことであった。しかし射撃のことを常に考える練習場のある富岡までの電車移動中の約一時間いつも電柱に向かい射撃のイメージトレーニングをしていた(射撃の的は常に動いているので、動体視力が大切なのだそうである)。

また実弾射撃は当時ライメンが50円の時代に一発25円したので一日50〜60発しかでぎずあとは銃を構えての据銃にときを費やしていた。

林崎氏がオリンピックに決まった時の印象も、ご自身も部員も当然という思いでさしたる感慨はなかったらしい。

そして、1964年10月16日 大会第7日目 埼玉県朝霞射撃場で林崎氏はオリンピックの舞台に立った。

前日までのオリンピック村での食事が豪華で少し太ったなどと冗談を交わすほどの余裕があったが、前半の30発を終えた後、役員を務めていた高徳氏に「3発落とした、残りを満射しなきゃ勝てねえなあ」と言い、珍しく緊張し弱気であった。

「そんなこと言うなよ、いつも満射撃でるって話しているじゃねえかあ」と励ましたそう。その結果後半の30発も集中を切らさずに撃ち終えた。

結果は1位のハンガリーのラスロー・ハンメル、597点に対し594点で、見事に五輪新記録で6位入賞を果たした。何と1位から6位まで3点差という大接戦であった。

紙一重の結果に悔しいと思っていただろうけど、がっかりしている素振りは見せ

なかった。

大学卒業を機に射撃からは引退し、就職してお兄さんが興した会社に身を寄せた林崎氏であったが、卒業して数年後に不幸にも交通事故で亡くなる。

当時のことをまったく知らない私であるが、関係各位の皆様の悲しみは計り知れないものであったことは容易に想像が出来る事件である。

しかしその後、明治大学射撃部の先輩のご尽力により、その輝かしき栄誉を称えて毎年「スモールボアライフル伏射学生チャンピオン」には、林崎杯の楯が贈られるならわしとなっている。

この楯は明治大学射撃部の先輩がデザインして、作成したのは高徳氏であった。

後日、今年度明治大学射撃部がこの林崎杯を受賞し



林崎賞楯

牌 録

林崎昭裕君は、昭和36年春、明治大学に入学と同時に射撃部に入部した。在学中には幾多の優秀な戦績を残したが特に、最上級生の時、主将としての重績をもちながら、伏射60発競技の全日本選手権を獲得し、さらに第18回オリンピック東京大会では、世界の強豪を破って、594点のオリンピック新記録で第6位に堂々入賞した。

これは単に日本の学生射撃界のみならず、全日本の射撃界に大きな希望を興えた彼の功績は、“昭和44年3月3日”不慮の交通事故による彼の急逝によっても、決して忘却されるべきものではない。

この賞牌は、射撃技能の優秀な学生に興えられ、その記録が彼の記録を更新することができれば、さぞかし彼も満足するものと確信する。

ていることが判明して、写真を撮らせて頂けたので、牌録と共にここに掲載する。

追記

取材後、高德氏から幾度となくお手紙とお電話を頂戴いたしましたので一部ご紹介いたします。

「先日は楽しいひとときを

過ごせた。大事な友人を思い出させてくれてありがとう。

同期の仲間にも連絡をと

り、40年ぶりに林崎君の実

家を訪問しました。

残念ですが生家は無くなっ

ていました。お墓は田園都

市線用賀駅近くの無量寺と

いうお寺にありました。住

職さんのお話から、林崎さ

んのお姉さんが生家の近くに住んでいることを聞き、訪ねました。林崎家は弟さんが継いだそうです。」

また、高德氏を介して、

明治大学射撃部OBから、

林崎氏が生前に書いた手記

及びその当時の貴重な雑誌

を、更にはご遺族からアル

バムをお借りすることがで

きましたので、掲載させて

頂きます。手記は紙面の関係で一部割愛させて頂きました。

最後になりますが、先輩

方から多くの情報を頂戴い

たしまして、ひとつのわを

繋げることが出来ましたこ

とに感謝しております。こ

の場をお借りしてお礼申し

上げます。

記

不安と自信とスキ

東京五輪を撃ち終えて

林崎 昭裕

私が初めて銃を手にしたのは昭和36年4月、射撃部の新入部員募集の経験射撃の時、場所は明大和泉校舎の和泉射場。それまで銃と名の付く物は、猟銃を幾度か見たことはあったが手にしたことはなかった。

大学進学の前、私は友人と共に体育会に属している部に入ろうと誓った。その時は単に体育実技の単位が貰えるからと考えたからかもしれない。私の知らなかったような部がいろいろある。射撃部もそのなかの一つで高校時代には聞いたこともなかった。「射たしてくれんだったさ、行ってみようか」。何人かの友人と射場へきてみた。

「射ってみないか?」。部員らしい人がそう言って私に銃を手渡した。「随分とごつい銃だな。今まで見た空気銃とは違う」。奨められるままに射ってみた。もちろん最初はポンプも弾も部員らしいその人が入れてくれた。引き金を引こうと思う間もなく弾は発射。2発目は教えて貰いながらエアを入れ、弾をつめ、今度は注意深くそして恐る恐る、瞬間目をつぶって…カーン。弾はどこへ行ったかわからない。それでも15、6発射たして貰っただろうか。その間部員は何やら誘いの甘い言葉を書いていたようであるが、友人が10人ほど一緒に入部しただろう。か。

「やめたら罰金だぞ」…その時に約束したが、それもと。うとうと取らずじまいである。こうして競技射撃の第一歩を踏み出した。初めてレギュラーになったのは、翌年の中大とのオープン戦。この時は既にエアからスモールボアに転向していた。レギュラーになると、試合で敗れる気持ちがかんがに辛いもののだとは、今まで思っ

てみたこともない。そして次第に部のためなら私生活を犠牲にしても、という気になる。

昭和39年4月、オリンピック代表選手第一次選考予選、三姿勢・伏射ともに予選通過。予選通過できたのは、2ヶ月前から練習に励んでいたからであることは明らか、しかしオリンピック予選のためのものではない。韓国遠征のための練習であった。この頃はまだオリンピック予選に体当たりしようという考えは少しもなかったし、第一次選考会でも余裕のある記録の射ち方ではない。その日射ち始めてみなければわからないといった状態、第二次選考会もそうであったように思える。

結果、伏射は1位の差3点で3位となり、監督、OBの「やれるだけやってみろ」の声援で徐々に己をその気分にかけていった。そしていつのまにか選考会で勝ちたいという気持ちになり、常に安定した自分

出すのに必死になって、いろいろな姿勢で練習した。仙台合宿でこれならいけそうだと思ふ姿勢を見つけた。信念を持ち姿勢が固まると、今までようやく出していた記録が大しう苦勞せずに射てるようになる。自信は恐ろしいものである。私の姿勢は決してリラックスした姿勢とはいえない。体力がないための悲しさか、全ての重量を左肩にかけてしまう。完全に慣れたと思ひ込んだ時でさえ、肩の神経が気持ち悪くなるほど痛くなり、酷いときは姿勢をとっただけで痛くて起き上がることもあった。

この痛みは射撃をやめてやっとおさまった始末である。しかしこの痛みのお蔭で左腕の力を意識的に抜くコツをマスターすることができた。これは人から教えられて身につくものではない。腕の力を抜くコツを覚えてからは記録の安定度が4、5点は高くなったはずである。

第三次選考会は、全日本

選手権も兼ねていた。私は初めて勝ちたいと執念を燃やしていただけに、前の晩から何か落ち着かない。射座に入って大の字に寝こんでみた。どのくらい経つたろうか。気づいた時、クリーニング・ショットの間がきていた。寝ころんでいるうちに何分間かウトウトしていたのである。今考えるとなんともズウズウしい話。しかしこれが幸いして邪念が消え、標的と自己だけしか考えることのできない自分になったのである。最終シリーズ：勝つか負けるかはこのシリーズにかかっていて。私の計算では満射して590。今までになかったほど強気に、そして点取り虫になっていて自分を発見した。満射を成し遂げた結果は592と、計算より2点上回っていた。

第一次、第二次と他の選手が不調なため、幸運にも上位との点差が開いてなかったで、第三次では自力で首位を勝ち得ることができたのである。正直なところ、オリンピック出場選手に選ばれるまで幸運の続きとおし、実力などそれはとてもなっていないかった。それだけに選手決定後10日ほどの休みが続いた時は、何か酷く不安に襲われてしまった。

選手決定後初めての練習：何か初めて射撃をするような気持ちである。580点を第一歩として、確実に射ちこなせる記録を高位点に押し進めていく。それと並行して己のオリンピック選手としての自覚を植えていく。一日一日と経っていくうちに、己が代表選手であることを疑うことなく受けとれるようになり、それが己への自信となり、確実に記録も上がりはじめる。私が590点前後を常に射てるようになった時、他国の選手も調子を上げてきた。597点、596点：彼らは何の苦もなく射つてしまう。このような高記録を毎日見せつけられていたので、たとえ私が590点以上を射つても、今日は調子が良かったと思えず、それが当たり前のようになり、まわりの環境から錯覚してしまったのである。1ヵ月前までの私なら、この記録が下らないようにと考えたに違いない。

しかしいつも高記録に挑戦したわけではない。その日の気持ちの安定度によって目標を変えるのである。己だけの心の中に秘めた最低記録に確実に射ちこなせる自信をつけることが、大舞台に出る第一歩であるからである。このようにして常に590点前後を射ちこなせるようになった。残るは気の充実である。これなくして高記録の実現はありえない。私はくどいほど己に代表選手であることを言い聞かせる。

試合を2日先にむかえた晩、寝床に入ったものの、オリンピックという檜舞台で射つ不安が一度に募ってきた。私は心の中で「誰か助けてくれ」と叫んでみた。この時ほど心細かったことはなかった。しばらくして私が射っているところを思

い出し、自己最高記録を射つ1発1発を頭に描いているうちに胸がドキドキして興奮状態になる。それからまた不安に襲われる。こんなことでこの夜は気持ち動揺してほとんど眠れない始末である。一般にいう「アガリ」とはこの気持ちの動揺を指すのである。私はこの夜に最大の「アガリ」を創り出したのである。試合の前夜は何の心の動揺もなく寝つかれた。

いよいよ試合当日、射撃開始1時間前に射場に着く。まだ射座に入れない。後ろのベンチで銃の整備をする。私の手は少し震えていたようだが、不安の震えではなく武者震いというやつかも。射座に入る前にもう一度装備点検、射座に入ってもう一度。そして大の字になる。流石にこの時はウトウトするわけにはいかなかった。しかし体の力が何となくスーと抜けていくのを覚える。そして何もかも頭の中から消える。

クリーニング・ショット

始め：起き上がって4、5
発射。射撃開始10分後1
は既に観客は射たのう
が、標的と己だけしかわ
らない自分になっていた。
もちろん後ろの話し声も耳
に入らない。全気力、全神
経が総動員され、肉体は射
撃することに充実にきつて
いる。アガッていたから他
のことはわからなかったの
だろう、と人は言うかも知
れない。アガッていれば射
撃することに全神経を集中
することができず、話し声
はおろかちよつとした音も
耳に入るだろう。一見冷静
であるかのようにあるが、
私に言わせれば、これが競
技中におけるアガリの状態
なのである。

後ろの観客に気づいた始末。
射場内を歩きまわる。観客
の前で競技するのはこれが
初めてであるが満更でもな
い。代表選手であることを
ひしひしと身を感じる。1
点でも記録を上げたい。妥
協はすまい。

最終シリーズ。心の奥底
では、早く射ち終えたいと
いう気持ちがあったに違
ない。その心のスキが後ろ
でつくため息すらも聞こえ
させてしまった。ここまで
きて私のいうアガリの餌食
になってしまふとは！

前評判どおり優勝が593点
ぐらいというのを信じてい
たら、私はおそらく594点は
射てなかったろう。前に述
べたように、毎日好記録を
見せつけられていた私には、
これが入賞するほどの記録
とはとても思えない。ただ
無我夢中というところが本
心だったろう。

射撃訓練の目的は誰に勝
つということではない。己
に勝つための訓練であり、
その目的は己自身によって
のみ達成されるものである。

①



正面から撮られた競技中の写真

②



6位入賞をたたえる賞状

※①②月間 Gun 1965年4月号掲載 写真提供：国際版

③



※③④ご遺族写真提供

④



東京五輪のわ

未来につなぐ「ひとのわ こころのわ」

～東京五輪 聖火リレー伴走者
初谷長治氏～

昭和58年卒 明輪会 大竹 彰



身振り手振りを交え熱心に当時の思い出を語られる初谷氏

東京オリンピック聖火リレーの伴走者を務められた、現在、宇都宮市在住の初谷長治氏（昭和40年卒・バレー部OB）に、当時の思い出などをお聴かせ頂きました。まず、初谷長治氏の略歴についてご紹介させて頂きます。

ご実家は東京の秋葉原で、現在もお兄様がビル経営などをなされているとのこと。明治高校卒業後は、北海道大学理学部に進学され、秋山豊寛さんに次ぐ日本人

で2人目の宇宙飛行士となられた毛利衛さんとは、ご同窓とのこと。また、お兄様も明治高校（バレー部）のご出身で明治大学のOBでいらっしゃるとのことでした。

北海道大学ご卒業後は、本田技研工業株式会社に就職され、本田の工場が宇都宮市の近郊であることから、現在の地に居を構えられたとのことでした。

本田技研工業株式会社をご退職後は、株式会社井上製作所（古河電気工業株式会社100%出資、子会社）で、今もなお現役で勤めていらっしゃいます。（海老名市に単身赴任）

前置きが若干長くなってしまうしましたが、本題の聖火リレーの伴走につきまして、まず、どのような経緯で聖火リレーの伴走をする事になったのかをお聴きしました。

オリンピックが東京都主催（都市開催）ということ、基本的には東京都から都内の高校・大学などに、ボランティアや催しへの参加募集があったとのこと、そういった中、聖火リレーの伴走ということで、運動部で、また、できるだけ地元（の学生という条件に合ったことから、選ばれたことになったとのことでした。

ちなみに、当時の明治高校バレー部（当時は9人制）は、関東大会常連の強豪校で、初谷氏が高校1年の時には、ベスト16まで進まれたとのことでした。

次に、いつ、どここのコースを伴走して、聖火ランナーがどなただったかですが、コースは、内幸町の交差点から日比谷通りを皇居、二重橋方面へと北上し、丸の内方面へ右折、現在の東京国際フォーラム（当時は都庁正門）までの約13キロ。

前日か前々日入りだったとのこと。

沿道からの声援も多く、良いコースだったと振り返られていました。

このコースは、初谷氏の1学年下のバレー部キャプテン橋知紀氏（初谷氏もキャプテン）も一緒に伴走されたとのことで、橋氏のご実家も千代田区明神下、神田駅近くで、ご商売を営まれていたとのことでした。

聖火ランナーについては、よく憶えていない（地元議員や有力者の関係者か？）ということでした。

その時の、ご感想、エピソードおよび記念品等々については、「規則正しく、隊列を乱さずに」を徹底しなければいけないということと、本番前に予行練習を3回ほど行ったとお聴きし、当時の緊張感が伝わってくる思いがしました。

また、「実際、一口に伴

走と言っても、約1.3キロを休まずにランニングするのと同じことなので、傍で見るよりハードだった」「聖火の煙が煙たかった」「受験とも重なり大変だった（初谷氏は当時、高校Ⅲ年）」ともおっしゃられていました。

記念品として貰われた桐の箱に入ったブロンズに彫り込みのメダルは、残念ながら、見つからなかったとのことでしたが、「伴走者の集合写真（後列向かって右から5番目が橋氏・7番目が初谷氏）」「伴走している写真（向かい風に煽られ、聖火の煙が煙たそうな様子がわかります）」「および「バレー」の試合の入場チケットの半券（残念ながらメジャーな試合ではなかった（男子）ようですが：学校を休んでバレー部員全員で2回ほど観に行かれたとのことでした）」をお見せ頂きました。

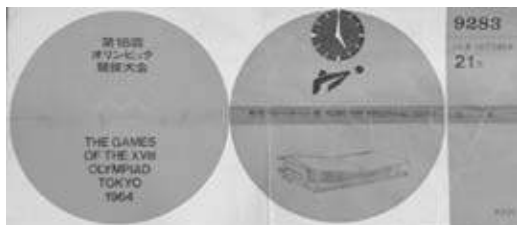


伴走者の集合写真

松枝先生、水落先生（東京都体育連盟）も、ボランティアとして大会のお手伝いをされたそうです。

水落先生はスキー部（夏季オリンピックのため種目なし）のため、裏方での、活躍だったそうですが、松枝先生は、女子バレーの金メダル授与式で会場アナウンスをされたそうです。

また、開会式、閉会式を含め、陸上、水泳、ボート競技等、何らかの形で、全



バレー部全員で見学した試合のチケット



伴走している写真

校生徒の半数ほどは、オリンピックを見学に行っているとのことでした。

思い出の写真などとともに、具体的細かく丁寧に、お話をお聴かせ頂き、当時の情景が目につくようでした。

第二次大戦の敗戦から復興を果たし、アジア地域で初のオリンピックを東京で開催できたことは、ひとえに、日本人のまじめさ、そして、一つのことに向かって一致団結する結束力、まさに今回のテーマであります「ひとのわ ころのわ」が生み出した象徴的な出来事として末永く未来に、聖火リレーのように、さらには、このような時代だからこそ、日本人としての誇りとともに、語り継いでいかねばいけないのではないのでしょうか。

昭和39年の明高新聞に左記の先輩方が、東京オリンピック聖火リレーの伴走を務められた記事を見つけましたのでご紹介させていただきます。

昭和40年卒	初谷長治氏
昭和41年卒	橋 知紀氏
昭和42年卒	水口 茂氏
昭和43年卒	福田善一郎氏
昭和43年卒	小野 洋氏
昭和43年卒	橋 昌夫氏

当時最上級生の初谷長治氏に代表して頂き、お話を伺いました。

橋知紀氏にも41明友会同期会にてお話を伺いました。紙面の関係で写真左のご紹介にて失礼いたします。



橋 知紀氏

 Sweet 10 Diamond.



sweet10diamond.com

 株式会社 ナガホリ

現役生徒のわ

2012年 ロンドンオリンピック 強化候補指定選手 棟朝銀河君

昭和58年卒 明輪会 西秋 輝彦・遠藤 憲治



棟朝銀河君

調布校舎に吉田先生を訪問した際「明治高校と五輪」についての企画をお話させていただと、在校生の高校1年生に「トランポリン競技」で2012年ロンドンオリンピック強化候補指定選手に指名されていて、今年の8月に開催される第1回ユースオリンピックに日本代表で出場する、棟朝銀河むねともぎんが君を紹介される。

早速取材をお願いすると快諾。合宿に入る前日に話を聞くこととなる。

当日、職員室前で7時間目の終わるのを待っている

と、意外と小柄な棟朝君に声をかけられ驚く。「身長は166センチです。トランポリン競技は小さい人多いですよ。身長が高いと回転するのに不利ですし、体の大きさは点数には影響されません」

親御さんの勧めで、よちよち歩きの2、3歳頃から体操クラブに通って村山孝之コーチのもと体操の楽しさと基礎をしっかりと学ぶが、小学校に上る時にそのクラブが消滅してしまい、コーチに新しいクラブを2つ紹介される。

そのひとつで現在も所属している大泉スワロウクラブに、現在のコーチでもある岡嶋正治コーチがいてトランポリンがあったのがこの競技との出会い。ついでにやってみたら楽しかったので、中学1年までは別のクラブでの体操競技と両立していた。練習を積み重ねて、日常では体験できない高さまで跳べるトランポリンの魅力に引き込まれ、数々の大会で好成績を残して、トランポリン一本に絞った。練習は週に6日。試合での競技時間は1回のジャンプが2秒くらい。予備ジャンプを含めて10種目の異なる技を演技しても1分かかるらないで結果が出てしまう。集中力が必要な競技だが、棟朝君曰く「前から用意周到にするタイプなので、演技の順番を頭で考えるのではなく、体が動きやすいように組み立てて覚えこませる」

そのために練習では毎日少なくとも3時間は跳んでいる。高く跳ぶことに恐怖感を感じないが、10回演技する際に、たった1回ひねりが多くなったりしただけで演技の感覚がずれてしま

う怖さがあるらしい。
採点競技のため、途中で演技を終了してしまうと、その時点までの得点しかもたえないので10回を完璧に演技して、尚且つ難度点の高い技を盛り込まねばならない。

棟朝君の得意技は「ひねり」より「縦に回る」ことで、前3回宙返りに半分ひねりのトリフィスバラニーアウトというものらしいが、実際に見ることが出来ず残念だ。

目の前にいる学生服姿の華奢な棟朝君から、そのような演技を想像できずに尋ねてみると、トランポリンは、6種目ある体操競技のように全部の筋肉を鍛えるのではなく、必要なのは体幹を鍛える事である。そして一番大事なのは故障しないことらしい。

中学から明治に入学した

棟朝君、理科・社会の資料集を見ているといつの間にか時間が経っているという理由でこの科目が好き。練習や大会出場で勉強との両立は大変で、授業に出られないことも多く、友達には助けてもらっているらしい。練習が不調だと、学校へ行くのが嫌になる時もあるけど、いざ学校に来ると、友達の雰囲気は賑やかで元気を貰えて、練習を頑張ろうと前向きになる。

大会が東京で開催されるのは都大会ぐらいで、ほとんどが遠くで開催されることが多いため、友達が応援に来ることはできないが、終わった後に「大会どうだった？」と声をかけられることや、全校生徒の前で学校表彰された時などは、「ここまで頑張ってきた良かった」と思うことは度々あるそうだ。一度文化祭行事の

中で実演を依頼されたが、大会と重なって出来なかったのは残念だった。

今年の8月にシンガポールで第1回ユースオリンピックが開催される。これはオリンピックに出場できる年齢に達していない若い人達のためのオリンピックです。

競技によって年齢制限が異なりますが、トランポリンは16・17歳。4年に一度の開催で年齢の幅が2つしかないところに「偶然当たって運がよかった」

全日本選手権年齢枠上位4名の中で1位になり、日本代表としてアジア選手権出場。中国選手が1位・2位で、棟朝君が3位。国ごとで1名ずつという選出規定のもと、アジア枠2席の1席を獲得しての出場。

「これも相当運がよかった」と運を強調されていました。が、運を呼び込むのも実力

のうちだと思う。

このアジアジュニア3位の後に大きな大会が二つあったが、どちらも演技が途中で終わってしまつて不調が続いているようだ。「流れがよくないのでユースオリンピックまでには試合で通せる力を身につけて、代表として恥ずかしくない形にしたい。アジアジュニアの時は、中国勢と大差だったので、もっと近づいてメダル争いにくい込みたいです」と熱い抱負を貰いました。

ライバルは中国と昨年の世界年齢別大会で優勝したウクライナの選手だそうです。このときは決勝でミスをして4位になってしまったのでそのリベンジです。(ちなみにこの大会では、2台のトランポリンで2人が同時に同じ演技をするシンクロ競技において、石川県の人と組んで優勝しまし

た。

昨年末のトランポリンでのロンドンオリンピック強化候補選手は、ナショナル候補が5人。18歳以下が10人。棟朝君は年齢のカテゴリを超えて上のランクであるナショナル候補です。

シドニーから正式競技になり、日本はアテネ4位が最高成績。競技人口も増えて、全体のレベルも上がってきて、厳しい状況ではある。

今年11月沖縄開催での全日本選手権が最初の選考会になる。そしてオリンピック前年の世界選手権で日本の出場枠を勝ち取り、直前の国内最終選考までの長い道のりである。棟朝君は、「オリンピック強化候補に選出された時は、他の強化指定とは違うので、とても励みになったし、もっと上を目指す努力をしよう」と思ったそうです。



トランポリン競技のトップクラスは25歳で、年齢のピークが若い競技。今が勝負の時。
「ガンバレ！棟朝銀河君」
総明会会員皆様からの熱いエールを棟朝君のこころへ。

祝 棟朝銀河君

第1回ユースオリンピック
トランポリン競技
銅メダル獲得!!

8月20日、シンガポールのビシャン・スポーツ・ホールで開催された、記念すべき第1回のユースオリンピックの大舞台で自己ベストを大幅に更新する演技で見事3位に入賞、銅メダルを獲得しました。

決勝では、1位のウクライナ、2位の中国選手と僅か1ポイント差の接戦。

「まだまだここは通過点。いずれは自分がトップになるという気持ちをお忘れずに頑張ります。」と頼もしいひとこと。更なる高みを目指して、頑張れ棟朝君。

神田天井家 (旧天井いもや)

当店は明中、明高生のあたたかいご支援を受け創業39年を迎えました。一昨年8月に屋号を「天井いもや」から「神田天井家」と改めましたが、変わらぬ味で営業させていただいております。

今後とも皆様のご来店を心よりお待ちしております。店主 須賀雅治

千代田区神田神保町1丁目22番地 電話03-3293-0366 営業時間:11時～16時 定休日:日曜・祝祭日



部活帰りに大変お世話になりました。今でも時々食べに行きたくなる懐かしい雰囲気と変わらぬ美味しさ。すいませ〜ん、ご飯大盛で。

現役生徒のわ

明高の女姿三四郎

昭和58年卒 明輪会 並木 功



荻野すみれさん

高校Ⅲ年生に明高の女姿三四郎がいることをご存じだろうか？ 高校三年間を、柔道部女子一人で過ごし、都大会ではベスト8の戦績を残し頑張っている。

彼女が明高に入学した2年前は女子一期生の年。当然、柔道部に女子部員はいなかった。そんな中、彼女はどんな気持ちで柔道部に入ったのだろうか？

彼女の柔道との出会いは小学校5年生の時。弟さんが近所のクラブ道場で、彼女より少し前に柔道を始め

ていて、ちょっとした興味を持ったことが柔道を始めるきっかけとなった。始めてみるとこれが面白い。今までの習い事では経験したことのない魅力を感じ、とにかく、人を投げる爽快感が溜まらなかった。

中学に進んでも学校に柔道部が無かったためクラブ道場通いは続いたが、中学1年生の時、新人戦で見事都大会3位に入賞。このことが彼女をますます柔道にのめり込ませることとなる。

そんな輝かしい戦績を残す一方、部としての組織が無かったため、試合にはいつも単独参加で一人ぼっち。高校に進んだら、必ず部活動に入ろうという決意を生むことになる。

明高を受験することになったのは、中学校の担任の先生が明大OBで、「明治は

性格的に合っている」と薦められたことに由るらしい。いざ、明高を薦められても、女子一期生だったために情報も乏しく、「男子校」、「頭がいい」といったイメージしか無かったと振り返る。

明高に入学してからは、中学生の時の決意宜しく、柔道部入部を考える。男子だけしかいなくても同じ柔道をやっている仲間がいることだけで嬉しかった。

反面、いざ入部してみると女子はやはり一人、3年間続くのかといった不安に苛まれもした。そんな不安をかき消してくれたのは、やはり柔道部の仲間であった。

顧問の櫻井先生と太竹先生は、男子女子分け隔てなく接してくれ、女子一人が孤立しないように練習を一緒にやってくれるなど時に

気を遣ってくれた。

他の運動部にある厳しい上下関係は無く、和気あいあい、それでも、やるときはやるといったメリハリのある環境が彼女の柔道生活を支えてくれているようだ。女子一人という孤独感は全然無かったと笑顔で語ってくれた。

良いことしかなかったかというところ、そうでもない。高1の時には、たった4人で練習をしていたこともあった。また、元々が男子校だったので、合同練習会などの出稽古の相手には男子校が多く、稽古相手に女子がいないうことが寂しく感じる時もあったらしい。

男子と常に一緒に練習をやることで、力の差を感じさせられることも多いが、彼女にも力がついたのは事実であり、「組み手では決

して負けない」という自信を持って試合に臨めるようになった。

高校女子柔道の競技人口は決して多くないが故に経験者が多く、非常に競争が厳しい。柔道を始めたクラブ道場の環境がとても良く、楽しく始められたことが今でも続けられている一つの理由であり、試合に勝つことが、厳しい競争の中でも柔道を続けるモチベーションが繋がっている。

トップとの差はやはり練習量。限られた時間の中で集中することを心掛けている。それでも、試合に出る度に「これじゃダメだ」と思うことが多いらしい。落ち込むこともあるが、そんな時でも、自分から諦めてはダメだと自分を鼓舞する。続けることに意味があると思信じている。

とてもポジティブな考えを持つ彼女は、普段どんな高校生なんだろうか？

好きな教科は歴史系、特に日本史、歴史上の人物に興味を持っている。

反面、英語が苦手、本当に困った顔をしていた。好きなアイドルは生田斗真。

「とってもカッコイイ」と言った時の顔は今の女子高生そのものだった。

明高に入学して、忍耐力がついた、流されなくなった、自分が強くなった、と

分析する彼女は、明大への進路希望があり、大学でも柔道は続けたいと思っている。バイトもしてみたいし、女子大生としてオシャレも

してみたい。将来は、警察官だったお爺さまの影響もあり、警察官に憧れている。

高校Ⅲ年生の女の子と話していることを感じる時も

勿論あるが、一つ一つ言葉を選んで話してくれた彼女は、強い意志を持った素敵な後輩だった。

本人の努力と、ご両親の教えがしっかりしているのだろう。つまずくことがあっても、きっと乗り越えていくことが出来ると思う。

荻野すみれさん、しっかり者だけど、とってもチャームिंगな柔道家と会うことが出来た。



応援スタンドのわ 平成22年・選手激励会

昭和50年卒 明紫会 後藤 勇三

第92回全国高等学校野球選手権大会の西東京大会初戦を一週間後に控えた6月26日、恒例の応援団による硬式野球部への激励会が東府中の明大球場で行われました。

野球部への激励は長く続いていく伝統行事で、質実剛健の明治らしい勇ましいエールが送られるだけではなく、千羽鶴の受け渡しといった柔らかな気持ちもまた、過去から現在まで、その時代を担う多くの選手と団員により脈々と引き継がれているものです。

その最も新しい伝統の継承者たちにより、今年も校歌が球場に響きました。

今年の高Ⅲ生は新球場が完成した平成18年秋の翌春

の入学なので、「つつじヶ丘」を知りません。新球場で三年間練習を積んだ学年であり、男女共学となった最初の学年です。

なお、当日は安田学園との高Ⅲ引退試合が開催され、選手ご家族の協力を頂きながら本番さながらの応援が行われました。

ご承知のとおり、明治高校は今春に就任した昭和47年卒・小林千春監督が最初の夏（西東京大会）の指揮を執ります。一方の安田学園は2年後輩の昭和49年卒・森泉弘監督が2回目の夏（東東京大会）に挑戦します。選手権大会直前のゲームに両校監督の同期（写真右から昭和47年卒・沖原、小林／写真左から昭和49年卒・


原、長橋、高田のOB各氏）だけではなく、両監督を現役選手として指導されとともに明治高校硬式野球部が確かな足跡を刻んだ昭和38年から（40年のセンバツ出場）47年まで監督をされた大溪弘文氏の顔もスタンドに見受けられました。

時の流れは、ベンチ入りの女子記録員とチャリデーイング部からの副団長を誕生させましたが、明治の名を胸にした現役生徒が最後まで全力で戦うことと、大応援のスタンドが、まるで母校になったかと思わせるような同年代の卒業生たちが創りだす輪・話・和は、いつの世でも不変です。

選手、応援団員を合わせて100名に成らんとする今年の明治高校の選手権大会での快進撃に期待して、平成22年の激励会報告とします。



プレミアム大吟醸酒「男坂」 総明会会員限定販売申込書 FAX0259-87-3173

氏名		 <p>厳しい時代ですが、 若き日を思い、 一段一段上を向いて 歩こうではありませんか？ 銘酒「男坂」</p>
お届け先 〒		
電話番号 FAX番号		
申込内容	720ml @2,000円/本 本 1800ml @4,000円/本 本	



株式会社 北雪酒造(ほくせつしゅぞう)
所在地 〒952-0706 新潟県佐渡市徳和 2377番地2
TEL:0259-87-3105 FAX:0259-87-3173

昨年会報に、懐かしい酒の名を拝見しました。「北雪」を造っていらっしゃる方が明大OBということを知りました。明大で出会った私の妻も佐渡の出身でこれも一つ新たな輪を紡ぐ機会になれば幸いです。結婚のお許しを請いに初めて佐渡に伺った時に既に義父は亡く親代わりとしてお会いした新穂の藤平さん(屋号)で、御会いたその日から年の差はありましたが意気投合して、藤平さんにお逢いしたくて何度も佐渡を訪れていました。夜な夜な佐渡の山海の肴をあてに飲む酒はいつも「北雪」でした。淡麗辛口で飲み飽きずふたりで一升なんて当たり前の旨酒です。久し振りに私も今は亡き歳高き友を想いながら盃を傾けたいと思います。皆様も是非「北雪」をお試ください。美味しいです。

○この限定バージョンに注いだ魂とは ～北雪酒造様にお聞きしました～

今回、明治繋ガりの縁で特別製作する酒に選んだ酒米は究極の「越淡麗」です。「越淡麗」は酒造好適米「五百万石」を父方に「山田錦」を母方に持ち、両者の特性を生み出す為に交配を重ね、育種選抜の早期の段階から醸造特性のみを重視し15年もの歳月を経て誕生しました。この新品種の酒造好適米を「朱鷺」の棲む「佐渡ヶ島」で蔵人自らが栽培し、その特性を十分把握し「極さ寒造り」で醸した「越淡麗」100%使用の大吟醸です。味にふくらみがあり、後口の切れの良さが特徴です。

お申込み頂く際は、本ページをコピーして、申込書にご記入の上、弊社までFAXにてお願い致します。尚、お支払いは商品到着の際に『商品代金+送料』の代金引換のみとなります。

お申込みから商品到着までおよそ10日間となります。何卒、ご了承頂きたく、宜しくお願ひ申し上げます。

株式会社 北雪酒造



学 校 報 告



第62回明治大学付属明治高等学校卒業証書授与式

昭和58年卒 明輪会 坂井周太郎

前日の雪嵐のなごりの小雨の中、平成22年3月10日明治高等学校・中学校講堂紫紺ホールにて、第62回明治大学付属明治高等学校卒業証書授与式が行われた。

国歌斉唱の後、田中徹太郎教頭先生より学事報告がある。本年度卒業生の総数は229名、明治大学進学者は205名（推薦202名・AO入試3名）他大学進学者は24名。旧制中学からの累計による同窓生数は18830人となった。

卒業証書授与ののち特別表彰として、優等賞2名・3カ年皆勤賞39名・3カ年精勤賞23名・特別教育活動表彰3名・総明会賞3名・学校外団体表彰6名の表彰が執り行われた。

学校長金子光男先生のごあいさつは毅然とし、朗々とした威厳あるお言葉であった。そして最後に校長先生は「いざさらば！」と力強いお言葉でしめくられた。それは千尋の谷に我が子を突き落とす獅子のごとき厳しさと、愛情のこもったものであった。

その後、理事長・学長代理・PTA会長の饒のお言葉があった。つぎに総明会会長 尾島育四郎氏の「青春の語源について」など、これからの日々を大切にせよとお言葉があった。

送辞、答辞の後、校歌斉唱が行われたが、『最後の男子校生たち』の歌う校歌は、おそらく来年度の卒業生のものより野太い歌声だったのではないかと思うと感慨深いものがあつた。

つつがなく式が終わり、紫紺ホールを出ると昨日の嵐が嘘のような晴天であつた。卒業生の前途は素晴らしく明るいものになりそうだ。

追記

保護者として参加した私は、最後のホームルームを参観できると伺い、Ⅲ年C組の教室を訪ねた。担任の先生の愛のあるお言葉の後、一人の生徒の発案で円陣を組むことになった。そして一人ずつ今の想いを仲間たちに伝えた。「ありがとう!」「楽しかった!」「C組最高!」など、ああ彼らは本当に良い学校生活を送ったのだと思つた。そして、この円陣から新たに同窓生としての輪がうまれたのだ。



最後のホームルームでの円陣「わ」



明治大学付属明治高等学校 2009年度卒業祝賀会

昭和58年卒 明輪会 坂井周太郎

2010年3月10日午後
2時30分よりホテルニュー
オータニ本館1階「鳳凰の
間」にて卒業祝賀会が行わ
れた。

開会の辞・謝辞・PTA
会長挨拶・学校長挨拶・来
賓祝辞・花束贈呈のあと、
乾杯、懇談会が始まる。

印象に残ったのは、本
ご子息を卒業させた保護者
の皆様の表情だ。責任を一
つ遂げた誇らしさと、安堵
の感情が素直にあらわれ、
この場にいる幸せを共有す
ることに私も感極まる思い
であった。また、学校長と
もお話する機会を得る事
が出来たが、そのお顔も卒
業式の毅然とした印象から
大変柔和で楽しげであった。
その後、久しぶりに私の
恩師であり息子の学年主任

であった坂口先生に私たち
58年卒業生と、本年度の卒
業生との違いについての感
想を伺った。その時のコメ
ントは、明輪会の名譽のた
めにもオフレコとさせてい
ただく。坂口先生その節は
申し訳ございませんでした。
その後、自分の時にも
教わった先生方ともお会い
することが出来、期せずし
て息子のおかげでまた一つ
輪が繋がった様に感じた。
最後は校歌斉唱で閉幕。
本当に先生方、学校関係者
の方々、そして何よりPT
A役員の皆様、保護者の皆
様ありがとうございました。
お疲れ様でした。
これからは息子さん方は
総明会の一員として新たな
輪に加わりました。

- ・ケータリングパーティ
- ・各種お弁当承ります。

株式会社

レストラン・ピガール

明大1号店

【お問い合わせ】

〒182-0033 調布市富士見町4-23-25
明治大学付属明治高等学校・中学校内
TEL/FAX042-480-9703

担当 総括支配人 山口剛志



建築資材総合商社

株式会社オオモリ・マテリクス

代表取締役 大森 清貴(長男 明治大学野球部2年生)

本社 〒101-0023 東京都千代田区神田松永町18番地
TEL 03-3253-9411 FAX 03-3253-9418

営業本部 〒135-0053 東京都江東区辰巳2丁目3番1号
TEL 03-5534-7700 FAX 03-5534-7708

2010年度 明治高等学校・中学校入学式

昭和58年卒 明輪会 遠藤 憲治

平成22年4月6日（火）

栄えある入学の日に相応しい快晴の青空の下、明治高校・中学講堂 紫紺ホールにて2010年度明治高等学校・中学校入学式が厳かに執り行われた。

立派な校門を入ると女子生徒が会釈をしながら声を出して挨拶をする。相変わらず、簇の行き届いた厳しい学校なのだと安心する。1450名収容の紫紺ホールは、前列に入学生徒諸君、後列に入学父兄諸氏が着座した。広い会場は満席に近い状態で、父兄席には父母のみならず、祖父や祖母と見受けられる家族の方々の姿もあった。難関を突破した子息の晴れ姿を見たいという気持が伝わってきた。

今年度の入学生は明治高校272名、中学172名である。

姿勢を正し、ジツと壇上を見つめる新入生諸君の姿は過酷な競争を勝ち抜いたエリートのオーラのようなものを感じてしまった。

千数百人の人間が同じ部屋に居るとは思えないほど静けさには一種独特なものを感じた。

式典前に、マンドリン部による演奏が行われた。音響効果が高く、落ち着いた木調の内装がより一層演奏の品格を高めていた。

大人数による吹奏楽班の威風堂々とした校歌演奏により開式し、学校長をはじめ、来賓の方々の列席により開会した。

金子光男 明治高校・中

学校長、長堀守弘 明治大学理事長、納谷廣美 明治大学学長、宮下守正PTA会長より祝辞を賜った。続いて、学校役職者、主任、担任紹介が執り行われた。

学校長の祝辞でJ・Dサリンジャーの言葉を引用していた。大変興味深かった。「ライ麦畑でつかまえて」の終章に近い部位で語られた教養の重要性に対する一節を示唆していたのだろう。

閉式後、広々とした校庭で各クラス別に記念撮影がおこなわれた。

撮影後、ホームルームへ戻り、担当教員から学校生活に対する説明が行われた。提出書類の多さに驚愕したが、これも生徒に対する厳格な姿勢と感じ入った。

筆者がお世話になった時代の「質実剛健」「独立自治」の解釈が時代に合わせ変化し、努力、忍耐、根

性に加えてインテリジェンスへと移行しつつあると感じ、この学校はまだまだ良くなる！と感じ入った。

先生方・生徒の前向きな姿勢を目の当たりにして、OBも理想を貫徹するため、に刻苦研鑽他念無きせば：と感じながら学び舎を後にした。



吹奏楽班 第51回定期演奏会を聴いて

昭和57年卒 明魂会 菊池 正純

吹奏楽班の第51回定期演奏会は、平成22年1月31日（日）、昭和女子大学の人見記念講堂において開催された。

演奏会当日は、曇天で、冬らしい寒気に包まれていたが、1000人近い聴衆が客席を埋め、90人を超える大所帯となった吹奏楽班の班員が、それぞれに思いを込めて奏でる演奏に酔いしれた。

昨年は、50回目の節目となる記念の定期演奏会であったことから、OBとの合同演奏が行われた。今年は、その時の興奮を胸に、また新たな一歩を踏み出す定期演奏会に、多くの吹奏楽班OBが駆け付けていた。

定刻に始まった第1部は、「エヴァンゲリオン新吹奏楽版より」ほか一曲が演奏された。どちらも、明るい旋律の中にも、切なさや勇

ましきなどが表現され、変化に富んだ曲想に、自然に引き込まれてしまった。

応援指導班団長が司会進行を務める第2部は、今やこれを楽しみに毎年来場される一般の方もいるというポップスステージ。

昨年6月に急死したマイケルジャクソンを悼んで演奏された「スリラー」では、音の迫力とともに、選りすぐりのダンサーならぬ班員のダンスが圧巻だった。

聞くところによれば、楽器の練習時間よりも、ダンスの練習時間の方が長い班員がいたとか。朝連、昼連と、ダンスのキレに磨きをかけたそうである。

第3部は、朝鮮民謡のアレンジ曲のあと、チャイコフスキー交響曲第6番「悲愴」（各楽章のセレクション版）。一年間の演奏活動の集大成として、迫力のあ

る音色がホールいっぱいに響き渡った。観客から贈られる惜しみない盛大な拍手とともに幕を閉じた今年の定期演奏会。4年連続で東京都吹奏楽コンクール本選出場を果たしたレベルの高いテクニクには円熟味さえ感じた。今後ますますの吹奏楽班の活躍を期待しつつ、人見記念講堂をあとにした。



写真提供
（株）エーコーフィルム

祝 第46回総明会総会・懇親会

吹奏楽班OB会

会長 竹越 利之

（昭和53年卒）

P T A講演会「我が野球人生」

講師 星野 仙一

昭和58年卒 明輪会 青木 正美

平成22年6月5日(土)、

明治高校・中学講堂紫紺ホールにてP T A講演会が開催された。

文化厚生委員長の司会により進められ、金子学校長・宮下P T A会長の挨拶に引き続き、リバティアカデミーの関谷氏により本日の講師である星野氏の紹介が行われた。

野球に関することだけでなく、講師の幼少時代から現在に至るまでの様々な人生経験に基づいた話をされ、時折笑い声がホールに響き渡り、皆が楽しめる内容であつたという間に時間が経過した。

最後の質疑応答では、明治の野球部の監督に就任す

ることはあるのかとの質問に対し、『もしかしたら将来采配を揮っているのでは』と期待を持たせつつ終了の時間となった。



『OB進路相談会』

昭和58年卒 明輪会 並木 功

進路指導の一環として学校主催による『OB進路相談会』が平成22年6月5日(土)行われました。対象は高Ⅲの生徒で、7、8年ほど前から毎年6月に開催されています。

今回は進路分野を、①法律・政治・行政系、②会計・経営系、③経済・経営・商学系、④情報・国際系、⑤文学・歴史・心理系の5つに分けて開催されました。

明高卒業の現役の大学4年生16名を招き、学部選択のヒント、各学部の特徴、更には大学生活などについて活発な情報交換が行われました。

今回は文系のための相談会でしたが、理系分野に関しては、別途、生田校舎に向き、研究室の内容について

て理解し、公開授業も受けられる機会が設けられています。

高Ⅲの生徒からは大学生活に対する不安からか、多岐にわたる質問が出ましたが、全ての会場から「英語はついて行けるか?」という質問が挙がり、いつの時代も英語はネックになっているのかと、自分の頃を思い出し苦笑した次第です。

片や卒業を控えている大学4年生、片やこれから大学生活に入る高Ⅲとしては、大学生活への意気込みも若干の温度差が感じられましたが、やはり年齢の近い先輩の声は、高Ⅲの進路決定に大きな影響を与えてくれるに違いなく感じた次第です。

明治高校報告

昭和58年卒 明輪会 青木 正美

本校卒業生5名が司法試験に、8名が公認会計士試験に合格いたしました。おめでとうございます。

また、明治大学において多くの卒業生が活躍しておりますので紹介させていただきます。

2009年度

司法試験合格者

加藤 潔 (平成11年卒)

門倉 良則 (平成11年卒)

森本 裕己 (平成13年卒)

服部啓一郎 (平成14年卒)

鈴木 賢治 (平成14年卒)

公認会計士試験合格者

辻田 悠 (平成13年卒)

福光真澄朗 (平成15年卒)

小北 一貴 (平成18年卒)

小佐野貴成 (平成19年卒)

菅原 健生 (平成19年卒)

高橋 祐也 (平成19年卒)

森 照朝 (平成19年卒)

白坂 直己 (平成20年卒)

学位授与 (工学博士)

「酸化白金パラジウム薄膜の作製と光学特性に関する研究」

岩井 祐貴 (平成13年卒)

3年早期卒業

中野 隆文 (平成19年卒)

法学部3年

高橋 一斗 (平成19年卒)

法学部3年

大澤芳秋奨学論文優秀賞

高梨 慧 (平成18年卒)

法学部4年

学部長特別賞 (成績優秀)

茅根 貢 (平成18年卒)

商学部4年

日本建築士学会卒業研究奨励賞

中島 啓亨 (平成18年卒)

理工学部4年

応用化学科早期卒業業者奨励賞

重光 勇介 (平成18年卒)

理工学部4年

連合父母会教育振興賞

(公認会計士試験合格)

小北 一貴 (平成18年卒)

経営学部4年

学部長奨励賞 (成績優秀)

飯島 匠 (平成20年卒)

法学部2年

稲垣 千駿 (平成20年卒)

政治経済学部2年

伊藤 泰浩 (平成20卒)

農学部2年

十文字純一 (平成20年卒)

農学部2年

学部長表彰

(全国マンドリン

四重奏コンクール優勝)

佐藤 豪 (平成19年卒)

法学部3年

学校の近況が明治高校中学のHPで詳しく紹介されています。是非一度ご覧ください。(検索サイトで明治高校と入力していただくか、以下のURLのサイトをご覧ください。)

URL http://www.meiji.ac.jp/ko_chu/

班・部 監督・コーチ委嘱状交付式

昭和58年卒 明輪会 並木 功

2010年度の班・部

監督・コーチに対する委嘱

状交付式が、2010年6

月5日(土) 16時から多目

的ホールにて執り行われま

した。

高校生徒指導主任であられる北村先生司会により、中学教頭の藤田先生の開会の辞によって式は始まりました。

多くの先生方、各班・部の監督・コーチの方々ご列席の中、金子校長による委嘱状がバスケット部の中村監督に代表で交付され、校長先生のご挨拶、PTA会長の宮下様のご挨拶も頂戴

しながら、厳かな雰囲気のもと式は進みました。

副校長の小西先生ご発声による乾杯の後は、監督・コーチの方々も所属や年代に関係なく、それぞれの近況報告や日頃指導に当たられてい

るご苦労など多岐に渡る話題で、大変和やかな懇親の場が繰り広げられました。

監督・コーチの方々は、それこそ手弁当で我が母校の発展に寄与して下さっています。ベテランの方から卒業したばかりの大学生まで、広い年代の方々がそれぞれの班・部活動を支援し

ていることこそが、『伝統』というかけがえのない資産となつて脈々と受け継がれています。

OBの方々、是非ご自身が現役時代の時を思い出し、可愛い後輩のためにも、何かしらのアクションを起こしてみませんか？

ご参考までに、本年度の各班・部の顧問の先生方、監督・コーチの方々のリストを左記に掲載させて頂きます。紙面の都合上、顧問の先生、コーチのお名前を一部割愛させて頂いている旨ご了承ください。

尚、交付式に先立ちまして、AEDを用いた心肺蘇生法の実技講習会も行われています。



2010年度 生徒会 班・部 役職一覧

部 活	顧問	副顧問	監督	コーチ
生徒会本部	山口 弘	宮下 崇	二宮 康人	
応援指導班	飯塚 浩芳	山田 伸夫	吉田 耕太郎	比留間 竹郎
吹奏楽班	鈴木 正人	坂口 泰通	豊川 真安	大武 輝夫
				杉山 晴香
				坂本 祐希
放送班	小林 伸一			
図書班	江竜 珠緒			
剣道部	北村 純	小西 哲男	羽田 郁雄	木村 茂
硬式野球部	前島 研二	田中 徹太郎	小林 千春	寺土 博昭
高校軟式野球部	吉川 末恒	原島 章暢	杉田 伸一	野口 浩平
中学野球部	原田 裕貴	藤田 昭造	内藤 勝成	
高校山岳部	松下 正寿	山口 弘	阿部 康一郎	谷後 充洋
水泳部	土岐 明利	吉田 重幸	鯨井 俊	前田 幸伸
スキー部	中村 容子	西原 春雄	菅野 栄一	布施 駿
卓球部	小岩 孝一	星野 均		斎藤 清
柔道部	櫻井 清孝	大竹 雄介	大熊 悠介	笠井 大
ソフトテニス部	横須賀 伴子	尾崎 義夫	佐藤 優真	吉野 智紀
バレーボール部	山中 禎一郎	牧野 治子	渡辺 圭	根本 卓弥
バスケット部	谷 伸彦	前島 研二	中村 正博	岡 俊宏
バドミントン部	安部 友己	元谷 恒		山口 達明
陸上競技部	上小牧 正広	齊藤 信弘	大橋 雅俊	
サッカー部	田中 徹太郎	清水 克悦	中山 正太郎	大室 智
硬式テニス部	小柴 仁美	北隅 史倫	長田 直樹	野本 剛志
硬式テニス部(女子)	山下 貴子	本橋 宏之		西山 夕陽
E S S 部	佐藤 秀和	山下 貴子		
マンドリン部	駒形 くみ子	矢田 理世	久保田 孝	丸橋 弘雅
物理部	浦田 敏則			
化学部	櫻井 清孝	一瀬 尚史	伊藤 泰浩	
生物部	西村 英之			
写真部	小林 伸一			
書道部	鈴木 康巳			大迫 宏美
地理研究部	由比 将夫			
歴史研究部	粟野 哲也			最上 達也
美術部	須藤 正見			
J R C 部	松本 麻奈美			日下部 尚徳
地学部	則 茂雄		和田山 悦子	荒井 啓伍
囲碁部	吉田 重幸			
将棋部	鈴木 康巳			吉田 慶長
映画部	齊藤 信弘	浦田 敏則		
コンピューター部	本橋 宏之	横山 晴之		
鉄道研究部	則 茂雄		内田 啄也	荒井 啓伍

2010年6月5日 班・部 監督・コーチ委嘱状交付式 配布資料 一部改変

新任先生ご紹介



名前：大竹 雄介

生年月日：

1977年7月10日

出身地・出身学校：

東京・日本体育大学武道
学科卒

担当授業・担当クラブ：

中2・高1・Ⅱ体育・
柔道部 副顧問・
バドミントン部 副顧問

抱負：

7、9年前に非常勤講師
にて明治高校・中学校にお
世話になり、生徒たちの夢
中になる姿に引きつけられ、
今年度より着任いたしました。

た。

前任校は東京工業大学附
属科学技術高等学校にて専
任で6年間働いておりまし
たが、中高大一貫教育の環
境にて生徒にどれだけ刺激
を与えられるか、また新た
な刺激を受け、成長したく
参りました。

教員として10年目を迎え
ますが、新天地にて明治ら
しさと自身らしさが融合で
きることを祈願し、ご挨拶
と代えさせていただきます。

生徒と接してどんな時に
「繋がりをわ」を感じられ
ますか？

学校行事やクラブ大会な
ど場面場面での生徒たちの
表情の変化に一番印象を覚
えます。集中力や気持ちの高
ぶりなど、日常ではみられ
ない意識を感じられました。

まだ明治に着任して日も
浅くこれからどんどん明治
の魅力に出会えることに期
待を抱いております。明治

である意識が個の能力を高
めることを、教育者として
も体感できることを楽しみ
に日々を過ごして参ります。
それが明治の「繋がりをわ」
ではないのかな？と思ってい
ます。





名前：北隅 史倫

生年月日：

1985年5月20日

出身地：東京都板橋区

担当授業・担当クラブ：

高I情報・

硬式テニス部副顧問

抱負：

はじめまして。4月から
高校1年D組担任、高I情
報Aを担当しています、北
隅史倫と申します。

私は明治中学・明治高校・明治大学と進学し、明治の環境の中で育ってきたということもあり、母校に対する思い入れは大きいものがあります。

座右の銘は「人は能力を持って生まれてきたのではなく、可能性を持って生まれてきた」です。一人一人を見守り、その子なりの方で励まします。

生徒たちが成長する姿に思いを馳せながら、その背中をそっと押せる教師を目指して精進していきたいと思います。

「わ」を感じる場面は多々あります。

・朝、あいさつを交わしたとき。

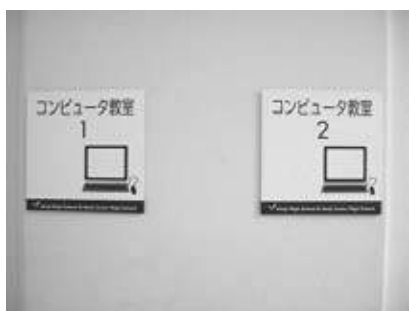
・課題を生徒と考えて悩んでいるとき。

・クラスのホームルームの

とき。

など日々、「わ」を感じております。

こうした触れ合いは私に元気を与えてくれます。最近では、林間学校のイカダレースにて私のクラスは最下位でありましたが、皆一丸となって応援し、すごく盛り上がったときに「わ」というか、繋がりをとても感じました。



オープンキャンパス2010

昭和58年卒 明輪会 西秋 輝彦

平成22年6月19日(土)オープンキャンパスが開催され

ると聞き、会報委員3名で取材に赴きました。

そもそもオープンキャンパスって何?という会員の皆様にご紹介させて頂きます。

明治中学を受験志望の小学5・6年生の親子を対象に、授業体験やクラブ活動体験を通じて、学校を良く知って頂く行事です。

今年は当初の予約申込予定の1500名が満席となったため、300名の追加募集を行ったほどの人気行事です。

開場時間前には写真の通りエントランスホールは長蛇の列です。受付及び場内整理に生徒会本部の生徒



開場時間前の長蛇の列

授業体験は、国語2講座、算数2講座、社会2講座、英語1講座、理科2講座。授業は1コマ30分で3限目まで行われますので、座席整理券取得も智慧を絞っての至難の業。

国語は入試採点者からみる漢字の学習や、算数は受

験に有難い「とっておきの話」等々、内容も充実しております。

特に毎年、人気を博するのが事前申込の親子で参加する『理科実験講座』。OBの皆様でも外れた方が多いと聞き及んでおります。各時限12組、合計36組の受験生親子と中3から高Ⅲまでの在校生と一緒に理科実験を行います。



理科実験講座

気体の変化を見る実験を

楽しく説明しながら、「何かわからないことがあったら聞いてください」の高Ⅰ君に、すかさずご父兄が「受験勉強は一日どのくらいしましたか?」「学校生活は楽しいですか?」の質問。多少戸惑いを隠せず、苦笑しつつも丁寧に答える姿は微笑ましいものを感じました。

クラブ活動体験は、受験生と在校生のお兄さん・お姉さんが様々な内容で触れ合う企画を自分達で創意工夫して行われておりました。今年は応援指導班・吹奏楽班・図書班・サッカー部・ソフトテニス部・バスケットボール部・バドミントン部・卓球部・剣道部・美術部・鉄道研究部・将棋部・書道部・E S S部・歴史研究部・コンピュータ部・写真部・生物部・有志ダンスが参加しました。



有志ダンス

どの班・部も昨年の文化祭中止の憂さを晴らすかのように、一生懸命に取り組んでおりました。

紫紺ホールでは吹奏楽班の公開演奏と応援指導班の公開応援が行われ、OBの皆様も大勢お見えになっていらっしやいました。

女子の受験希望参加者が多い様子で、吹奏楽班の楽器体験や有志ダンスの教室は手取り足取り大賑わいでした。



吹奏楽班の楽器体験

特別企画は、「もっと明治を知りたい方へ」と銘打ち、以下の内容でした。

①『先生と話そう』先生方に学校生活や入試のことを相談する内容でしたが、自分達も存じ上げているベテランの先生ばかりが居並び、昔の面談を思い出して冷や汗をかいて教室を後にしました。

②『中1と話そう』入学したばかりの中1に何でも聞いてみよう、という教室

は明るい雰囲気満ちてました。

③『保護者による学校説明会』在校生の保護者の方が明大明治についてリアルに語るだけに3回共全て教室に入れないほどの盛況ぶり。

④『卒業生～明治を語る』毎年この時期に教育実習へ来ている卒業生がパネルディスカッションを行います。

今年も平成18年卒の縫合氏・上野氏・笹尾氏・下村氏4名が「明大明治の良さ」について熱く語りました。「親からは教えられない、人との温かいつながりを先生、先輩後輩、同級生が教えてくれる学校」という言葉が心に残りました。

毎年6月に開催されるオープンキャンパスは、学校のホームページから先着順での申込となります。受験生をお持ちの会員皆様、是非

とも親子で体験してください。



卒業生～明治を語る



中1と話そう

オープンキャンパスに参加して

昭和59年卒 明心会 田中 重幸

5年生になる娘とオープンキャンパスに参加しました。三鷹の駅からスクールバスに乗り約20分ほど走ると、目の前に真新しい西洋風の校舎と緑の芝が生える校庭が目の前に現れました。校舎に入るとすでに体験授業の予約受付に長蛇の列ができており、生徒会の生徒さんがメガホンを片手に元氣よく誘導している姿に好感を覚えました。

体験授業は「ドキドキ歴史教室」に参加しました。やはり先生と生徒さん方が一緒に様々な演出を駆使した授業に、興味津々あったという間の30分間だったようです。

紫紺ホールでは、吹奏楽班の公開演奏・応援団の公開応援を観覧しました。これぞ「明治の伝統」といった感じで、その迫力と質の高さに鳥肌が立ちました。帰りのバスの中で、娘の口から「チアリーダーینگをやりたいから、第一志望は明治中学にする」という言葉を聞き、それじゃ自分の小遣いを減らしても塾に通わせる甲斐があるなと親ばかながらうれしく思いました。

先生方初め生徒さん方、貴重な体験をさせていただきありがとうございます。



祝 第46回 総明会 総会

明治大学付属 明治高等学校・中学校

PTA会長 宮下 守正

昭和49年卒

荒川区西尾久1-20-12 M2ビル301
TEL.03-3894-8161 FAX.03-3894-3682
E-mail : good.job@tcn-catv.ne.jp





活動報告

同期会・班クラブOB会



明高会

昭和27年卒 明高会 米山 耕右

私達明高会は昭和27年に
なんとなく明治高校を卒業
し、なんとなく明治大学へ
進学した方が多い様です。
勿論エリートは早稲田大
学等に挑戦して合格した方
も何人かいらっしゃいます。
丁度本年は喜寿を迎える
方々が多く、ご家庭でも賑
やかな事でしょう。私達
「光輝高齢者」となると、
地域でも古株となり何かと
頼りになっておる年齢です
が、動きが「ニブク」仲々
大勢を取り纏める気力がだ
んだん薄れております。
同期生の小グループで、
5人・10人と云う会合は銀
座で開催したり神田近辺で
の集りを行ったりする小さ
な会合はございますが、全

昭和27年卒 明高会
連絡係 吉田 満
渡辺幹雄
米山耕右

株式会社フジモト

代表取締役

藤本芳徳

(昭和三十年卒 応援団OB)
〒三三八〇〇一
埼玉県さいたま市中央区大戸五二二一八
TEL 〇四八(八三一) 六九一八
FAX 〇四八(八三三) 〇二九〇

昭和二十七年卒
米山 耕右
昭和三十三年卒
米山 武男

昭和三十年卒業
第六代生徒会長
応援団OB会長
中央医療学園専門学校参与

田村正彦

「いじめ問題」講演
TEL 〇三三八一〇〇八〇〇
〇九〇一八〇八一 一六〇

明治高等学校
昭和30年卒業

同期会

会長 宇田川 雄弘

明治高等学校 昭和30年卒
同窓の友・共に社会奉仕活動をしませんか
駿河台ライオンズクラブが貴君の
入会申し込みを待ってます 連絡は下記へ

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区
元地区ガバナー 宇田川 雄 弘
(東京練馬L.C所属)

●入会についてのお問合せ●
TEL.03-3993-5381 090-3138-4234

明窓会

昭和28年卒 明窓会 戸田 一郎

「総明会」が発足して間もなく幹事学年として池の端「文化センター」で行われた総会を担当して以来中

断していた「明窓会」を、強力な幹事団を構築して以来、最近では殆ど毎年開催しています。会場も両国のホテルに固定化し、開催月も毎年6月と定め、今年も6月11日に36名の参加者で総会を開催しました。

久しぶりに会った友もガシ治療のためにテルテル坊主のように眉も頭髮も無くなってそれでも口だけは達者でカラ元気を發揮して会を盛り上げてくれる友も居りました。

後期高齢世代に突入した

ここ数年来慣例となつて

だけあって、毎年参加していた者の中にも体調が悪い、女房の体調が悪いなどの理由で不参加の者も多く出てきました。

物故者も62名を数え、最近では連絡が途絶えた者も

いる級友の主催するバンドとすこぶる美人の歌い手さんの出演で和やかな会となり、締めとして、大学応援団リーダー部からリーダーと孫娘の様なチアリーダー2名が応援に駆け付けてくれ、校歌の大合唱で無事終

了できました。

毎回、会場で参加者全員の集合写真を撮りますがほぼ固定化しつつある参加者の中にも欠けてくる者も出始めました。会場でのスナップも400枚以上撮り、中には通夜に使うから良く撮ってくれ等とふとどきな注文をつける者も出てきました。

アト何回会えるかな？でも2人になるまでこの「明窓会」を続けようと酔った勢いで再会を約し2次会にゆく者、オレは帰って寝るヨ等と勝手な事を云いつつ散会致しました。



八明会

昭和28年卒 八明会 持丸 孝雄

「八明会」は平成22年4月に総明会のご支援により同期会として発会いたしました。会は昭和25年4月開校から30年3月閉校までの明治大学付属八丈島高校（メイコウ）在籍者により構成されます。5年間の在籍者が約300名というところで一同期会扱いです。

私が一年生のとき山田事務長（八丈島出身・明治大学OB）に何故明治大学が八丈島に高校を創立したかお伺いしたところ「明治大学が将来海洋学部を創設するための布石である」とのことでした。僅か5年間の開校でしたが、在籍者から八丈島の政治・経済・教育

界に多くの人材が輩出し、八丈島の発展に寄与しています。私が記憶している一つに、メイコウの陸上部においてマラソンで活躍して、昭和30年3月卒業の後に明治大学陸上部で「箱根大学駅伝



29年秋 三学年揃った陸上部部員



第三期生の卒業写真

3年間在校して卒業した真の意味での卒業生です

大会」に出場した故松代君のことがあります。同君は大坂で企業経営をしていましたが「八丈島出身の自分が大坂で活動できているのは、明治OBの温かい心からのご支援のたまものである。明治の団結心はこころ強くありがたい、善き伝統ある明治に在籍したことに感謝している」と喜んでのことです。

なにごん70才以上の新会

員であり、同期会員の氏名（男女共学）現住所不明のところ有り心許ないですが、何卒よろしくお願い申し上げます。

総明会の益々のご繁栄と会員各位のご健勝をお祈りいたします。

八丈島明治高校

昭和28年卒

八明会

高橋 和夫

(株)第一書房

八丈島の歴史
高橋與野右衛門家譜

高橋 和夫 編

本代送込み 2,000円

☎ 04-2963-6488
FAX

明楽会

昭和31年卒 明楽会 会長 佐藤 健一

第46回総明会開催おめでとう御座います。お祝い申し上げます。

私共明楽会はこの総会を楽しみに待っておりまして、明楽会といたしましては、毎年この総会の前に同期会（明楽会）を開催、毎年11月第一週と定め、本年も来る11月5日浅草老舗割烹「やっこ」矢野昌義氏代宅にて開催の運びとなり、全員に参加を呼びかけております。

昨年度、当会はお茶ノ水「ホテル聚楽」に於いて我々の恩師26名、同期生50名の物故者を悼み追悼会を開催、同期の斉藤勝氏が山梨県の寺より上京し読経の下、献

花台に参加者全員で献花（写真の通り）し亡き恩師、同輩の思い出話に更け、約40名の出席者が閉会を忘れる程に花が咲き、平成21年度の同期会を終了すること



が出来ました。

多くの同期生は毎年総明会で、母校の近況（特に調布校舎の移転）を知る事を楽しみに参加しています。

私共総明会の評議委員として、その内容、計画等をしっかりと把握して全会員に報告すると共に、全員の絆を一層深め、会の運営をしていく所存です。これが我々



中期高齢者の楽しみの一つでもあります。

これからも総明会のますますの発展のため、後輩諸氏のご尽力を下されたくお願い申し上げます。最後に総明会の御盛会を心より祈念いたします。

祝 第46回 総明会
昭和31年卒
明 楽 会
会長 佐藤 健一

駿河台で学び、巣立って半世紀

昭和38年卒 二年に一会 会長 三浦 昭生

「ひとのわ こころのわ」

がことしの総明会のテーマとか。「わ」実にすばらしい言葉だと思います。私たちも母校を巣立ってから半世紀にならんとしています、この「わ」を大事にしております。

昭和35年3月明治中学、昭和38年3月明治高校卒業、また、その6年間に一日でも机を共に学んだすべての友の同期会【二年に一会】です。会名のとおり、昭和39年に第1回二年に一会総会・懇親会を開いてから、この50年、会長・三浦昭生、幹事長・高橋正侑、事務局長・関戸淳一、監事・知野誠一の役員、常任幹事諸兄が中心となり、2年に1回、一度も欠かすことなく、同期会の集いを開催しており

ます。

毎回、当番幹事代表を決めて開いており、平成14年6月には椿山荘で第20回記念の会、還暦を迎えた平成16年11月に校舎に近いウィンズで西湖秀明兄が幹事をつとめ、平成18年9月は、姿卓兄が当番幹事で、在学中は野球部で活躍、プロ野球へ進み、現在は日本ハムGMの山田正雄兄のご息子が経営するイタリアンレストランで第22回総会、懇親会を開催しました。

そして、平成20年には調布移転に伴い、駿河台、男坂の思い出を残そうと「昔どおりの授業を体験し、楽しもう」と呼びかけ2月に前倒ししてなつかしの校舎で、松本理三郎先生、後藤朋智先生、村野圭吾先生が

当時そのままに、受付時に参加者全員が寄せ書きした、白衣に身を包み教壇に立ち、同期生たちが生徒となり、3時限の授業を受けました。

そのあとの懇親会では、思い出話に花を咲かせ、校舎に別れを告げました。

昨年は裏の年でしたが、「これから毎年開かないか」

の案が出て8月に上野のホテルパークサイドで柳澤幸良当番幹事代表がまとめ第24回二年に一会が行われました。（写真）今年は第25回の節目、10月2日（土）に大沢秀行兄が当番幹事をつとめ、開催予定です。これからは、1年に1回開催で頑張っていこうと思います。

これを機にこの誌面をお借りして同期の仲間たちに呼びかけたいと思います。

働き盛りの20年前、私たちの同期会が総明会幹事をつとめてから、今や70に手が届く歳になった「二年に一会」の「わ」はますます

元気、本年の幹事学年「明輪会」の第46回総明会の成功を祈念いたしまして、同期会の報告とします。

（文責・服部紀夫）

二年に一会事務局連絡先

〒135-0005

東京都江東区高橋14-20

関戸 淳一

TEL

03-3631-2008

FAX

03-3631-2548



総明会 顧問(昭和32年卒・明治会)

山崎敬生



市原企業株式会社 代表取締役
〒299-0102 市原市青柳2-1-23

つまみ専門ショップ シャルマン・フルール

昭和38年卒 高橋正侑



CHARMANT FLEUR

和・花かざり

見て、学んで
その場で作れる!!

実体験クラフトショップ
お気軽にお越しくださいませ。

www.lovelon.com/hana

東京都台東区浅草橋3-20-18 第5菊星ビル本館 B1階

祝 第46回総明会総会

昭和38年卒

二年に一會

金魚の吉田
創業文政二年
F124-0023

老舗

東京都葛飾区東新小岩 5-14-7(1F)
TEL 03-5671-5550 FAX 03-5671-5557
<http://www.kingyo-yoshida.com>
E-mail: info@kingyo-yoshida.com

創立40周年記念
豪華本

金魚春秋 発売
¥1,200(税別)

プロが伝える飼育の知恵と極意
金魚写真数 300点
吉田信行著

37年卒 吉田信行
38年卒 増田利明

中華ファミリーレストラン



CHINESE CASUAL RESTAURANT
孫悟空

細田店 葛飾区細田 1-5-6
TEL 03-3650-0059

新村秀男 葛飾区議会議員
(昭和42年卒)

『三九会』&『一一七会』

昭和39年卒 佐藤 仁

昭和39年卒の『三九会』です。生徒会OB会で『一一七会』（イイナ会）も同期です。

『一一七会』は毎年正月に新年会を兼ねて同期の北村君のお店『レストラン日本橋東洋』で集まっています。

『三九会』は3～5年に一度の割合で開催しています。60歳の還暦祝の時は100名以上集まりました。

また、ゴルフ会も毎年春と秋に年2回開催しています。5組位はいつも集まります。世話役の渡辺誠一君のお蔭で30年以上続いています。

とにかく何かという良く集まる同期の連中です。

4年前に同期の七尾君が芝大門に『なな庵』という酒菜をオープンしまして、ここもまた格好のたまり場になっております。『なな庵』に行くとき必ず同期の誰かと会える!!そんなお店になっています。

今回は特に画期的な出来事がありましたので写真掲載もぜひお願いしたく投稿しました。

昨年も同期の前田忠昭君（現東京ガス副会長）のお蔭で同期の七尾孝房君や海田耀市君のことが日経の『交遊抄』で紹介されました。総明会会報にも紹介したのですが、今年はその交遊抄の記事を読んで興味を持った『文藝春秋』の編集者が

ぜひ月刊誌『文藝春秋』の名物グラビアページ『同級生交歓』に登場して欲しいということで同期7名が載ることになりました。

写真は昨年12月に明治大学リバティータワーの23階本記念ホールで撮影したものです。30～40枚撮った中から選りすぐりの笑顔の一枚です。

このページに登場出来るのは大企業の社長とか国公立大出のエリートの方々が多いようですが、私立の『明治』が出るのは異色とのことでした。

これも同期の前田君が明中・明高・東大と素晴らしい軌跡を残してくれたお蔭と感謝致しております。

大変僥越ではありますが写真の掲載をお願いした次第です。大変良い記念となりました。ありがとうございます。



株式会社 シティ・ハウジング

代表取締役 佐藤 仁

(昭和39年卒)

本社 東京都大田区西糀谷4-28-14

TEL 03-3742-7177

FAX 03-5705-8097

URL: <http://www.cityhousing.co.jp>

糀谷本店・京急蒲田店・蒲田東口店・大森店・大井町店・雪が谷店

昭和39年卒業(マンドリン部OB)

明治大学連合駿台会副会長 明治大学公認会計士会副会長

フランフラン社外監査役 谷公認会計士事務所代表

公認会計士 谷 慈義

〈浄土宗僧籍名 慈義(ジギ)〉

(事務所) 〒135-0004 東京都江東区森下2-19-8 谷ビル

TEL 03-3681-8029(代) FAX 03-3681-8076 E-mail: tani@chive.ocn.ne.jp

(経歴) ユアサ商事株式会社 代表取締役社長・会長

東陽監査法人代表社員 明治大学特別招聘教授

昭和40年卒

明 優 会

会長 大関清人

事務局

坪田達夫 TEL 03-3947-2431

株式会社

アドバンス

マンション企画・賃貸

代表取締役

大塚 清和

(昭和40年卒)

浦安市猫実4-6-28 ヨーラタワー

TEL 047-355-6633

JY 上陽テクノ株式会社

代表取締役

阿 部 正 行 (昭和40年卒)

千代田区外神田 6-10-11

TEL 03-3834-1329

細田木材工業株式会社

代表取締役社長

細田 悌治

〒136-0082

東京都江東区新木場2-15-28

TEL 03-3521-8701 FAX 03-3521-8708

携帯 090-1458-5881

e-mail t-h39@woody-art-hosoda.co.jp

<http://www.woody-art-hosoda.co.jp/>

41明友会

昭和41年卒 41明友会 菊池 博道

第46回総明会総会開催おめでとうございます。

また、幹事学年の明輪会様ご苦勞様です。

我々41明友会は17年前に東京會館での総明会総会を担当した学年です。

25年ほど前、まだ組織が無い時に、小林先輩・三浦先輩のご指導により、昭和41年3月卒業の同期会として結成いたしました。

今年は同期・藤君の通夜・告別式に同期の者が集まった際に、10年近く同期会をしていないので、みんなの顔を見たいという意見があり、4月24日に、ちゃんこ『巴瀉』で開催することになりました。

当日は42名の参加者で、

盛大で、且つ、なごやかな時間を共有することができました。

昔のままの人、自己紹介するまでわからなかった人（失礼）。また、物故者が18名以上居る事に、10年間という時間の経過を感じました。

次回は、2年後の4月第3土曜に、同じ場所で開催を行いたく準備を始めています。

今回、同期の尾島育四郎君が総明会会長に選ばれました。

11月20日、ホテルイースト21東京において、最初の総会を行いますので、同期の諸君、多数の出席を希望いたします。



祝 第46回 総明会総会・懇親会

昭和41年卒

41明友会

オフィスのAからZまで
エーゼット株式会社

服 部 洋 一 昭41年卒
服 部 雄 二 昭44年卒
大導寺 和 幸 昭44年卒

〒101-0025 千代田区神田佐久間町4-22
TEL.3865-9577 FAX.3865-1162

国文学専門 古書店

日本書房

西秋忠男 (昭和30年卒)
西秋輝彦 (昭和58年卒)

千代田区西神田 2-8-1 2
TEL 03-3261-2740

昭和42年卒

結城法律事務所

辯護士 **結城康郎**

〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目14番3号
赤坂東急ビル11階

電 話 03 (3506)1151 (代表)

F A X 03 (3506)1152

携 帯 090(3104)1840

E-mail:yuuki-lo@bj9.so-net.ne.jp url:http://www.yuki-law.com

坂本自動車工業株式会社

坂本 裕康

(昭和53年卒紫友会)

東京都江戸川区篠崎町6-13-26

TEL 03-3670-4161

FAX 03-3670-4170

祝 第46回 総明会 総会

昭和46年卒

明潮会

昭和46年卒「明潮会」

(株)ライトハウス・コミュニケーションズ

代表取締役

齋藤 公義

中央区築地1-4-8 築地ホワイトビル503

電話 03-6226-6200

F A X 03-3542-8070

祝 第46回 総明会 総会

波 の 会

昭和48年卒 卒業生一同

代表者 富永 栄之進

副代表 板橋 純三郎

評議員 海老根 一介

尾崎 幸平

雨海 重明

還暦を迎えて

昭和43年卒 紫讃会 志村 一夫

平成21年度、我々の仲間
は好むと好まざるとも全員
が還暦（60歳）を迎えた。

人生の節目でもあり、昨
年の9月27日コトバンクク
ラにおいて、「W30” R
ED CELEBRATI
ON PARTY」と銘打っ
て還暦パーティーを行った。

当日は130人を超える参加
者（同伴家族を含む）があ
り、流石、明高男児、仲間
内の祝いの会ではあるが規
律正しく莊嚴にパーティー
はスタートしたが、周りの
仲間と会話をし、酒を重ね
るうちに、また、SCAR
FACE PROJECT
の迫力のある演奏に合わせ
ダンスを始めると、一気に
40年以上前の学生時代にタ

イムスリップ!! 全員が輪
になってのダンスで、パーティ
ーは最高潮に盛り上がる。

別れを惜しみつつも最後
は恒例の校歌斉唱によりお
開き。

先に逝った仲間への冥福
を祈ると共に、仲間との再
会を喜び、また、明日への
元気を貰った忘れられない
ひと時でした。

次回（喜寿のお祝い？）
の再会を心から楽しみにし
ています。

（追記 仲間の皆様へ）

人生80年、まだまだ、元
気で明るく、楽しい生活を
送らなければなりません。
紫讃会では、旅行、ゴルフ、
飲み会等を実施しています。



何時でも仲間の顔が見たく
なったら、ちょっと顔を出
してみてください。奥様を
はじめ家族の参加も大歓迎
です。

祝 第46回総明会総会

明治高校
昭和43年卒
同期会

紫 讃 会

昭和43年卒 紫讃会

小田嶋 保男

東京都足立区中央本町4-2 4-8

中華料理
水新菜館
（みずしん）
寺田規行
（昭和四三年卒 紫讃会）
東京都台東区浅草橋二丁目一番一号
TEL〇三（三八六一）〇五七七番

昭和43年卒
株式会社 ホソヤ
代表取締役

細矢 日出男

〒104-0042
東京都中央区入船2-3-6 第1細矢ビル
TEL 03-3551-0725
FAX 03-3551-0748

昭和四三年卒
竹川忠芳法律事務所
弁護士
竹川 忠芳
〒一〇五〇〇三三
東京都港区西新橋一丁目三
電話 虎ノ門法曹ビル四〇八
FAX 〇三三三〇四一三〇七八

昭和43年卒 「紫讃会」

福光税務会計事務所

税理士 福光 登志雄

〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野7-8-10
大塚ビル303
TEL 042-747-2933
FAX 042-747-2935

紫讃会
堀内 繁

（昭和43年卒）

機械式時計専門店

株式会社ティーエス・ホリウチ
TEL.03-3831-9733
FAX.03-3831-9734

昭和43年卒 紫讃会

弁護士 佐久間 洋一

事務所 〒104-0061 東京都中央区銀座6-12-1 第2寿ビル7階
電話 03-5568-6646 ファックス 03-5568-6648

ひとのわ いづらのわ

昭和44年卒 男坂倶楽部 会長 中河 孝樹

明治中学・高校校舎を、二分割するように立ちほだかる男坂。校庭下から望む、白雲なびく駿河台は、いつも男坂ごしに見上げた空と、共にありました。

個性豊かな先生達により、質実剛健の名のもとに、短パン一丁ランニング、登下校の際は学帽必着、生徒を殴って何が悪い、これは教育である。

その下で、同じ時間・場所を共有した我が友の同期生達。ここに現在の男坂倶楽部同期生の、それぞれの、個性的なひとの輪、が誕生しました。

在学中に一緒に過ごした、時間と共に、共感し合い、かばい合い、友情というも

のが芽生えてきました。

ひとの輪が、和へと変化していききました。毎年、男坂倶楽部は総会・懇親会を開いています。案内状の返信欄に、それぞれの方が、

良い事、悪い事、等の近況を発信してくれています。それらを読むたびに、同期の顔を想い浮かべます。

そして、いやと云うほど歌わされた、「みんな、みんな、いまはない、あゝあ、

懐かしいふるい顔、ふるい顔」とメロディーが聞こえてきます。そして、あー、

あの先生の教育も間違っていないかったんだな、と感じ入ります。

総会の場所が集まった同期は、現在の顔から、久し

ぶりに会った同期の人物を、名前を、皆、一生懸命思い出そうとしている。その気持ちが続く限り、"このころのわ(和)"ができそう。

いや、絶対に出来る！44年卒よ！男坂倶楽部よ！永遠なれ！



マイケル&マック

鍼灸・中医学・東洋医学・脈診・漢方医療

千葉県市川市北方2-2-10

TEL&FAX 047-336-0763

HP: <http://www.michaelmac.com>

院長 松本 明久

昭和44年卒 男坂倶楽部

昭和四四年卒 男坂倶楽部

齊藤 正隆

〒133-0051 江戸川区北小岩ハ二十四六

TEL・FAX

03-5621-5849

E-mail masasaito@hb.tp.jp

昭和四十四年卒

味処・酒処 す吾六

家中 勉

〒113-0011

墨田区緑四一九一

電話 03-3632-1111

総明会 副会長 昭和44年卒 男坂倶楽部

ミートショップセキヤ

<http://www.1129sekiya.com>

株式会社 関谷商店

代表取締役社長 関谷 芳久

足立区西新井栄町3丁目8-5 TEL03-3886-3318 FAX03-3886-5803

昭和四十八年卒 波の会
製菓原料卸
株式会社 山口商店代表取締役
山口 隆大田区大森北一十七七二
〇三二七六一四八三八昭和四十四年卒
弁護士

田中等

丸の内南法律事務所

〒100-0005

千代田区丸の内二・三

丸の内通ビル七・一七

TEL03-3211-5151

FAX03-3211-6104

肉の田じま

<http://www.nikunotajima.com>

1F 精肉小売 ミート&デリカ

TEL 03-3649-4419

2F 焼肉レストラン

TEL 03-3699-8929

3F すきやき・しゃぶしゃぶ・ステーキ

TEL 03-3699-5529



株式会社 田島商店

本社 東京都江東区扇橋1-4-1
TEL03-3647-2984 FAX03-3699-7229

代表取締役社長

田島 実

昭和44年卒 男坂倶楽部

建物の新築・リフォーム・耐震診断

ワイシー企画 株式会社

代表取締役 藁谷 豊(昭和44年卒)

〒359-0007 埼玉県所沢市北岩岡263-1

TEL04-2990-5111 FAX04-2990-5005

E-mail: yc-kikaku@ba.wakwak.com

URL: <http://www.yc.jp.com/>

私達は、皆様と共に“快適な環境”について考えたい。

清掃事業・廃棄物処理・リサイクル

代表取締役
社長

毛塚 眞次

品川運輸株式会社



〒140-0011 東京都品川区東大井2-1-8

TEL 03-3761-0165 FAX 03-3763-0656 URL: <http://www.shinagawa-unyu.co.jp>

獅子の会

昭和45年卒 獅子の会 上野 隆史

かん・れき【還暦】

(60年で再び生れた年の干支に還るからいう) 数え年六十一歳の称。華甲(かこう)。本卦還(ほんけがえり)。

「一の宴」

前記は、広辞苑に掲載されている「還暦」の意味です。

我々獅子の会のメンバーも後戻り出来ない齡(よわい)を還暦へ、またその先に向かって突き進んでいるところでです。

家族や知人と盛大に還暦祝いを催す人もいれば、祝いはおろか家族も自分自身も知らずに過ぎてしまう人、一人寂しく祝う人など、人それぞれです。

獅子の会では、毎年例会を開き、4年毎の夏季オリムピック開催年に総会を催しています。

今回、還暦を「人生の折り返し点」と捉え、総会を一年前倒しにして、メンバー全員が数えて60歳を過ぎた平成23年4月10日(日)に自分たちの還暦を祝う予定でいます。

当日は、神田明神に集合し、参拝後に近隣の祝賀会場でお互いの還暦を勝手に祝うものです。詳細については、後日メンバーに案内通知を送付します。奮ってのご参加をお願いします。

昭和45年卒「獅子の会」

平沼 孝之

平沼 孝之

〒111-0043 東京都台東区駒形2-7-3

TEL.03-3841-7856

定休日 ・毎週 月曜日
・第2・第4日曜日

花や鉢物のお届けします。

昭和45年卒

株式会社
ポトマックガーデン

代表取締役

平 田 幸 彦

〒107-0052

東京都港区赤坂7-8-13

TEL 03-3589-0687

FAX 03-3583-9423

祝 第46回総明会総会

昭和45年卒

獅子の会

来年は還暦です。神田明神で逢いましょう。

四七四七同志酔会

昭和47年卒 四七四七同志酔会 廣野 宏士

《四七四七の皆さん！

ホテルイースト21東京に

集まろう》

1999年に、帝國ホテルでの総会でホスト学年を務めました、昭和47年3月卒業の四七四七同志酔会です。

諸先輩、関係各位、また同輩諸君のお蔭様をもちまして、当日は430名の方々のご出席を賜り、大盛会のうちに幕を閉じる事が出来ました。

我々がホスト学年を務めてから、早や11年の月日が経ちました。時間の過ぎゆく速さを感じるのは、年齢のせいでありましょうか。

我々はホスト学年担当年に向けて『40歳を過ぎてか

らの人間関係の再構築』と『同級生同志、お互いがお互いの人生にエールを贈り合おう』を合言葉に掲げて1996年頃より準備に入り、邁進しました。ホスト学年を終えた今でも、このイズムを忘れずに同級生の交流は続いております。

同窓会は思い立った時に不定期に開催していますが、本年は総明会総会に便乗して懇親会場での開催、という事で我々の準同期会と位置づけ、総会当日ホテルに馳せ参じたいと考えております。

四七四七同志酔会の皆さん！ホテルイースト21東京に集まりましょう。旧交を温めませんか。私達幹事も

出席しますよ。元気な顔を見せて下さい。
明輪会の皆さん、これまでの準備、お疲れさまです。
盛大な総会となることを祈っております。



昭和47年卒

五木田・三浦法律事務所

南青山オフィス

弁護士

三浦雅生

〒107-0062

港区南青山6-8-15

TEL 03-5774-2090

祝 第46回 総明会

四七四七同志酔会

昭和47年卒一同

翼明会

昭和49年卒 翼明会 佐藤 眞弘

幹事学年の明輪会の皆様には、総会・懇親会の準備、会報の編集と目覚ましい活躍をされ、われわれ翼明会一同感謝いたしております

さて、翼明会の今年のトピックは二つあります。ひとつは、同期の宮下守正君が母校明中高のPTA会長に就任したこと。もうひとつは、2001年に先輩後輩諸氏のご支援の下、東京ドームホテルにて幹事学年を務めてから、丁度足かけ10年目を迎えたことです。

宮下君は若くして家業を継いだ苦勞人で、その誠実な人柄から多くの保護者の方に囑望され会長に就任したと聞いています。ほとんどが「お母様がた」で占められていてPTAにおいて

も、ますますその存在は無くしてはならないものとなり、学校側からも信頼が厚いそうです。

この十年の間には、同期にもいろいろなことがありました。東大教授となる者、病を克服した者、仕事をセミリタイヤして外国と日本を行き来している者などなど。でもほとんどは、かつてのサラリーマンの定年年齢五十五歳を迎えてもバリバリ働いている。

こういう同期の近況が耳に入ってくるのも、幹事学年を務めて以来濃密に続いている仲間との絆のお蔭とと思っています。何せ、高校卒業以来25年間一回も同期会を開かず、担任だった水落先生から「いつ、やるん

だ？」と度々お小言を頂戴していた学年でしたから。この10年間は、本当に同期の仲間たちとの時間は楽しかったです。きっとこれから。

明輪会の皆様、あともう一息。当日のご盛会を祈っています。

やっぱり
明治が No.1

Pep mates Inc.



ペップ・メイツ株式会社

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 14-10-4F
TEL. 03-3663-8827 FAX. 03-3663-8828 E-mail アドレス ceo@pep-mates.com
HPアドレス http://www.pep-mates.com 昭和49年卒（翼明会）代表取締役 大前 実之

祝 第46回総明会総会

翼明会

49年卒 翼明会役員一同

焼鳥 寺 和

昭和50年卒 明紫会 木屋 満

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-7-6

TEL・FAX 03(5541)5761

電動フォーク・電動カート
トラック等で鉛バッテリーを
お使いの方に朗報です!!

バッテリーを完全再生します。

コスト削減・CO2削減を実現
します。一度お電話下さい。

株式会社エフエーティ

S50年卒 明紫会 富澤 秀敏

TEL.090-1038-7600

総明会と名乗って下さい。

豆菓子・おかきの店

青山但馬屋

太田垣 政紀

(昭和51年卒 明々会)

〒107-0061

東京都港区北青山2-7-11

TEL.03-3401-2843

www.aoyama-tajimaya.co.jp



荒川産業株式会社

代表取締役社長 前田 稲一朗 ^{昭和51年卒}

〒111-0024 東京都台東区今戸2-14-6

TEL.03-3874-8191 FAX.03-3874-8035

URL: <http://www.arakawasangyo.co.jp>



醍醐会計事務所

税理士 醍醐 敦

〒279-0002 千葉県浦安市北栄4丁目4番3号 ストークマンションダイゴ2 504

電話 047(355)9301 FAX 047(355)9302

祝 第46回総明会 総会

昭和49年卒 翼明会 代表

ターカム保険企画(有)

日本興亜損害保険株式会社

日本興亜生命保険株式会社

代理店

代表取締役

竹澤 啓

〒134-0084 東京都江戸川区東葛西9-20-3

TEL.03-3675-9955 FAX.03-3675-9922

携帯090-3200-6139 E-mail:takezawa@r2.dion.ne.jp

同期の方々のメールアドレスを教えてください。

明紫会

昭和50年卒 明紫会 会長 服部 栄一

明治高校を卒業して我々もアラサゝの年月が過ぎました。8年前に幹事学年をおおせつかり、音信不通だった仲間がふたたび結集できたことを感謝しております。

しております。

明輪会ガンバレ！

そして明紫会として集まり、ひさしぶりの友の顔を見る事ができました。

その後のゴルフコンペや飲み会と活発に活動しております。又前後の先輩、後輩諸氏ともおおいに交流を深める機会を得ることができ、母校と諸先輩のお力をお借りして、同期の仲間が集えることを心から感謝しております。

7月初旬の明紫会総会に毎年幹事学年の後輩諸君が参加してくれ、ささやかでも会員みんなからカンパできることを大変嬉しく思っ

昭和50年卒 明紫会会長

袋物製造販売
(株)服部

服部 栄一

吉武孝生税理士事務所

昭和五十年卒 明紫会

〒121-0813
東京都足立区竹の塚二二六七七
エネルハイ公舎の塚前二〇
TEL〇三五六五二二八
FAX〇三五六五二二九
E-mail:y@tax-yoshitake.com

藍
全

昭和50年卒 明紫会

昭和50年卒 明紫会

高橋郁夫

ダイアナ株式会社

DIANA

www.dianashoes.com

祝 第46回総明会 総会・懇親会

昭和50年卒

明 紫 会

明々会

昭和51年卒 明々会 小林 祥悟

平成22年度の我が明々会
総会・懇親会が今年も行わ
れました。

今年は7月17日(土) 浅
草橋駅そば「わび助」とい
うお店。駅裏の奥まった所
にあるちょっと隠れ家的な、
コジャレタ、アットホーム
な感じのイタリアン料理店。
むさくるしいオジサンた
ちが、ぞろぞろ出入するよ
うな感じのお店とはちょっ
と違った感じ。いつもなが
らいろいろなお店を探して
きてくれる幹事の上野君に
は頭が下がります。

当初は20名集まるかどう
かなんて心配していました
が、そこは我が明々会！開
催の一週間前ぐらいから一
人増え、二人増え・・・当日

参加も含め三十余名が集ま
りました。

まずはお酒の前に、明々
会の会計報告。そして、今
回の大切な議案「事務局担
当の交代について」長年務
めてくれた名幹事の上野君
から、エース林君に交代。
唐突な話なのに快く(?)
受けてくれた林君に感謝し
ます。来年の明々会をお楽
しみに!!

主賓の清水先生の乾杯!
を合図に、おまちなね懇親
会が始まりました。

今年の幹事学年「明輪会」
の2人が、第46回総明会の
紹介、大勢の参加の依頼と
共に寄付金という応援金を
集めていきました。

7年前の私達のような初々

しさが何故か懐かしく思わ
れます。

総明会・企画委員長の岡
本君からは9月に浅草RO
Xで行われる総明会「明朗
会」のPR。

主賓の年代にはもうちょっ
とありますが、明々会の皆
様の参加、こちらもお待ち
しています。

久しぶりに会えたメンバー
も含め、懐かしいひととき
を過ごす事ができました。
いろいろな理由で今回参加



祝 第46回 総明会 総会・懇親会

昭和51年卒

明々会

ホームページ <http://meimeikai.sl4.xrea.com>

できなかった方々！来年も
また7月頃行います。
次回は新幹事の林君の企
画立案の総会・懇親会です。
お楽しみにお待ちください！

男子校根性組

昭和52年卒 男子校根性組 香取 輝忠

5月の新緑の頃、今年も

春恒例の男子校根性組の総会が新宿住友倶楽部で開催された。この日のあいさつで私は戯言を大いに語らせていただいた。

それは将来、我々が中心となって新しいスタイルの老人会を設立しようという提案だ。具体的にはまだ何も始めてはいないが、私はこの会の設立をライフワークとしたい。

かつて日本人の平均寿命は約60歳以下（昭和38年頃）であった。それが今や80歳越えの時代を迎えつつある。つまり今年52歳となった我々にはあと28年の余生だ。80歳を越えて生きるためには次世代の世話になろうと思っ

てはいけない。

最期を迎える場所は妻の膝枕でも自宅の畳でもなく病院のベッドである。これは私の考えではなくもはや時代の趨勢なのだ。ならば私が提唱する老人クラブもまた新時代の理想でありたい。

28年の余生のうち、あと13年。65歳まで馬車馬のように働こう。明高で習った「はたをらくにする」ために。それが終われば、金は自分と妻だけのために使おう。そしてその時こそ我らは再び集うのだ。場所はどこにせよ御茶ノ水が良い。物件は20坪くらいで充分だ。

明治の学友に留まらず外に50人の会員を集めて一

人当たり毎月1万円の会費を集めれば会員制の喫茶店ができあがる。

スタッフは妻や娘たちに交代でやってもらう。会員には不動産や経理、法律のプロも居るはずだ。持てるキャリアを皆で供出しあおう。

我らの同期会がこの会の中心核となり、賛同者の輪が広がれば夢は現実となる。ゲートボールに民謡：従来の老人の既成概念には囚われない。我らは明治の卒業生なのだ。

例えばマンクラのOBに楽器を習う。美術部OBには絵画教室を。スキー部員には雪山に、元商社マンには外国ツアーの添乗員を頼む。外国語も習おう。野球にラグビーなど明治のスポーツを皆で観戦しよう。

毎日をそれまでの人生で未知だった分野への挑戦と

変えるのだ。教える者にも生きがいとなるはずだ。これからこの夢に向けて出来ることを少しずつ始めて行きたい。

いつの間にか忍び寄ってきた、そう遠くない「老後」に向けて最後の15年を充実させるために、我らの陽だまりを作りたい。いつの日か：諸兄ぜひご一考を。





男根組

アンケート調査の実施・集計・分析・データ入力

株式会社 日本統計センター

代表取締役 泉澤由一

〒101-0031
東京都千代田区東神田2-9-14 NTCビル
TEL03-3861-5391 FAX03-3866-4944
<http://www.ntc-ltd.com> E-mail izmsw@ntc-ltd.com昭和52年卒
パートナーズ総合事務所
司法書士・行政書士

菅原 誠

台東区東上野3-35-5
TEL03-3835-8041
FAX03-3835-8042
e-mail zvc00312@nifty.ne.jp昭和52年卒
男子校根性組
佐藤 大英
曹洞宗 圓通寺

墨田区向島3-11-6

<http://www.entuuji.or.jp>

印刷・紙器・ラベル

有限会社 眞陽紙工所

代表取締役社長

有田 幸訓

(昭和52年卒 男子校根性組)

☐ 本社工場

〒130 東京都墨田区横川1-13-12

-0003 TEL03-3624-7861 FAX03-3626-4935

URL: <http://www.shinyou.co.jp>☐ 第二工場

墨田区横川1-4-7

TEL03-5819-1445

E-mail: arita@shinyou.co.jp☐ 第三工場

墨田区横川1-4-4

TEL03-3625-3209

祝 第46回総明会 総会・懇親会
株式会社 大西静商店
取扱商品: 貸事務所・パーティーグッズ
代表取締役

大西 静士郎

男子校根性組(昭和52年卒)

〒101-0032

東京都千代田区岩本町2-10-2-1001

電話 03 (3866) 6097

FAX 03 (3866) 6098

携帯 090 (2533) 0189

E-mail: seishiro-o@nifty.comURL: <http://www.playave.com>

中学入試をめざす小学生対象の算数塾です。

ティープロ算数
TEACHING PRO

代表 香取 輝忠 (昭和52年卒)

千代田区神田神保町 2-15 第一富士ビル6F

TEL 03-3263-0667

FAX 03-3263-0668

<http://www.tpro.co.jp/>

祝 第46回総明会 総会・懇親会

昭和52年卒

男子校根性組

<http://www008.upp.so-net.ne.jp/dankongumi/>



フランチャイズチェーン

コメダ珈琲店

代表取締役 社長

布施 義 男

(昭和52年卒)

株式会社 コメダ 名古屋市東区葵 3-12-23 〒461-0004

本部TEL052-936-8880FAX052-936-8881

URL <http://www.komeda.co.jp/> E-mail: y.fuse@komeda.co.jp

山田会計事務所

株式会社 辰巳会計事務センター

公認会計士 税理士

山田 啓 介

〒180-0023 東京都武蔵野市境南町2丁目12番20号
TEL.0422-32-1511 FAX.0422-31-1511

E-mail
yamada.cpa.office@dg7.so-net.ne.jp
keisuke.yamada.cpa@dg7.so-net.ne.jp

練馬 高野台

ネーチャーズフォーレストグループ

代 表 横 山 茂 樹 (昭和52年卒男子校根性組)

本店 東京都練馬区高野台 1丁目7番3号NFプラザ3-210

TEL 03-3996-0612 FAX 03-3996-0630

<http://www.neritaka.net/> E-mail: nfsy@opal.famille.ne.jp

みんなが、参加して創る、地域活性化のための町づくりを目指して頑張っています。

ネーチャーズフォーレストの名前の由来は、人々の心を癒す森をイメージして名付けられました。

祝 第46回総明会 総会・懇親会

昭和53年卒一同

紫 友 会

祝 第46回総明会 総会・懇親会



http://1st.geocities.jp/meiji_s54/index.html

明治愛の輪

昭和54年卒 明誠会 朝倉 一寿

我が明誠会は去る7月3日神田にて第8回総会、及び懇親会を初参加のメンバー3名を加え、総勢28名で賑やかに行了しました。

会長熊倉君の挨拶のあと近況報告、最後は笹沢君の校歌。などなど、楽しいひとときを過しました。

全卒業生からすると少ないように思えますが、卒業してはや31年。ついに今年は五十路に入らんとする面々は日本全国、果ては海外にもその活躍の場を求めていることを思えば良く集まったと、今年幹事を務めてみて実感しました。

また一方7月10日、同期の染谷俊哉君が旅立ちしました。50歳になったばかりでした。早過ぎる別れにご家族、同期、そして本人が一番無念であったでしょう。

人が望むと望まざるに関わらず必ず訪れる栄枯盛衰、生老病死、全てが大きな輪で繋がっているとしか思えませんが。

必ず訪れるものならばせめて笑って過したいと思うのは、人の常かと思われま

す。その大きな輪の中で強い芯を持ったものがそれをまっとうできるのではないでしょう

うか。その心棒は家族愛だった

り、信念であつたりまた信仰であつたりと、様々あることでしょう。

私はその中に、明治という母校を礎にした明治愛もあるのではないかと思ひます。青春のひとときを共に燃やした学舎が生んだ明治愛を、過日の総会、お別れ会に見た気がします。

なにも判らなかつた10代、がむしゃらに突っ走つた20代、人の子の親になりうろたえるばかりの30代、社会や家庭の責任を痛感した40代、そして新たなる出発の時の50代をむかえ、我が明誠会はこれからも紫紺の誠の旗の下、同期そして先輩、後輩のみならず明治愛に育まれた大きな輪を作つて行きたいと思ひます。



株式会社 アイケーシー

代表取締役

池田浩司

(昭和54年卒明誠会)

〒104-0031

中央区京橋1-17-12吉住ビル4F

TEL03-5159-7080 FAX03-5159-7082

URL: <http://www.ikce.jp/>

暮らしの衣料 まつざわ
株式会社

調布松澤屋

取締役

松澤和昌

(昭和54年卒明誠会)

〒182-0026

東京都調布市小島町1-34-12

TEL042-482-2634

常住事務所

税理士・行政書士

常住 豊

(昭和54年卒明誠会)

東京都北区赤羽西1-5-1-606

(アビレ・赤羽アボード1ビル内)

TEL03-3905-6981

FAX03-5963-7430

紫魂会

昭和55年卒 紫魂会 大迫 好孝

昭和55年卒『紫魂会』の同期会の報告をさせていただきます。卒業してあっという間の30年目の今年、7月10日に万世橋の「肉の万世・本店」8階ティアラホールに於いて同期会を開催しました。

清水紀夫先生の乾杯のご発声で会はスタート。残念ながらご出席いただけなかった後藤朋智先生からの葉書の紹介があり、80歳（傘寿！）になられてもまだまだお元気な様子が報告されました。清水先生も来年70歳（古希！）とのことで、ほんとうに30年の月日が経ったのか、現実が信じられない思いでした。

冷静に考えれば自分たちもあと1年で50の舞台。薄くなっていたり、白くなっ

ていたり、太っていたりと、だいぶ外観は当時の青年の頃からは様変わりをしていましたが、話が弾むとみんなの表情は当時のままでした。

各自の近況報告のなかには、中学・高校時代の思い出や事件（？）を交えながらの話が多く、「A、B組」「他中」など、懐かしい単語がどんどん出てきます。

また今回は久しぶりの参加者も多く、それも盛り上がった大きな要素でした。

あっという間に時間が経ち、恒例の渡辺君の号令による校歌斉唱。スクラムを組んで、みんなよい表情で熱唱していました。卒業して30年経ってこんなことができるなんて、幸せなのかもしれませんね。

この盛り上がりをもつまに、2次会へはほとんどの出席者が参加。ここでも話が尽きない面々は3次会へと夜のネオン街へ消えて行きました。

いつもこんな楽しい同期会をセッティングしてくれる幹事の皆さん達には本当に感謝しています。

また、総明会の幹事学年『明輪会』の皆様、お疲れ様でした。総明会総会・懇親会の盛会を祈念いたします。



祝 第46回総明会総会・懇親会

紫魂会

(昭和55年卒)

明翔会

昭和56年卒 明翔会 蓬田 裕一

平成22年7月4日（日）
京橋の酒房「長谷川」にて
明翔会総会・懇親会を開催
しました。当日は恩師の山
脇先生、大野先生、山田先
生をお迎えし、同期27名の
参加により盛り上がりをも
せました。以下に総会・懇
親会の様子を披露させてい
たきます。

まず総会では斉木前会長
より前期事業計画の報告、
狩野君から前期会計報告、
白畑君から監査報告が行わ
れ、続いて今般の役員改選
時の立候補者10名全員が新
役員に確定し、新役員の互
選により全員一致で鈴木望
文君が新会長に選出されま
した。

鈴木新会長からは就任挨拶の抱負として「明翔会が同期の親睦の場として有効に機能するように尽力していきたい」との熱いメッセージが語られ、役員として、飯野君（副会長）、白畑君（監査）、開発君（渉外）、須藤君（企画）、名古屋君（名簿）、衛藤君（庶務）、斉木君・狩野君（評議委員）、蓬田（会計）、役員外協力からは寺村君（HP）の役職が発表され、併せて今期の事業計画（案）の説明と会計から今期予算（案）の説明が行われました。

懇親会では料理は絶品、お酒も美味しく満足できる内容でした。お酒が入った勢いからか恩師の先生方からは非常に情熱的な言葉をお聞きし、相変わらずお調子者が多いのが特徴的でした。

最終盤では元応援団の開発君による明治高校伝統「明高節」で皆の魂が一つになり、締めはなんと恩師山田先生の振りによる校歌斉唱で盛り上がりも最高潮となりました。

肩を組合い、汗を飛ばしながら全員が声を振り絞って、校歌を歌い切ったの終幕となりました。中締め後も余韻が冷めやらぬままに八重洲にある居酒屋になだれ込み充実した時間はあっという間に過ぎていきました。

最後に、これからは同期会の輪を更に大きくし、最終的には総勢100名を超す仲間が参加し楽しめる会にしていけたらと思います。

既に総会で選出された新役員によって「名簿整備プロジェクト」「HP整備プロジェクト」をスタートさせています。

（明翔会HPを順次整備していきます。http://www.k4.dion.ne.jp/~terachan/index.html）

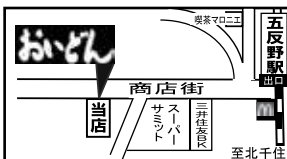
非見て下さい）
社会人になり25年が経過し50歳を目前にした今、限りある現役時代においてプライベートでも充実した思い出を多く作っていきたいと感じているのは私だけではないと思います。皆さん是非とも大いに楽しんで行きましょう！！



おいどん
地どり・釜めし・鍋

足立区中央本町2-24-18
TEL 03-6657-1561
FAX 03-6657-1562

昭和56年卒 明翔会
加々美 博



袋物製造卸
株式会社三和袋物
代表取締役

深山隆義
み や ま た か よ し
(昭和56年卒明翔会)

〒111-0041
東京都台東区元浅草1-4-12
TEL 03-3844-0267
FAX 03-5828-2464
URL: <http://sanwa-wallet.com>

総合建設・不動産

正宗産業株式会社

代表取締役 市川 洋 治

〒210-0834 (56年卒)

神奈川県川崎市川崎区大島5-8-13

電話 044-244-1054(代)

FAX 044-211-3256

ヤマダ社会保険労務士事務所

社会保険労務士

山田 覚
yamada satoru

(昭和56年卒明翔会)

〒245-0061
神奈川県横浜市戸塚区汲沢2-1-5-D607
Tel/Fax 045-865-6282



白畑尚志

ファイナンシャル・サービス・アシュアランス部
代表社員
公認会計士

あらた監査法人

〒104-0061

東京都中央区銀座8-21-1

住友不動産汐留浜離宮ビル

携帯 090-6491-0694

hisashi.shirahata@jp.pwc.com

PRICEWATERHOUSECOOPERS

祝 第46回総明会総会・懇親会

頑張れ 明輪会!!!

明 翔 会

(昭和56年卒)

矢ノ目忠税理士事務所

昭和五十四年卒 明誠会

〒三五、〇〇四八

江東区門前仲町二、二、一六
えとりビル三階

電話 〇三、五六三九、七七六一

FAX 〇三、五六三九、七七六一

E-mail: yanome@yanome.jp

昭和五十六年卒

須藤司法書士事務所

司法書士

須藤 貢一

〒二五、〇〇四六

江東区牡丹二、九、一六、九一四
TEL 〇三、三六四三、一六五〇

総明開発株式会社

昭和五十七年卒 明魂会
硬式野球部OB

代表取締役

染谷 貴男

〒三四、〇〇〇五一

埼玉県草加市金明町四七二四
電話 〇四八、一九四六、二〇〇四
FAX 〇四八、一九四六、一七〇〇

木材問屋

株式会社 川崎商店

代表取締役

川崎 貴夫

東京都江東区木場4-3-8

電話 03-3642-7797

FAX 03-3642-7796

協和空調株式会社

代表取締役

阿久津 一也

(昭和57年卒明魂会 吹奏楽班OB)

〒253-0101

神奈川県高座郡寒川町倉見1175-1

TEL 0467-74-1866

FAX 0467-75-9461

E-mail kyouwa.k.k@abelia.ocn.ne.jp

紙一般包装資材企画販売
近代紙業株式会社

〒340-0834埼玉県八潮市大曾根1420

http://www.kind-ai.co.jp

昭和57年卒 明魂会
地理研究部OB会

小林 謙之

KENJI KOBAYASHI

k-koba@kind-ai.co.jp

昭和59年卒

ライフプランナー

渡 邊 文 夫

ソニー生命保険株式会社

新宿ライフプランナーセンター第5支社

東京都渋谷区代々木3-22-7

新宿文化クイントビル4F

電話 03-5358-1705

携帯 090-4376-6146

SL10-375-034

ホームページ、パンフレット、カタログ等のデザイン制作
お店・会社のイメージアップ・売上アップ！

ホームページ、パンフレット、カタログ、広告チラシ、メニュー、看板など、イメージアップに役立つデザイン制作を行っています。

お気軽にご相談下さい。

GRAPHIC DESIGNER

昭和59年 卒業

島 村 武 史

〒171-0052 東京都豊島区南長崎3-31-14-A2

tel: 03-5996-6828 fax: 03-5996-6833

E-mail: take-457@netjoy.ne.jp



TM Member Horwath International

東陽監査法人

〒101-0053 千代田区神田美土代町7番地 住友不動産ビル

TEL 03-3295-1040 FAX 03-3295-1993

代表社員	朝貝	省吾	(昭和41年卒)
理事 事業部長	岡田	基宏	(昭和57年卒)
公認会計士	中嶋	教晶	(平成8年卒)

明魂会

昭和57年卒 明魂会 関川 一浩

昭和57年卒「明魂会」は、去る平成22年6月12日（土）に同期会を開催した。

当日は三十余名の同期が集結し、まず、「明治魂（伝承）」をテーマに掲げて活動した昨年一年間を振り返るとともに、11月29日（日）ANAインターコンチネンタルホテル東京にて開催した総会・懇親会の「DVD鑑賞会」を開催、その後、居酒屋「てけてけ」にて懇親会となった。

懇親会は菊池会長の挨拶、田中副会長乾杯の発声の後、一人ひとりが近況報告を行っていたら、冒頭からあっという間にテンションは最高潮に。これも幹事学年を無事終えることができた安堵

感と、場所が懐かしき学舎のあった「御茶ノ水」ということが相まっていたことだろう。時間の経つのも忘れて語り合ううちにあっという間に、締めめの校歌斉唱。来年の再会を誓い合って、会は盛況のうちに終了した。

隣席のお客様（若者4人組でした）、お騒がせしてゴメンなさい。「親父連中が大勢集まって何を盛り上がっているのかな」と不思議に思われたことだろう。君たちもこの年になったらきっと・・・。

また、懇親会では暫らく中断していた「明魂会」のホームページも近々再開する予定との報告があった。今回の同期会に参加でき

なかった皆、未だ同期会に顔を出していない皆、「スタイル」は変わっても中身は全然変わっていないよ、「あの頃」のままでよ。ホームページを見て、同期の顔を眺めながら、ノスタルジックな思いに浸ってくれ。その中で、同期の繋がりが「わ」をもっと深めてくれ。

総明会幹事学年を契機に再開した同期会、まだまだ未熟ではあるが、今後は「増えはしても決して減ることのない『わ』」を大切にした同期会に育てていきたい。

中学・高校と多感な時代に知り合い、同じ波長を育んだ仲間だからこそ「個人的なノスタルジア」を話せる場。次回は更に多くの同期が集結してもらいたいと願うばかりである。

最後になりましたが、「明輪会」が幹事学年を務

める第46回総明会総会・懇親会の成功を祈念しまして「明魂会」の寄稿といたします。



明心会

昭和59年卒 明心会 田中 重幸

昭和59年卒業「明心会」です。思い起こせば昭和59年と言えば、我々の庭である有楽町で日劇が昭和9年からの歴史に幕を閉じ、新たにマリオンに生まれ変わった年でもあります。日劇最後のウエスタンカーニバルに学ランで赴き、戦後文化の迫力と哀愁に感動しながらも、翌年には完成したマリオンを見て新しい日本を感じたことを今でも覚えています。

社会人となり、日経平均は市場最高値、ジャパン・アズ・ナンバーワンなどと言われながらも、すぐにバブルは崩壊し、世間も様子も様変わり、仕事、子育てに没頭し、同期の高校時代

の思い出を振り返ることも少なくなっていました。

しかし、気がつけば幹事学年を目前に控え同期会を発足する年になっていました。今年、同期会を開き、久々に同期の顔を見たら、担任の先生の話題、昼飯の話題、部活の話題などなど、忘れかけていた思い出が、すぐによみがえり、時間の経つのも忘れ大いに盛り上がりしました。

さておき、同期会の名称である「明心会（めいしんかい）」は、「男坂倶楽部」の中河孝樹氏より命名頂きました。中河氏を初め、中河氏をお引き合わせいただいた「明魂会」及び「明輪会」諸先輩方には、感謝し

ております。

私たちが、総明会の幹事学年を担当するにあたって、まだまだ準備不足ではありますが、今年の幹事学年である「明輪会」のテーマである「ひとのわ こころのわ」を継承させていただき、同期および、後輩にも明治の心を伝えていきたいと思っております。

これから一年、総会に向けて、努力していきますので、今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

田中重幸税理士事務所

昭和59年卒

税理士 田中重幸

〒133-0044

江戸川区本一色1-23-13

TEL 03-3674-6127

E-Mail : tanaka-zeimu@w8.dion.ne.jp

59年卒業「明心会」からのお知らせ

昭和59年卒業生で現在、所在が不明の方が多数います。
地方に赴任された方、引っ越しをされた方などお心当たりの方は
下記までお知らせください。

meishinkai@meiji.cside7.com

「川口明高会におじゃまして」

昭和58年卒 明輪会 秋間 聡郎

平成22年4月17日(土)
川口明高会の例会に本年度幹事学年の代表として、また寄付広告担当として期待を胸に出席させて頂きました。出席者は総勢23名。川口から引越した方や川口在住に拘らずに受け入れる懐の深さが30年を超える歴史を支えているのだと感じることができる暖かい会合でした。

各班部活動のOB会や各学年の同期会と言うのはよく聞く話ですが、地域密着型で幅広い年代が集う会と言うのは他に無いのではないのでしょうか。聞けば当事明治高校の校長であられた故福島先生が当地の武南高校の校長に就任されたのを機に恩師への激励・親睦

を目的に初代会長である大熊康浩氏を中心に明高同窓生有志が集い、師弟関係・先輩後輩の関係を越えた「明治魂」にさらに仲間が集まり「輪」が30年以上も大きく拡がり続けているそうです。

当日は川口明高会の一員でおられる内木先輩のお店「海老家味可久門」にお邪魔しました。後には色々な会合に参加することになるのですが、今回はデビュー戦に近い状態でかなり緊張しておりました。

私の不慣れた段取りにも拘わらず皆さんのお心遣いと川口在住者以外でも受け入れる度量の広さで幹事学年を迎えて頂き、何か自分が仕事をしているような気分

分になってしまいました。が、いかに暖かく接して頂き協力頂けたかと言うことは後日身に沁みました。

校歌を高らかに唄い、会は終焉へ…。そして二次会：三次会と…。私は遠方からの参加の為、終電前で帰りましたが、地元密着型の会合だけに皆さんは足の心配も無く豪快な笑い声が鳴り響いていまし



渡総研(株)

東京都中野区江原町1-5-13
TEL03-3954-2560

57 明魂会
58 明輪会
川口明高会

大熊健介

☆精工実業株式会社

総合不動産業

た。
今回は随分とお世話になりましたので、来年は恩返しの意味も含めてこの豪快かつ愉快的会にまた参加させて頂きたいと思っております。最後にありがとうございました。

昭和34年卒

旧雨会

内木 顕

海老家味可久門

048-223-6111

昭和33年卒

渡邊洋封筒株式会社

代表取締役

渡邊 進

本社〒333-0845 川口市上青木西1丁目16番27号
TEL.048(256)3221(代) FAX.048(255)1453(代)
工場〒333-0845 川口市上青木西1丁目16番6号
TEL.048(256)3344(代)

無垢素材を生かす家造り
やすらぎ住まい工房
株式会社 角 伊

代表取締役 小井土 功

昭和五十一年卒 明々会

〒333-0851
埼玉県川口市芝新町九一二四
電話〇四八一二六六一二四五

コンクリートボーリングマシン
カッター製造メーカー

吉田機械工業株式会社

代表取締役 吉田 雅博

埼玉県川口市本蓮2丁目8番6号

TEL.048-281-0535

FAX.048-285-5520

昭和54年卒

明誠会

(株)朝倉鋳物

代表取締役

朝倉一寿

FAX048-251-4381

プラスチック製品製造

株式会社 プラテック

代表取締役

林 伸光

〒339-0034

埼玉県さいたま市岩槻区笹久保1137-2

電話 048-791-7311(代)

FAX 048-791-7312

E-mail Platec@image.ocn.ne.jp



川口明高会旗

川口明高会

(設立 昭和53年)



H20年 30周年記念パーティー

明高会ホームページ <http://www.cablenet.ne.jp/~prout/>

川口市 峯307-4
石井 君忠 五七卒
048-294-3780

【事務局】

八代目会長

土屋 悌一郎 四八卒

七代目会長

由本 俊昭 四五卒

六代目会長

石井 次男 四三卒

五代目会長

荻野 布昌 四十卒 物故

四代目会長

天野 洋一 三五卒

三代目会長

久松 勇 三三卒

二代目会長

目良 昇 三一卒

初代会長

大熊 康浩 二九卒

評議員班・クラブOB会 懇親パーティー開催

総明会 総務委員長 大西静士郎

総明会『評議員 班・クラブOB会』は、各卒業年から選出された代表の評議員の方と各班・クラブにて結成された各OB会代表の評議員の方が集まって定期的にこなっています。

また、堅い「評議会」とは別に親睦を深める場としての懇親会を年に一回のペースで行なっており、今年も7月3日に総明会『評議員班・クラブOB会』の懇親パーティーが秋葉原「肉の万世」ティアラホールにて開催されました。

今年は、87名という例年以上の方々のご参加を頂きました。

さらに、明治高校より金子光男校長、高橋信事務長、田中徹太郎高校教頭、総明会ご担当の吉田重幸総務主任先生のご出席を頂き、盛

大な会を開催することができました。

金子校長、高橋事務長が懇親会までご出席いただけたのは初めての事で、明治高校と総明会のつながりが今まで以上に強くなってきたように思えました。

会は二部構成で行なわれ、一部は通例の評議員会として尾島会長の挨拶で始まり金子校長の「創立百周年に向けて」のお話を頂き、その後各委員会の堅い報告の後、懇親パーティーに移りました。

昭和17年卒（一七会）安藤先輩による乾杯の挨拶のあと始まりました懇親パーティーでは各班・クラブOB会の出席者の方のOB会や現役の活動状況のお話を頂きました。

今回は、今年（平成22年）

明治高校を卒業された新会員「明雄会」の代表・評議員の若いお二人から、今年から「八明会」の名のもと、明大付属八丈島高校の卒業生の会として新評議員に参加いただいたお二人の先輩方など、今まで以上に多方面の方々に参加いただき、有意義な会になってきたと思います。

最近では明治高校百周年に向けて各OB会も区切りのいい年度を迎えるようなり、新たにOB会を組織する班・クラブも増えてきています。創部60年を迎えた地理研究部も昨年新たにOB会が結成されました。

まだこれから組織するところも少なくありません。OB会はOBの親睦だけではなく、現役に過去の実績（伝統）を伝えていくこともその役割のひとつだと思います。そんな組織作りになしでもお手伝いできれば、と総明会も考えております。

伝統の継承・破壊・創造という循環がスムーズにいくように、すべての班・クラブでOB会が組織されることを願っております。



祝 第46回総明会総会

明卓OB会 日時10月23日(土)18:00

31周年総会 会場 明大紫紺館 6F

多数のご出席をお待ちしております。

明治高等学校卓球部OB会

会長 高橋正佑(昭和38年卒)

生徒会本部 紫紺クラブ

生徒会本部 OB会

会長 三浦昭生

(昭和38年卒)

事務局長 長谷川 裕

(昭和43年卒)

TEL 03-5616-4395

明治中学・高校水泳部OB会

明水会

会長 石川 守也(S36年卒)

連絡先 平田 幸彦

〇三、三五八九、〇六八七

大西 静士郎

〇九〇、一二四三、一二三三

図書班OB会

祝 第四六回総明会総会・懇親会



祝 第46回総明会総会・懇親会

地理研究部OB会

昨年創部60周年を迎え、OB会を発足致しました。

名誉会長 牛久 順之(昭和25年卒)

会長 大塚 和哉(昭和32年卒)

事務局長 堀井 雅俊(昭和40年卒)

地理研究部OBの方、是非ご一報下さい。k-koba@kind-ai.com 事務局まで

祝 第46回総明会総会

がんばれ明輪会

歴史研究部OB会

会長 山形 英明 (昭和45年卒)

事務局長 大塚健太郎 (昭和37年卒)

監事 平沢 一義 (昭和42年卒)

硬式野球部OB会 明球会

昭和51年卒 会長 一泉 二郎

7月19日(月) 西東京大会の5回戦。場所は市営立川球場。
 対戦校は、強豪 国学院久我山を打ち破った堀越高校。
 応援席に目を向けると、連日の猛暑の中開始1時間前だと言うのにすでに7割方が埋まり、30分前には、たくさんの方々の見守りであふれ返っていた。
 そんな中、12時29分球場全体に響き渡るサイレンと共にプレイボールが告げられ試合が開始された。
 明治 先攻も1回は0点。その裏、いきなり3点を先取される。
 いやな展開が脳裏をよぎる。2回はお互いが零封。そして3回に相手のミスに乗じて2点を返す。
 4回を終わって2対3。そしてビッグイニングがやって来た。

5回の表、適時打・失策を絡めて大量5点を挙げ、一気に大逆転。
 応援席からは、まさに割れんばかりの大歓声。
 しかしその後は、6回裏に3点、7回裏に3点と2点のビハインド。
 9回表に1点返すも、力及ばず。
 8対9にて敗れる。
 選手達の気迫のこもった一挙手一投足に歓喜し、また失策・凡退に嘆き。
 熱い夏が終わった。
 そしてもう一つ。3年間苦楽を共に過ごした最上級生にとって思い出に残る試合が、去る6月26日(土)に明大球場(内海・島岡ボールパーク)にて行われた。
 当日は、応援指導班・チアリーディング部の生徒達による毎年恒例の壮行会も催され、精一杯の応援の中、対戦相手は、森泉監督(明

高野球部OB・昭和49年卒・今夏 東東京大会準々決勝で関東第一に敗れる)率いる安田学園。
 試合結果は6対21の大敗であったが……。
 この試合は3年生全員がベンチ入りをして臨んだ引退試合であった。

夏の本大会でのベンチ入りに関わらず、3年間を頑張った選手達に、活躍の場を与えたいと言う小林監督(明高野球部OB・昭和47年卒)の提案で実現した試合。森泉監督にもこの試合の意義をご理解頂き、来年も是非行いたいとのお話を頂きました事をご報告致します。
 会長代筆 事務局 染谷貴男

昭和47年卒
 文具&スポーツ
 有限会社 コバヤシ
小林千春
 (硬式野球部監督)
 〒343-0836
 越谷市蒲生寿町9番39号
 TEL048-988-2222
 FAX048-988-2277

硬式野球部OB会 明球会
 会長 一泉二郎 (昭和51年卒)
 ホームページURL <http://o-meiji.com/>
 事務局連絡 E-mail: mail@o-meiji.com

明治大学付属明治高等学校應援團OB会

昭和30年卒 会長 田村 正彦

昨年11月8日創団60周年記念祝賀会には三百三十余名の校友、関係各位の御参加を賜り厚く御礼申し上げます。昭和24年正式に発

足したわが応援団の光輝ある伝統は、代々一系乱れることなく正統に連綿として引き継がれ、61年目に入りました。現役生徒に文字通り献身的な始動を続けているコーチ陣の諸氏に、心より敬意と感謝を捧げます。

6月と7月にフジテレビ「ザ・ノンフィクション」で、6年間に亘る団員の感動的な成長過程は放映され、今や「日本一の応援団」として注目も浴びることになりました。

私共は益々自重し気を引

き締め、応援団の何たるかを弁え誇りを持ってその王道を前進したいと思っております。

38年余に亘り顧問を続けてくださっておられる山田伸夫先生、そしてチアリーダーイング部も加わり大世帯になった応援指導班顧問飯塚浩芳先生、村松、早川両先生の熱き御指導に深く感謝申し上げます。

《明治高校応援団》

明治あるところ常に応援団在り

応援団の征くところ

団旗あり

栄光の大団旗翻々と翻る

団旗こそ明治の象徴

そこに集う人々

正に明治魂の継承者



祝 第46回 総明会総会

明治大学付属明治高等学校應援團OB会

会長 田村 正彦（昭和30年卒）
評議員 佐藤 欣生（昭和28年卒）

創部60周年に寄せて 明雪会

昭和57年卒 事務局 鳴海 浩樹

明治高校スキー部は平成23年で創部60周年を迎える。季節労働者というわけではないが、雪の季節以外はひたすら基礎体力づくりに励むクラブである。

当然のことながら合宿に行かなければお話にならない。東京に雪が降っても男坂でスキーはできないからである。

そんな環境にありながら、実をいうと我がスキー部は東京都においては超名門クラブである。インターハイ連続出場、関東大会連続入賞を誇るエリートクラブなのである。これはひとえに故水落先生をはじめとする顧問先生方の指導の賜物である。

そんな伝統あるスキー部が平成23年に創部60周年を迎える。盛大に創部60周年記念祝賀会を開く予定である。

これを機会に久しぶりに古い顔の面々に会えることを今からとても楽しみにしている。



祝 スキー部創部60周年 明雪会

平成23年スキー部は創部60周年を迎えます。
記念祝賀会を予定しておりますので、御協力宜しくお願い致します。

めざせ!!
インターハイ連続出場
関東大会入賞

会 長	堀 真壽 (昭和46年卒)
副 会 長	戸張 毅 (昭和47年卒)
名譽会長	津守 徹 (昭和51年卒)
顧問	若松 弘昌 (昭和39年卒)
顧問	大津 富士男 (昭和28年卒)
顧問	佐藤 健一 (昭和31年卒)
顧問	大出 育男 (昭和31年卒)
顧問	藤井 英一 (昭和32年卒)
顧問	山田 和孝 (昭和36年卒)
顧問	小山 雅司 (昭和37年卒)
顧問	井上 進治 (昭和38年卒)
幹 事	沼田 哲明 (昭和50年卒)
幹 事	服部 憲一 (昭和50年卒)
事務局	岡本 雅仁 (昭和51年卒)
事務局	五十嵐 公一 (昭和54年卒)
事務局	菅野 栄一 (昭和55年卒)
事務局	吉口 市郎 (昭和55年卒)
事務局	狩野 智雄 (昭和56年卒)
事務局	鳴海 浩樹 (昭和57年卒)
事務局	深谷 剣 (昭和62年卒)

昭和四十六年卒
(株)インタープランニング

代表取締役
堀 眞壽

電話 〇三・五六〇〇・三三八
FAX 〇三・五六〇〇・五〇二二

祝

創部60周年
明雪会有志一同

(株)グローバル インシュアランス
保険総合コンサルタント

代表取締役

若松 弘昌

(昭和39年卒 明雪会)

〒141-0031 品川区西五反田2-9-7
ドルミ五反田アンメゾン1001号
TEL 03-3491-0900

お車のトータルサービス

代表取締役社長 服部 憲一
(昭和50年卒明紫会)

(株)服部自動車鈑金工業

〒179-0073
東京都練馬区田柄5-22-20
TEL 03-3990-8541
FAX 03-3998-0177
E-mail: ken@hattori-auto.co.jp

有限会社
日生建築設計事務所

(四七四七同志酔会)

一級建築士 戸 張 毅

東京都豊島区巣鴨三丁目5番18号

TEL 03-5907-6030
FAX 03-5907-6033

昭和46年卒

(株)ハナワトランスポート

代表取締役社長

塙 直樹

中央区日本橋箱崎町12-2
03-6667-5800

モップ・清掃用品・テント・シート
袋物から大型品縫製加工

株式会社 岡 仁

代表取締役 岡本雅仁

(昭和51年卒 明々会)

〒106-0047 東京都港区南麻布2-4-12
TEL 03-3451-3671 工場: 栃木県大田原市

厨房のアメニティを創造する
津守興業株式会社

代表取締役 津守 徹

(昭和51年卒 明々会)

〒332-0001
埼玉県川口市朝日5-5-22
TEL 048-222-6187
FAX 048-222-8584
E-mail: tsumori@luck.ocn.ne.jp

税理士法人 狩野会計社

www.kanou-kaikeisya.com

代表社員 税理士

狩野 智雄

(昭和56年卒)

〒114-0002 東京都北区王子2丁目28番2号 Tel 03-3913-1964 Fax 03-3912-0835
IP 050-5517-4071 Mobile 090-1534-8396 E-mail: tkanou@kanou-kaikeisya.com

販売促進のパートナー

STAD

広告代理店
株式会社 スタッドプラン
TEL 03-6915-2711
www.stadplan.co.jp

代表取締役 千嶋 修
昭和54年卒 明誠会／明雪会会員

明高バレー部OB会の和

昭和52年卒 事務局 樋田 哲次

総明会の皆様こんにちは。
バレー部OB会では昨年12月に新校舎新体育館で初のOB会総会とバレーボール大会を開き、OB 43名、現役39名(男19名、女20名)が集まりました。

当間会長、片山副会長や、最年長の長坂顧問も来られました。
ほとんどのOBは、調布新校舎を訪れることは初めてでした。お茶の水と全然違う雰囲気、全てが広々としており圧倒されていました。

そしてハツラツとした女子部員を見て、なかなか声をかけられないOBも結構いました。
試合は、大学生OBチー

ムと現役高IIチームが実力伯仲のゲームをしていました。

30代40代のOBは女子高生チームと試合をして、これも実力的にはちょうどよかったです。

OB会の他の活動としては2月に中堅クラスの30代後半から40代前半のOBを集めた会合を開き、今後の幅広い展開をめざしております。

また3月には昨年に引き続き大学4年生3名をOBが囲み、卒業を祝う会を催しました。

さて戦績ですが、現役男子は、今年の関東大会予選はベスト16まで進みましたが、出場決定リーグ戦で敗

退しました。

女子は昨年秋季の新人戦に、公式戦として初めて出場し、予選リーグ戦で2勝し、2日目に駒を進めました。

女子も今年は全学年に部員が在籍し、男子と同じように、さらなる飛躍が期待できます。

OB会HPやメール等で試合のご案内もいたしますので、応援のほどよろしくお願いいたします。

追記 どのクラブOB会も同じでしょうが、来年は「OG」が誕生します。
会の名称は、「OB」会かどうかどうでしょうか？

OB会 連絡先…樋田哲次
090-4539-13603

toitetsu@nifty.com



明治高校バレー部OB会

顧問 山中禎一郎先生

会長 長当間堅一郎(昭和32年卒)

副会長 吉田 信行(昭和37年卒)

副会長 片山 眞(昭和39年卒)

幹事 長 服部 雄二(昭和44年卒)

幹事 長 補佐 岩崎 広人(昭和57年卒)

幹事 長 補佐 岡永 健二(昭和44年卒)

事務局 長 酒井 孝憲(昭和40年卒)

事務局 長 補佐 樋田 哲次(昭和52年卒)

事務局 長 補佐 山本 直之(昭和8年卒)

会計 加藤 裕司(昭和8年卒)

HP担当 阿部 徹也(昭和11年卒)

<http://www.geocities.co.jp/melivoley/>

昭和57年卒 明魂会 岩崎広人



乾麺
埼玉・蓮田名物
島田造り



乾麺「島田造り」は、製造元と直結した直販・通販のみの販売です。

おきなのもと
翁の郷

有限会社 翁の郷
〒349-0133 埼玉県蓮田市大字関戸280
<http://www.okina-no-sato.co.jp>

お客様フリーダイヤル
0120-8733-07
営業時間 9:00～18:00 / 火曜日定休

製造元
株式会社 **岩崎食品工業**
本社工場 埼玉県蓮田市大字関戸280

株式会社 山泰製作所

取締役 営業部長 山本雅宣(昭和59年卒)

〒949-6775

新潟県南魚沼市宮字西原2294番8 (津久野工業団地内)

TEL 025-773-3428 FAX 025-773-2763

E-mail masanobu-yamamoto@yamatai-mfg.co.jp

soken

ソーケンエンタープライズ株式会社
専務取締役

小川 滋

昭和44年卒 男坂倶楽部 バレー部OB

〒125-0062 葛飾区青戸4-18-12

TEL 03-3603-8811 FAX 3690-4641

E-mail s-ogawa@soken-ep.co.jp

バスケットボール部OB会

平成5年卒 事業部 山下 康彦

我がバスケットボール部は「勝つにふさわしいチーム」「みんなが誇りに思えるチーム」になるため日々、鍛錬しています。

世の中が変わっていくようにバスケットボール部における「現役とOBの輪」「OB同士の輪」というのも、日々進化しています。

過去、「現役とOBの輪」というのは、合宿か試合が中心でした。春夏ある合宿でOBが参加して現役を励ましたり、鍛えたりしてました。試合に関しては、いいところまで進まないことがあまりありませんでした。

しかし現在では、合宿へ

の参加だけでなく、練習でのコーチそして各大会への応援がさらに強化をされて来っています。練習でのコーチでは、現在なんと計7名ものOBがコーチとして現役を指導しております。

高校男子はもちろんのことで中学男子だけでなく、女子もコーチをおこなっています。コーチは週4回から6回練習に参加しますので、気合をいれて現役を指導しています。また試合での現役への応援も卒業後数年のOBだけでなく、20年、30年も経っているOBが参加しています。

輪が強固なのは現役とOBだけではありません。

「OB同士の輪」も非常に

強化されています。OB同士の縦のつながりでは、毎年1回開催されているOB総会（今年は9月26日（日）13時）、また不定期でイベントがあるとOB同士でよく集まります。

先日もある代のキャプテンが外国から帰国したので、その代の上6代、下も6代が集まり昔話などで盛り上がりました。縦だけでなくOB同士の横のつながりももちろん行われており、我が部では年末に多くの代が集まって飲んでいます。

現在、このような「現役とOBの輪」「OB同士の輪」が充実しているのは我が部で導入しているホームページやメーリングリストの効用があげられます。これまで、バスケットボール部の情報に関しては定期

的に送られてくる手紙だけでした。

ただ手紙のためタイムリーに情報が得られず、いつも結果の情報でした。

メーリングリストでは試合の日程情報や結果情報をすばやくOBに展開し、現役のがんばりを伝えることで試合への参加率をあげることに貢献しております。

試合情報だけでなく合宿情報やOB会の情報なども提供し、「現役とOBの輪」「OB同士の輪」を強化しています。

昭和五十一年卒 明々会

総合不動産業

株式会社エヌエフ・ウィレッジ

取締役 事業推進室 室長

吉田 博

〒177-0033 練馬区高野台一三七 Nトラザ
TEL03-3559-0105
FAX03-3559-0105
FAX03-3559-0105

有限会社三友金型

ゴム金型 設計・製作 短納期対応

代表取締役 小柳 貴裕 (昭和63年卒)
(バスケット部OB)

〒131-0032 東京都墨田区東向島6-25-13
TEL 03-3617-6683 FAX 03-3610-1299
E-mail sannyyuu@tj9.so-net.ne.jp

米田税務会計事務所

昭和53年卒

税理士 米田晴彦

〒130-0026
墨田区両国2-17-8
(両国高橋ビル3F)
TEL 03-3631-8878
FAX 03-3632-3346

E-Mail: yonetakaikai@tkcnf.or.jp

昭和43年卒 紫讃会

三田 幹男

総合電設資材卸

伊東電機株式会社

代表取締役 伊東 稔
(昭和59年卒バスケットOB)

本社：東京都江戸川区松島3-34-21
電話 03-3654-9241～5
FAX 03-3654-9256
E-mail ito@ito-den.com

船橋営業所・松戸営業所

明治高校バスケット部OB会

めざせ!! インターハイ出場! 行けど! 関東大会!

名誉顧問 晨 匡一郎

OB会会長 三田 幹男 (S43卒)

副会長 大石 喜代司 (S46卒)

吉田 博 (S51卒)

米田 晴彦 (S53卒)

総明会担当 佐藤 真弘 (S49卒)

総務部

部長 木戸 基満 (S57卒)

小柳 貴裕 (S63卒)

中村 雅之 (S62卒)

事業部

部長 田中 幹浩 (S57卒)

伊東 稔 (S59卒)

田 炳喆 (S64卒)

山下 康彦 (H5卒)

財務部

部長 米田 晴彦 (S53卒)

門川 隆之 (S58卒)

並木 功 (S58卒)

プールのない水泳部と明水会

昭和51年卒 事務局 高橋 直哉

君、泳げる？教室で後ろを振り返って聞く水泳部長白根君（当時2年生がいなかった水泳部の1年生キャプテン）の問いかけに「千メートルなら」と思わず答えてしまい、その後の人生を大きく狂わせた昭和48年、15歳の初夏。

公立中バスケット部の練習中、成長期に絶対やってはいけない『うさぎ跳び』にて膝の軟骨が出てしまい、運動がままならない体ではあったが、水泳ならと入部したことが、その後3年弱の現役生活、30年に亘るOB会生活の幕開けであった。水泳部に入ったものの、「プールがない！」のはるか生田の大学プールまで練習に。お茶の水にも当

時、まだ地下プールは存在したが、行政の指導により使用禁止とのこと。もし移動時間の少ないお茶の水で練習していたら、「死んでいたかも」というくらい厳しいトレーニングでした。夏合宿。皆、一人数個？

の缶詰を持ってくるようにとの指令に、頭の中に？？マークが渦巻いたが、食事時に納得。宿泊所である民宿の食事だけでは、餓死者が出ていたかもしれない。何部ですか？というくらい走った。水泳部とはいえず、屋外プールで泳げるのは、せいぜい6月から9月まで。残りの8ヶ月は皇居までランニングしたり、千鳥ヶ淵で筋トレしたりの陸スイマー。おかげさまで、就職後、勤

務先の駅伝チームに入るくらいにの走力になってしまった。

高校卒業後も、顧問故谷口先生の強制、もとい勧めで民間スイミングクラブのコーチ、明中高の監督をさせていただき（やらされ）多忙な大学時代を過ごす羽目になってしまった。大学を4年で通過出来たのは、奇跡としか思えない。

大学卒業後、明水会が設立され、それまで雲の上の存在だった先輩諸氏と親しくお付き合いさせていただいている。

今、最大の楽しみみのゴルフも、明水会で教えていただいた財産である。その他、総会、忘年会、役員会（名目だけで、誰でも歓迎）など各年代入り乱れて昔話、世間話に花を咲かせている。近年、新規会員でOB会に顔を出してくれる人は少

ないのが現状です。来たれ新人！面倒見の良い先輩方が君たちを待っています。

寺村梱包株式会社

取締役会長 寺村武二

(昭和26年卒猿楽会 水泳部OB)

代表取締役 寺村一義

(昭和56年卒明翔会 バスケOB)

東京都文京区本郷2-19-11

TEL 03-3813-6686

FAX 03-3813-6689

http://www.teramura-pack.co.jp



明高剣道部にOBとして関わりだして

昭和46年卒 明潮会 木村 茂

明高剣道部にOBとして関わり、39年になります。（途中中ぬけが15年位ありますが）

今年も中高校生の剣道部合宿に行って一緒に稽古してきました。（69歳から大学生まで約10名のOBが参加）

気持ちだけは若くとも57歳の体は正直で、疲労蓄積、帰ってきたら、今度は、隅田川の火花の人寄せで、原稿の依頼があったにもかかわらず書くことができず、幹事学年のN君にごめんとメールを打ったら、同学年の娘さんが今年、中一で剣道部に入部しているとの事、「こりゃいかん」と再度挑戦。

私達、昭和46年卒の明潮会約270人のメンバーでも自分の子供が明中高に入学してきたのは1名（さすが会長）500人の剣道部OBの中でも知っている限り3名、2人は剣道部に入部して卒業、親子でOB会見心会のメンバーとなりました。

1人は硬式野球部のキャプテンで現在大学野球部在籍中です。学生時代の辛いことが多いながらも、血沸き肉躍る楽しい思い出はもとより、OB全員を束ねる総明会、各学年会、各クラブのOB会、高校野球の観戦に行けば必ず誰かがいるスタンド、飲みだ、火花だと何年たってもすぐ集まる

友、本当に明治って、いい学校だなと思い、自分の息子、娘たちにも、こうゆう素晴らしい体験をしてほしいと思っているOBは多いと思います。

しかし、私達の同期会（明潮会）、剣道部見心会のメンバーの遺伝子に問題があるのか、自分の子供が明中高に入学したケースはまれな事になっているのが現実です。

明輪会のみなさんが幹事の今年の総会は、新たなる取り組みとして「明大明治カミング」と称する企画を用意し、家族（孫、子、未来の明中高生）の方へ明治の良さをもっと知ってもらう企画をたて、受験生を対象にミニ学校説明会も実施するそうです。

私達総明会メンバーの子

供、孫たちが、一人でも多く明中高に入学し、素晴らしい体験ができるように、またいつまでも魅力のある学校を守り、一層の発展することを願っております。

見 心 会

明治高校剣道部OB会

会長 矢光 善美 副会長 中島 健一
会 監 督 鈴木 幸男 会 計 羽田 郁雄

近況報告(テニス部OB会)

昭和58年卒 明輪会 武井 克明

テニス部歴代の先輩方、後輩の皆様ご無沙汰をしております。お元気でいらっしゃいますか？

卒業直後10年ほどは毎年のOB会に参加させていた

だき、卒業生や現役の皆さんたちと一緒に楽しく汗を流しておりましたが、年々運動する機会が減り体型が次第にテニス向きでなくなり、テニス部とも疎遠になり今日に至っています。

今年、総明会の幹事学年を迎え同期の仲間と交流する機会があり、先輩からのご指名もいただき、僭越ながら筆をとらせていただきました。

さて、テニス部の近況で

すが卒業生中心の活動としては、OB会やゴルフコンペが行われております。

(毎年、林先輩からご案内をいただきながら参加できず恐縮しております)

内容については近年参加できていないため、来年執筆される方へ託したいと思っています。

現役の皆さんの活動については、インターネットでは久しぶりに「東京都高体連ソフトテニス部」で拝見させていただきます。

私たちの頃とは大会参加ペア数も半分近くに減り、勢力分布も様変わりする一方、強豪校が未だに健在であったり、トーナメント表

を見ながら時間の流れを感じました。

現役の皆さんには是非懸命にボール(いまは白球だけでは足りないみたいですね)を追いかけて活躍されることを卒業生一同応援します。

最後に私事を少々書かせていただきます。卒業生皆様のなかには今もテニスを続けている方もいらっしゃると思いますが、私のようにテニスから離れて10数年となりますと、「ウェアが白基調からカラフルに」、「サーブは後衛だけでなく前衛も」、「カワサキラケットは何処に」等々、時代の変化に驚きの連続です。

それというのも今年初めに子どもが通う地元公立中学で親たちが部活動に挑戦する企画があり、その際に知ったことでした。

10数年ぶりにラケットを押し入れの奥から引っ張りだし、ルールを生徒たちに確認しながら、自分のイメーজとは程遠いプレーで「バコン」という音に酔いしれました。

最後に今回はテニス部の近況報告というよりは、最近のテニス感になってしまいましたことお詫びいたします。また、OB会に参加する際にはよろしく願いいたします。

祝

第46回総明会総会

軟式庭球部
OB会

総明会懇親会でのマンドリン部OB有志による演奏

昭和58年卒 明輪会 大竹 彰

昨年の総明会懇親会におきまして、マンドリン部OB有志により演奏をさせていただきましたが、古賀メロディー、ロシア民謡等、大変ご好評をいただきました。昨年引き続き本年もその役を勤めさせていただきました。

演奏の形態といたしましては主に、ご歓談中のBGM形式の予定です。

具体的な曲目は7月末現在において、まだ決まっていませんが、ジャンルとしては校歌（開幕曲）、前出の古賀メロディー、ロシア民謡、様々なリズムを駆使したラテン、ムード音楽さらには映画音楽および歌謡曲等といった中から選ぶ予定にしております。

また、本年の総明会のテ

マ「ひとのわ ころのわ」に合った選曲となるよう鋭意、検討中であります。

マンドリン部OB有志のメンバー構成につきましては、30歳代から60歳代くらいで、若手というよりは円熟期に入り、“技術よりも心（気持ち）”に重きを置いた演奏をモットーに（現役から遠ざかり、指も回らなくなり、トレモロもままならない、若干、そんな状況の言い訳めいていますが）いつまでもマンドリンの音色と、何よりも明治高校マンドリン部を愛して止まない者たち約20名の集まりです。

長く月日は経過しても、ひとたび合奏が始まると、お互いの響きを通して、すぐに当時がよみがえり、技

術こそ現役時代には及ばないものの、純粹に音楽を楽しむことができるようになった世代とも言えます。

「音楽和也」―古賀政男先生が常々おっしゃられていた言葉です。まさに今回のテーマにぴったりだと思います。

この言葉を胸に、当日は精一杯、心を込めた演奏をお届けしたいと思っております。気合の入った演奏に乞うご期待。



祝 第46回総明会総会
明治高校マンドリン部OB会

明物会（物理部OB会）

昭和45年卒 明物会 評議員 磯部 進

明物会は物理部のOB会です。

物理部の発足は昭和42年にまで遡ります。科学部が発展解消して、物理部と化学部ができたのです。

物理というとお堅いイメージが付いて廻りますが、同じ時期に誕生した化学部と科学部では間違いやすいこともあります。

また、お堅いネーミングがお固くない活動内容とのギャップがあって、面白いとも思ってもおります。

6月の新入部員歓迎会、11月の総会と年2回活動しています。

今年も、6月12日（土）に新入部員歓迎会を開催し、1人の大学生を迎えました。

当日の参加者は、井家上会長以下11名（写真）でした。

昨年の12月には井家上会長以下十数名で総会を開催しました。現役の部員まで参加してくれる、文化部では珍しい、幅の広い年齢構成を誇っています。

しかしながら、明物会としては現役部員の少なさに危機感を持っております。

現役に対してはOB会有志が学校を訪問し、文化祭のバックアップだけでなく、コーチ的な活動もしています。

ただ単に増えれば良い訳ではありませんが、OB会として増やすための努力や援助をしていきたいと思

ます。

そのためには、ホームページの活用や、現役の部員や顧問の先生方との交流を更に図らねばならないと思っています。

新入部員歓迎会



化学実験室



Meiji High School & Meiji Junior High School

物理実験室



Meiji High School & Meiji Junior High School

地理研究部の歴史と地図の歴史

昭和40年卒 事務局長 堀井 雅俊

昨春秋、地理研創立60周年の式典があり、百名近い卒業生、現役関係者が集まり盛大に催されました。

地理研の創立者は、今は亡き『西洋ルンペン』こと、矢口清先生です。

そして、見習い講師として明治中高に入り、退職時には中学校長であった四十年近く『図絵(ズエ)』と呼ばれ続けた桜井正美先生、現役指導者の由井将雄先生とその伝統は脈々と受け継がれております。

今回の60周年の式典では、地理研始まって以来の女子部員による研究発表があり、『なんで俺達の時には女子部員がいなかったのだ』と嘆く卒業生がほとんどでしたが、皆それぞれ感激の思

いを持って聞いておりました。

地理研の顧問であった矢口、桜井両先生の退職時には地理研OBの多くが集まり、明治高校での最終講義が行われました。

教室は、いっぱいになり、溢れんばかりの元生徒たちの前での講義に先生、生徒は皆、昔の楽しい思い出に浸っております。

現役の由井先生の定年退職は、ずっと先の事ではありますが、最終講義の日まで、私を含め、地理研OBは皆『地理研魂』をもって生き延びる覚悟でおります。

私が地理研に入部したのは、ちょうど50年前でした。小学校の頃から地図を見るのが大好きでしたので、

先輩から地図の正しい見方をいつも教えてもらっていました。そのうち正しい地図ならば世界中のどこへでも行けると自信を持ったのを今でもはっきりと覚えております。

ところが現在、様子が違ってきました。カーナビの出現です。簡単な操作で目的地まで誘導してくれる優れものです。地図とカーナビの違いは次の通りです。地図を見ながら進むということは、今、自分がどこに居るかを確認しながら進まなければ目的地に行くことができません。

つまり、途中途中の場所が記憶に残っているのので、同じ場所に次に行く時は、地図がいらない場合が多いのです。

一方カーナビでは目的地さえ間違えなく登録すれば、どこを通って行こうが良いわけですが、いつも同じ所

を通るとも限らず、毎回カーナビが必要となります。しかし、カーナビは便利です。自分が今どこに居るか瞬時に教えてくれます。地図ではこのようにいきません。

でも、皆さん。車の中に地図を必ず入れておいてください。何かの時に必ず役に立ちますから。地図を愛し続ける男よりの一言でした。



放送班OB会

昭和57年卒 明魂会 宮田 健

放送班OB会のうち、昭和53年から昭和61年卒業生を中心とした有志で、当時の放送班顧問の先生であり恩師でもある、故田村晴彦先生の命日（5月17日）にあわせ毎年5月の第3土曜日に先生の眠る港区三田の長久寺へ墓参りと懇親会を行っています。

今年も例年通り、第3土曜の5月15日に開催しました。ここ数年、参加メンバーが4～5名と少数安定傾向にあったのですが、今年は久しぶりににぎやかになりました。

昨年の総明会活動の中で、故田村先生のお兄様で、應援團OB会長でもある田村正彦先輩からご一緒して頂

けるとのお声を掛けて頂きました。残念ながら当日ご一緒頂く事は叶いませんでしたが、これがきっかけとなり9名の放送班OBのほか、昭和53年卒の先輩6名も参加してくださいました。

この総勢15名で、故田村先生の墓前で手を合わせ、一人ひとり近況を先生に報告しました。そして、門前で恒例の記念写真を撮影。都心とは思えない閑静な長久寺周辺も、少しずつ開発され、昨年から背景に高層ビルが写るようになった事にお気づきでしょうか。

その後、麻布十番に場所を移して開催した懇親会には、仕事で墓参に間に合わなかった2名も合流しまし

た。総勢17名は、時のたつのも忘れ現役時代の思い出話に花を咲かせ、最後には先生の物真似まで飛び出しました。

今後も、今年のように放送班OBに限らず、故田村先生にゆかりのある方には気軽に参加して頂き、ともに楽しい時間を過ごしたいと思います。間違いなく先生も喜んで下さるはずですよ。

「来年は自分も！」とお考えの皆さま。どうぞお気軽にご参加ください。興味のある方は、インターネットの掲示板や、メーリングリストをご利用ください。

掲示板のアドレスは、
<http://8630.teacup.com/mbc/bbs>

携帯電話でもご利用頂けます。またメーリングリスト参加希望の方は
<http://groups.yahoo.co.jp/group/tamurakai/>

の「グループへの参加（自動処理）」から手続きをしていただくとともに、
tamurakai-owner@yahoo-groups.jp
へご連絡ください。



写真部OB会発足にあたって

昭和58年卒 明輪会 坂井周太郎

毎回会報をいただくのですが、文化部OB会の少なさに寂しさを覚えておりましたところ、本年度総明会チャリティーゴルフ大会にて数人の写真部OBに会うことができました。これも新たな輪だと感じOB会を発足しようと云うことになりました。

近年はデジタル化が進み昔と違って部の暗室を使う必要もなく、誰でも気楽に写真を楽しめるようになりました。しかし安易な故にわざわざ写真部に入部する生徒も少ないと聞きます。

我々OBとしては、技術的なものは変わったが表現をする素晴らしさは変わらないという思いで今後明治

高校写真部を応援していきたいと思っています。

具体的な活動としては、「撮影会や懇親会、またプロカメラマンの方を招いてお話を聞くなど」を、考えております。また百周年記念事業の一助として現役明高生のフォトコンテストの開催なども出来ればこれらの写真部への関心が高まると思われれます。

まずは本年度総明会の片隅で写真部OBたちが集合出来れば幸いです。

連絡先

写真部OB会発足委員

昭和44年卒 栗田 茂

電話

090-3138-5692

海鮮居酒屋
はなの舞 湯島店

昭和58年卒 明輪会

井上直樹

東京都文京区湯島3-24-13

東京家具会館ビルB1

TEL 03-3836-5945

ホームページ

<http://r.gnavi.co.jp/g192815>

昭和58年卒 明輪会

坂井 周太郎

Music & Dining Bar

La Cuji

東京都文京区根津2-26-1

携帯：090-8330-6827

E-mail: bar.lacuji@ezweb.ne.jp

明高写真部OB会

写真部OBの方是非下記へ
御連絡してください

写真部OB会発足委員 栗田 茂 (S44卒)

Email: kurishige@pop12.odn.ne.jp

携帯電話：090-3138-5692 FAX：03-3677-2425

ひろわ じろのわ じろのわ 『じろの会』について

昭和52年卒 男子校根性組 大西 静士郎

「大西、今年で『じろの会』は何回目になるんだっけ？」

「先輩、急に聞かれても困りますよ。数年前に10回を越えたことは覚えていますが……」

これは、今回の『じろの会』で先輩と私が交わした会話です。

本当にいい加減な幹事です。今年が何回目かはつきり覚えていないのですから……。ただ、この「いい加減さ」が、この会がこま

で続いてきた理由の一つではなかったかと思えます。（あっ、開き直ったな）
本来でしたら、今年

の会報のテーマ「ひとのわこ

のわ」にちなんで、年退職された後藤朋智先生（化学）を中心にした輪が強かったからこまで続いています、と言え

ば格好が良いのですが、それがすべてではないですね。もちろん後藤先生＋美恵子奥様の魅力は大きいです

よ。誰ですか、とってつけたような言い方だなど言う人は。

いい加減な人間（私）が事務局をやっているもの

ですから、過去には開催のお知らせを送るのが遅れて速達で発送したことあるなど、かなり薄氷を踏んだことが多々あります。

開催日を毎年5月（ごとう）10日（のひ）に決め、この日には必ず開催しなければならぬとしたのは、今から考えると良かったなと思

います。そうでなければ、開催できなかった年があっ

たかもしれません。（おいおい）

そんないい加減な事務局を「まあ、こんなもんだろ」と温かく（？）見守って

くれる諸先輩のおかげで、今年も無事に『じろの会』を開催することができまし

た。ありがとうございます。来年も5月10日にこの（いい加減な）事務局で開催する予定です

ので、「こんなもんだろう」という気持ちでお付き合ってください。よろしく願います。（もう少ししっかりしてくれよ）
ちなみに、今年（2010年）で『じろの会』は15回

目になります。1995年に後藤先生が定年退職され

た翌年からです。そうなります。これは、後藤先生の挨拶の中から教えていただきました。元生徒より後藤先生の方が頭脳明晰で

はつきり覚えておられます。

先生、脱帽です。

事務局連絡先 大西 静士郎
090-2243-2135



卯の木会

昭和50年卒 明紫会 桑崎 安弘

【卯の木会】は我々が故卯木監督を守る会として、昭和50年に発足致しました。最初は昭和49年の1月3日に、当時の硬式野球部員（50年卒11名、51年卒6名、合計17名）が卯木さんのお宅に新年会として招かれまして、京子夫人のおいしい手料理をたらふく食べさせて頂きました。

翌年私達は明治高校を卒業しますので、同期のスーパージェネレーションが、色紙に【卯木監督を守る会】と大きな汚い字で書き、私たちが寄せ書きをしました。それから一年に一度新年会として集まり、回を重ねる度に人数が増えて、最大で30名ほどで、お邪魔した事もありましたが、あまり

にも大人数で京子夫人が大変ですので、外部の施設で行う事になり、南千住の金太郎寿司や、浅草のふぐ屋など、開催場所を転々としながら開催してまいりました。

平成13年からは、同期の須藤さんがいらっしゃる「浦安ブライトンホテル」にお世話になっております。

平成20年に卯木さんがお亡くなりになった後も何とか開催をしまして、お蔭様で今年で37回目を迎える事が出来ました。

卯木さんは入院されている時に、「俺が死んでも卯の木会は永遠に続ける！」とおっしゃっており、たくさんの方の先輩、後輩仲間達と、卯木さんが大好きでした、

「明治高校」に微力ながら恩返しが出来ればと考えております。

【卯の木会】は野球部OBの会ではなく、明治中学、高校、大学に一日でも在籍した人に資格があり、また会員の推薦があればOKという。

ようは明治が好きで、卯木さんが好きで、仲間が好きであれば、どなたでも会員として迎えられます。

会としての活動は今のところ新年会だけです、今後は範囲を広げて行きたいと考えております。

卯木さんにはたくさんの方の人生教訓を教えてください、仲間を大事にして、お金を使うのなら仲間の所へ落とせ」「男の価値は死んだ時にしか分からない、義理の花輪の数じゃなく、どれだけたくさんの人が、弔問に来てくれるかが大事なんだ」

「男の人生・義理と人情とやせ我慢」などが良く話をされておりました。

私達も卯木精神を継承して、これからも【卯の木会】を発展させて参りますので、皆様方もぜひご参加下さいます様、宜しくお願い申し上げます。

(有)太陽精器製作所
昭和五〇年卒「明紫会」

代表取締役

世古俊之

〒一四三〇〇一五
東京都大田区大森西七二一十
電話 〇三三七六一九八八二
FAX 〇三三七六一九八八二

喫茶ペガサス
後藤義明 S45
フェンシング部

Clarion
後藤勇三 S50
硬式野球部

明治高校を甲子園に送る会

昭和55年卒 紫魂会 渡辺 裕之

第46回総明会総会・懇親会の開催、おめでとうございます。

私も、「明治高校を甲子園に送る会」は、2003年6月に発足しました。

当会は「古豪明治の復活」を信じ、明治野球を愛してやまない有志の集まりです。

会員も明中高のOBはもとよりPTA関係者・他校出身ではあるが明治野球が好きの方も入会して頂いており、門戸を開けたオープンな会になっております。

会員の皆様からの貴重な浄財である年会費は、頑張る選手を支援する為グラウンド整備用具やボール等消耗品の差し入れとして支出させていただいております。

また、毎年6月には明球会（野球部OB会）・父母会と共催で甲子園にむけての激励会を開催しています。

本年も6月19日に明治大学野球部合宿所食堂において大々的に執り行われました。そして7月に開幕した西東京都大会においては、小林監督の下、選手達の活躍でベスト8目まで駒を進めました。

最終戦となった堀越戦、明治の応援席は多くのOB・関係者が応援に駆けつけ、出遅れて球場に着いた私は立ち見での応援となっていました。近いうちに、皆が大声で声援をおくり、割れんばかりの拍手をおくっている光景を目の当たりにして、確

実に一步一步甲子園に近づいていると実感しました。（実は今、甲子園をTVで観ながらこの原稿を書いています。近い将来、甲子園で母校明治を応援しながら原稿を書くことを思いつく）

明治高校を甲子園に送る会入会申し込み先事務局 渡辺裕之 携帯 090-1125-4071 メール 61.urv@rondo.plala.or.jp

紫魂会 渡辺裕之

有限会社トラストワーズイ

金属・アクセサリー企画、製造

代表取締役社長 山田真也（硬式野球部OB）
取締役専務 山田健（硬式野球部OB）

〒113-0044

東京都墨田区八広四丁目八番 千号

電話 〇三・三六八・二・三三三八

明治大学 校友会 会長推薦代議員
明高野球部を甲子園に送る会

会長 山 浦 晟 暉

昭和29年卒

TEL. 03 (3378) 2151

前年度幹事学年挨拶

第45回総明会実行委員長
昭和57年卒 明魂会 染谷 貴男

第46回総明会総会・懇親会の開催、誠におめでとう御座います。

そして、大塚達宏実行委員長を先頭にたくさんの方の幹事学年の皆様の昼夜にわたる努力に、本当に感謝致しております。

さて、私も明魂会では一年間の活動テーマを「明魂の伝承」と位置づけ、多くの方と出会い、お話を聞きし検証をして参りました。

今考えますと、ちょっと堅苦しい、ちょっと肩肘を張っていたかなあ、なんて思ったりしますが、今年度のテーマ「ひとのわ ころのわ」を耳にした時に、大塚実行委員長の体型？人柄が真っ先に頭に浮かび

ました。

人と人との繋がり、心と心の繋がりが…。

正にこれも「明治」だと感心させられたものです。

さて、高校を卒業してから27年ぶりに会う同期は、どんな顔付きだったでしょうか？

初めは、顔も体型も変わり果て（果ててはいないです）、会話もギクシャクしてしまっただけで、幹事学年を終えて、そんな同期と会う度に、去年の今頃は、あんな事をしていたっけ、こんな事をしていたっけ…。そんな会話で持ちきりです。

同期同士でケンカを始めるのがあるかと思えば、中高と一度も口を利いた事が

なかったのに、まるで兄弟の様に仲良くなっちゃった奴…。

そんな同期と共にたくさん苦労をし、悔し涙を流し、また嬉し涙も流し、一年間を走り通した先に、何かがあるのか？ 何が残るのか？

明治を思うたくさんの方の熱い先輩達との出会い。そして、かけがえのない同期達との再会。

「心（魂）の繋がり」と言う事なんだろうか？

今年で46回目を迎えた総明会 総会・懇親会。

益々の発展を願い、まずは明輪会より「わ」を広げて頂き、総明会全学年へ「ひとのわ ころのわ」が広がって行く事を祈念し、挨拶に代えさせて頂きます。幹事学年の皆さん、一年間本当にご苦労様でした。

祝 第46回総明会総会・懇親会

頑張れ！明輪会！！

明 魂 会

昭和57年卒

<http://www.meikonkai.com>

次年度幹事学年挨拶

第47回総明会実行委員長
昭和59年卒 明心会 大山 輝芳

第46回総明会総会・懇親会の開催、本当におめでと
うございます。

第47回総明会実行委員長を務めさせていただきます、昭和59年卒「明心会」の大山輝芳です。私のことを知っている先生方や先輩方の中には、「あの大山が？」と思われる方もいらっしゃるかと思います。

硬式野球部に所属し中学時代も含め6年間、まさに野球のことしか頭になかった「あの大山」が来年度の総明会の実行委員長を務めさせていただきますこととなりました。

私が総明会の幹事学年（実際には実行委員長だったかもしれませんが）を意識したというか意識させられたのが、初めて参加させていただいた第45回総明会で

の「法被の引き継ぎ式」のときでした。

私にとって硬式野球部の2年先輩である染谷実行委員長から同じく野球部の1年先輩である本年度の大塚実行委員長への引き継ぎ。

それを一緒に見ていたやはり野球部の5年先輩の方から「大山、これを見たら再来年の実行委員長、お前がやるしかねえだろ。」と言われたときでした。

この先輩には、「何気なく言った言葉」だったかもしれないませんが、私にとっては今でもこのときの先輩の表情・口調が脳裏に焼き付いています。

ただ、幹事学年は自覚したものの、実行委員長などという大役は自分には到底無理な話で、そのうち誰か相応しい人材が見つかるだ

ろうと思っていました。

それから半年以上たった今年7月、明心会のメンバー6人が集まった中、それぞれの立場などを考えた上、他の5人の推薦を受けて私が実行委員長を務めさせていただきますことになりました。

ただ、これが明治高校の歴史と伝統の重みなのでしょうが、非常に大きな重圧というかプレッシャーを感じるとともに、少し変な言い方になりますが、自分とはかくすごい高校を卒業したんだと幹事学年になろうとする今感じています。

さて、59年卒業生の同期会の名称である「明心会」ですが、これは「男坂倶楽部」の中河孝樹先輩より命名していただきました、深く感謝しております。

第47回総明会の幹事学年を務めさせていただくにあたり、何をどうすればいいのか全く分からない、まだまだ若輩者の集まりの私た

ちです。

ただ一生に一度しか務めることが出来ないこの伝統ある総明会の幹事学年ですので必ず成功させたいと思っています。

その為には先生をはじめとする学校関係者の方々、総明会という重い「たすき」を立派に継承してこられた先輩方、皆様の御協力なしにこの成功はありえないと思っています。私達「明心会」は右も左も分からない状態からの出発です。

これから1年、皆様からのご指導ご鞭撻を頂きながら、一步一步着実に来年の総明会を成功させるべく突き進んでいきたいと思っています。

今後ともよろしくお願い申し上げます。簡単ですがさせていただきます。貴重な1ページをいただき、本当に有難うございました。

本年度幹事学年挨拶

第46回総明会実行委員長

昭和58年卒 明輪会 大塚 達宏

人生の中でなかなか体験
のできない重責ゆえ力不足
の点は多々ありましたが、
目標に向け明輪会の皆と共に
走ってまいりました。

我々は数年前より同期会
を開催して、東京五輪の年
に生まれた学年ゆえ「明輪
会」と命名して結束を固め、
山積する難問に力を合わせ
取り組みました。

現役時代、部活に没頭し
ていたため、殆ど会話をし
たことのなかった同期も多
数参集し、中でも本会報の
担任先生方のご寄稿にもご
ざいましたような、多少や
んちゃだった奴等が(含む
自分)、しっかりと幹事の仕
事をこなしている姿を見る
と感動すら覚えました。

人生の折り返し地点とし
ての本年を振り返りますと、

年々仕事以外の知人との繋
がり希薄になっていた生
活が一変したことを痛感し
ます。

懐かしい同期に会え、社
会の各方面で皆が元気に活
躍している姿を見る度に、
自分も負けられないと思う
気持ちになりました。

色々な壁にあたっても頑
張れるのは、高校時代の部
活や勉強、そして、支えて
くれた友達や先生方のお陰
だと思ひ出させてくれまし
た。正に紫紺の旗の下、大
きな輪を再び拡げてくれた
のが幹事学年でした。

同期との真剣なやりとり
や、会合後の飲み会での楽
しいひと時、こんなに腹を
割って話し合ったのは何年
ぶりだったでしょう。

ゴルフ大会前日、飲んで

そのまま雑魚寝なんて、も
う一生経験しないかもしれ
ません。大変なことも多々
ありましたが、恩師、先輩
後輩、同期の笑顔に支えら
れて小さな輪が大きな輪に
育っていくことに喜びを感
じています。

その輪を更に拡げる試み
として、総会前に明大明治
カミングという、現役とO
Bを結ぶ企画を設けました。
皆々様がご家族と一緒に
「輪」に加わって頂けたら
幸いです。

最後になります、寄付、
広告、会報への寄稿など、
多くのOB、先生、PTA
の皆様には多大なるご協力
を頂戴しました。厚く御礼
申し上げます。

総明会の益々のご発展と
皆様方のご健勝を祈念申し
上げ、幹事学年の挨拶とさ
せて頂きます。

祝 第46回 総明会・懇親会

めい わ かい
明 輪 会本年度幹事学年
<昭和58年卒>

11月20日(土)の総明会には皆様のお越しを心よりお待ちしております。

こころのね

建材・住宅設備機器専門商社

株式
会社 **タカムラ**

高 村 昌 秀 (昭和58年卒)

東京都世田谷区代田5-7-6 ☎03-3414-5101

昭和58年卒 明輪会

齊	辻	市	森	笠	真
藤		川		原	野
俊	康		勇	謙	
英	司	剛	一	介	大



Photo by Joe Shimizu

K-HOUSING TOKYO

株式会社 浜崎工務店

代表取締役 濱崎 吉雄

土地選びのお手伝い・建築設計・施工・リフォームまで

OB割引で設計料10%OFF 図面と模型で丁寧にプレゼンテーションします。
ファーストスケッチまでは無料サービス。お気軽にお問い合わせ下さい。

株式会社 浜崎工務店一級建築士事務所

所長 濱崎 良実(明輪会 昭和58年卒)

はまざき よしみ 一級建築士

日本大学大学院 博士課程修了・博士(工学)
(社)日本建築学会正会員 日本大学非常勤講師
三井不動産販売リアルプランclass4協力建築家

〒120-0046 東京都足立区小台2-17-1
TEL: 03-5902-7887 / FAX: 03-5902-7889
e-mail: y-hama@xa3.so-net.ne.jp

人を見つめる。生きるものを見つめる。

バイオの力で、薬の可能性を広げていく。
私たちは、「協和発酵キリン」です。

KYOWAKIRIN

昭和58年卒 明輪会

並木 功

昭和58年卒 明輪会

株式会社 鴨川商店

鴨川 佳明

東京都江東区新木場3-5-4
TEL 03-3521-5521
FAX 03-3521-5523

一番碾き蕎麦

よしみや

大塚 達宏 (昭和58年卒)

大塚 啓史 (高Ⅲ)

川崎市宮前区小台1-19-5-B1
TEL 044-853-0753
よしみや.jp

昭和58年卒 明輪会

青木経営法務事務所

行政書士 青木 正美

東京都江戸川区南篠崎町4-25-4
TEL 03-3676-5420
FAX 03-3676-5421

昭和58年卒 明輪会

有限会社 遠藤印刷

遠藤 憲治

東京都千代田区飯田橋3-2-3
TEL 03-3262-2025

昭和58年卒 明輪会

(有)クリーニング
アカシヤ

小野 洋

東京都目黒区鷹番3-7-18
TEL 03-3714-0425

昭和58年卒 明輪会

石原クリーニング(株)

石原 清隆

www.ishihara-cl.com

浦岡 大 将

浦岡 学習塾

昭和58年卒

明輪会

公認会計士

堂垣 孝夫

日本料理 手打ちそば

浅草 十和田

メトロ通り 十和田

仲見世通り 梅林堂

昭和36年卒

飯田 和男

東京都台東区浅草1-33-5 TEL 03-3841-5409

すしや通り 十和田

仲見世通り 中富商店

昭和58年卒 明輪会

富永 龍司

東京都台東区浅草1-13-4 TEL 03-3841-7375

第46回総明会 御寄付者一覽

(敬称略)
(八月末現在)

◎総明会行事

評議員クラブOB会懇親会
参加者有志一同
金 七万八千円

◎学校関係

白駿会有志一同
金 六万二千元
硬式野球部父母の会有志一同
金 十一万四千元

◎同期会・クラブOB会

明窓会 (昭和28年卒)
金 三万四千元
明楽会 (昭和31年卒)
金 一万円
41明友会 (昭和41年卒)
金 二万円
紫讃会 (昭和43年卒)
金 七万六千元
男坂俱樂部 (昭和44年卒)
金 五万三千元
明紫会 (昭和50年卒)
金 八万一千元

明々会 (昭和51年卒)
金 三万五千元

男子校根性組 (昭和52年卒)
金 四万七千元

明誠会 (昭和54年卒)
金 十三万一千円

紫魂会 (昭和55年卒)
金 九万七千元

明翔会 (昭和56年卒)
金 十一万五千元

明魂会 (昭和57年卒)
金 十一万九千元

川口明高会
金 三万二千元

ごとう会
金 四万四千元

卯の木会
金 三万円

マンドリン部40〜44年卒合同会
金 一万四千元

放送班 田村会
金 一万円

應援團OB会
金 八万三千元

明水会
金 一万円

◎個人

金十万円

中田 貢弘 (昭和37年卒)

比留間竹郎 (昭和45年卒)

戸張 毅 (昭和47年卒)

岡本 雅仁 (昭和51年卒)

金五万円

中河 孝樹 (昭和44年卒)

金三万円

齐木麻州男 (昭和56年卒)

平野 一哉 (昭和59年卒)

金二万円

狩野 智雄 (昭和56年卒)

平野 由朗 (昭和63年卒)

金一万円

安藤 賢司 (昭和17年卒)

大堀 雅義 (昭和24年卒)

米山 耕右 (昭和27年卒)

持丸 孝雄 (八丈島分校卒)

藤本 芳徳 (昭和30年卒)

長野 敏樹 (昭和32年卒)

向殿 政男 (昭和36年卒)

渡辺 昭宏 (昭和38年卒)

田中 一夫 (昭和41年卒)

小澤 清一 (昭和42年卒)

亀井清一郎 (昭和42年卒)

平塚敬太郎 (昭和42年卒)

森 秀男 (昭和42年卒)

中村 正容 (昭和43年卒)

吉田耕太郎 (昭和45年卒)

下村 敏輝 (昭和46年卒)

内田 茂 (昭和47年卒)

廣野 宏士 (昭和47年卒)

板橋純三郎 (昭和48年卒)

名倉 豊 (昭和48年卒)

佐藤 眞弘 (昭和49年卒)

宮下 守正 (昭和49年卒)

山崎 秀樹 (昭和50年卒)

熊倉 章雄 (昭和54年卒)

安藤 信夫 (昭和56年卒)

小林 功治 (昭和56年卒)

小泉 勝 (昭和57年卒)

染谷 貴男 (昭和57年卒)

田中 幹浩 (昭和57年卒)

幹事学年寄付者一覧

総額 金 六十四万五千元

御 礼

青木 正美	秋間 聡郎	安達 長生	甘利 英二	石井 利明	石川 恵資	石原 清隆	石原 康広	伊藤 由満	井上 直樹	今井 康博	上松 正明	浦岡 大將	大沢 厚市	大竹 彰	大塚 達宏	大野 久芳	岡村 徹	小沢 浩明	小野 洋	笠原 謙介	門川 隆之	鴨川 佳明	百木 康二	苅部 大	岸部 大	杵水 大	瀬 哲也
齊藤 俊英	酒井 重則	佐藤 勝也	佐藤 敏雄	沢田 康夫	清水 鉄也	白岩 智久	須崎 剛	高橋 浩	高橋 正純	高村 昌秀	田中 賢司	田村 高志	辻 康司	堂垣 孝夫	友田 智	豊田 主税	中嶋 則義	長島 健児	並木 功	西秋 輝彦	西谷 清二	馬場 健二	真野 大	宮浦 太	宮寺 克己	森 勇一	森久保 弘

注 意

総明会は、「個人情報保護の保護に関する法律」(個人情報保護法)に規定される個人情報取扱事業者として、独自に「個人情報保護に関する規則」を策定し、個人情報保護法・その他法令に照らして適正且つ公正な手段によって会員に関する情報を収集し、お預かりした情報を適切に取り扱うとともに、正確性・機密性の保持に努めてまいります。この規則は本会報の製作にも生かされております。

第46回総明会総会に向けて皆様から多大なるご寄付並びに広告を頂きました事に深く感謝致します。本年度は私共明輪会が幹事学年として運営の表舞台に立たせて頂いておりますが、私共の力だけではとても成し遂げることも出来ないことであったことは言うまでもありません。

各学年の同期会、班クラブOB会等を中心とした「ひとのわ」、明治高校・中学校に対する母校愛を求心力とした「こころのわ」、そしてそれらを丁寧繋ぎ合せてきた先輩諸氏のご努力と実績に支えられた幹事活動はとても幸せな気持ちで行うことが出来ました。

昨年の総会終了後に幹事学年としての引き継ぎを受けた時点では、高いハードルと目の前に横たわる「不況」という環境にどうしたら良いのかという不安もありました。

しかし、実際に先輩方に連絡をすると何の迷いもなく、むしろ積極的に御協力して頂ける方々ばかりでした。結果としてレールの上を走ることく活動が出来たのは皆様の温かい支えによるものと大変感謝しております。

今年は「明大明治カミンク」で現役学生と交流し、これまで先輩方が築き上げてきた伝統と繋ぎ合せて新しい時代へと「わ」を広げることが出来ることに感謝の気持ちで一杯です。皆様に心から御礼申し上げます。

明輪会 寄付広告委員長 秋間 聡郎

総明会（明治大学付属明治高等学校同窓会）会則

第1章 総則

第1条 本会は、総明会と称する。

第2条（目的） 本会は、会員相互の結束と親睦を図り、且つ母校のためにこれを賛助することを目的とする。

第3条（事業及び会計処理） 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- 1 母校に対する賛助活動を推進すること。
- 2 会員名簿を整備、管理すること。
- 3 会報などの広報物を発行すること。
- 4 同期会の結成を助成し、奨励すること。
- 5 班部OB会の開催を助成し、奨励すること。
- 6 その他、本会の目的を達成するために必要なこと。

第3章 役員

第8条（役員の種類及び定員） 本会に理事10人以上20人以内及び監事2人を置く。

- ② 本会に会長1人、副会長3人以内、専務理事1人、事務局長1人、会計1人を置く。必要であれば、本会に常務理事を若干名置くことができる。

第9条（役員の選任）

会長及び副会長の選任は、別に定める「会長及び副会長選出規定」に基づいて選定し、理事会及び評議員会の承認を受け、総会の決議をもってこれを選任する。会長及び副会長はその就任と同時に理事となる。但し、任期中途で会長及び副会長を補充すべき場合は、「会長及び副会長選出規定」に準じて選定し、理事会及び評議員会の承認を得て選任することができる。この場合は選任

② 直後の総会において承認を得るものとする。会長及び副会長以外の理事並びに監事（以下「会長選任役員」という）は、会員の

③ 選任後最初の評議員会の承認が得られなかったときは、選任されなかったものとみなす。これにより会長選任役員に欠員が生じたときは、会長は欠員のないように直ちに役員を選任しなければならない。

④ 専務理事、常務理事及び事務局局長並びに会計は、副会長の同意を得て、会長が理事の中から選任する。

⑤ 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

⑥ 会長は、副会長の同意を得て、いつでも会長選任役員を解任することができる。これにより会長選任役員に欠員が生じたときは、会長は欠員の無いうちに直ちに役員を選任しなければならない。

⑦ 理事は評議員を兼務できない。

（理事会）

第10条 本会の会務の執行は、理事会がこれを決する。

- ① 理事会は理事をもって構成する。
- ② 理事会は会長がこれを招集する。
- ③ 理事会の議長は、会長又は会長が指名したものがこれにあたる。
- ④ 理事会の議事は、出席理事の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決することによる。
- ⑤ 理事は書面により理事会の決議に加わるることができる。

第2章 会員

（会員資格）

第5条 本会は、旧制、新制明治中学校、明治大学八丈高等学校もしくは明治高等学校の卒業

⑦ 監事は、理事会に出席し意見を述べることを
できる。

(会長等の職務)

第11条 会長は本会を代表し、会務を総理、執行する。

② 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、あらかじめ会長が指名した順位にしたがい会長の職務を代行する。

③ 専務理事は、会長の指揮のもとに会務を総括して司り、かつ事務局を総括する。

④ 常務理事は、専務理事を補佐する。

⑤ 事務局長は、専務理事の指揮のもとに事務局を統括する。

⑥ 会計は、本会の会計及び財産の状況並びに会務の執行を行う。

⑦ 理事は、会務を分担する。

(監事の職務)

第12条 監事は、本会の会計及び財産の状況並びに会務の執行を監査する。

② 監事は、監査の結果を定時総会に報告する。

(名誉役員)

第13条 本会に名誉会長、名誉顧問及び顧問、相談役を置くことができる。

② 名誉会長、名誉顧問及び顧問、相談役は、本会又は母校に永年にわたり特別に功勞のあったものの中から理事会が推薦し、評議員会の承認を得て会長がこれを委嘱する。

③ 学校法人明治大学の総長、学長は、その在任中、名誉顧問としてそれぞれこれを推薦する。

④ 明治大学付属明治高等学校の校長は、その在任中、顧問を推薦する。

⑤ 相談役は、会務に永年にわたり功勞のあった者の内から理事会が推薦し、評議員会の承認を得て会長がこれを委嘱する。

第4章 総会及び懇親会

(総会の招集)

第14条 定時総会は毎年1回開催し、臨時総会は必要のあるときに開催する。

② 総会は、会長がこれを招集する。

③ 総会の招集は、本会が発行する会報に掲載し、もしくはその他の方法で会員に通知して行う。

(総会の議事)

第15条 総会は、この会則に定める事項及びその他の重要な事項のうち理事会が提案し、評議員会が必要と認めた事項を総会における審議事項として決議する。

② 総会の議長は、会長又は会長の指名したものがこれにあたる。

③ 総会の議事は、出席会員の過半数でこれを決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(懇親会の開催)

第16条 懇親会は、会員の懇親を目的として毎年1回開催する。

② 懇親会の開催に関する事項は、理事会が決定し、評議員会の承認を得て、会長が会員に通知する。この通知は、総会の召集通知に準じて行う。

第5章 委員会

(委員会の設置)

第17条 本会は、第2条の目的の達成及び第3条の規定に掲げる事業の遂行のために必要な事項を調査、研究、審議し、または実施する機関として委員会を設けることができる。

② 委員会は、会則に定めるほか理事会の決議により設置する。

③ 委員会は、委員長1人及び委員2人以上をもって構成する。

④ 委員会は、理事会の承認を得て会長がこれを委嘱し、委員は、会員及び特別会員の中から会長の同意を得て委員長がこれを委嘱する。

⑤ 委員会は、委員長がこれを主宰する。

⑥ 委員長は、その就任と同時に理事となる。

第6章 評議員及び評議員会

(評議員)

第18条 本会に、卒業学年毎に2人以内の評議員を置く。同期会は、同期会の会員のうちから評議員を選任して本会に届けるものとする。

② また、総明会に登録した支部OB会毎に1人の評議員を置くことができる。評議員を選任した場合は、本会に届けるものとする。

③ 同期会において評議員を選任できない事情があるときは、会長は、当該学年のために同学年の中から仮評議員を選任できる。

④ 総明会に登録すべき支部OB会が形成されていないか、もしくは支部OB会に評議員を選任できない事情がある場合は、評議員を置くことができる。

(評議員の職務)

第19条 評議員及び仮評議員は、評議員会に出席するほか、本会の事務のうちその属する学年もしくは同期会及び支部OB会の関係で必要な事務を処理する。

② 評議員及び仮評議員は、適宜代行者を選任して評議員会への出席、その他の事務処理を代行させることができる。

(評議員会)

第20条 評議員会は、この会則に定める事項及びその他の重要な事項につき議決する。

② 評議員会は、会長が適宜これを招集する。

③ 評議員会の議長は、会長もしくは評議員の中から会長が指名したものがあたり、その進行は事務局長が行う。

④ 評議員会の議事は、出席評議員、仮評議員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

第7章 同期会

(同期会)

第21条 会員は、学年ごとに同期会を組織するものとする。

② 同期会は、同期会名簿を整備し、運営に関する準則を定めるものとする。

③ 同期会は、その選任した評議員の職務の執行を助けなければならない。

④ 同期会は、同期会の総会を開催したときは、本会に報告するものとする。

第8章 支部OB会

(支部OB会)

第22条 会員は、在学中在籍した支部ごとに支部OB会を組織することができる。

② 支部OB会は、OB会名簿を整備し、運営に関する準則を定めるものとする。

③ 支部OB会は、その選任した評議員の職務の執行を助けなければならない。

④ 支部OB会は、OB会の総会を開催したときは、本会に報告するものとする。

第9章 会計

(会計の分類と会計年度)

第23条

本会の会計処理は、一般会計と特別会計に区分して行い、特別会計はこの会則に定めのある場合の他、理事会において特に定めた会計に関する会計処理、一般会計を特別会計を除いたすべての会計処理とする。

② 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

③ 理事会は、本会の財政基盤を安定させ、また第3条に定める事業の遂行資金を形成するため基金を積立てる努力をしなければならない。

② 基金は、特別会計(以下「基金特別会計」という)で処理する。

③ 入会費、寄付金のうち理事会で基金に組入れることを決議したもの、並びに基金へ組入れることを目的とする寄付金(以下「特別基金」という)は、基金として基金特別会計に計上し、この会則に定めのある場合を除き支弁することはできない。

④ 基金は、財政基盤基金と事業遂行基金をもって構成する。

⑤ 基金への組入金は、財政基盤基金の総額に満すまで優先してこれに充当する。

⑥ 財政基盤基金の総額は、総会の決議により決定しもしくは変更する。この場合、第26条の定め(特別決議)を準用する。

⑦ 財政基盤基金は、原則として取崩すことができない。ただし、総会において承認を得た場合はこの限りではない。この場合、第28条の定め(特別決議)を準用する。

⑧ 基金のうち、財政基盤基金の総額を超える事業遂行基金とする。

⑨ 事業遂行基金は、第3条1項1号に定める事業もしくは理事会で決議した事業に支弁

⑩ するため、理事会及び評議員会の決議によりこれを取崩し、当該事業のために支弁することができ。

会長は、緊急に処対を要すると認めた事項(以下「緊急処理事項」という)のために、副会長の同意を得て、事業遂行基金を取崩し緊急処理事項に支弁することができる。

⑪ この場合、会長は、緊急処理事項が生じた後、最初に開催される総会において、当該事項の緊急性及び事業遂行基金取崩しの必要性を説明し、取崩しについて承認を得なければならない。

事業遂行基金を支弁して行う事業を検討するため、本会に基金事業委員会を設置する。第17条4項の定めにかかわらず、この委員会は委員長1人と委員8人をもって構成し委員は理事の中から委員長が選任する。

(経費)

第25条 本会の経費は、入会費(ただし基金組入れ分を除く)、終身会費及び寄付金(ただし基金組入れ分を除く)並びに一般会計に属する財産から生じる果実その他特別会計に属さない収入をもつて支弁する。

(予算)

第26条 会長は、会計年度の終了する前に、理事会の承認を得て翌会計年度の予算を作成する。翌会計年度の予算は、評議員会の承認を得て、総会に提出してその承認を得なければならない。

② 前項により、会長は、その会計年度の最後

に開催される評議員会に翌会計年度の予算を提出し、その承認を得た場合は、翌会計年度の初めから総会開催の日までの間、その予算を執行できるものとする。

第27条 (決算)

本会の収入支出の決算は、監事がこれを監査し、会長がこれを総会に提出して報告しなければならない。

②

基金特別会計の決算報告においては、財政基盤基金と事業遂行基金を区別し、それぞれの収支の概要及び決算時の在り高のほか、特別基金の累計額を報告するものとする。

第10章 補則**第28条 (特別決議)**

本会の会則の改正は、総会における出席会員の4分の3以上の多数による決議によらなければならない。

第29条 (届出)

会員は、氏名、住所及び職業を変更したときは本会に届け出るものとする。

②

同期会は、同期会員名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。

③

班部OB会は、OB会名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。

附則**(経過措置1)****第1条 (年会費同期会)**

前回の会則の改正が施行された平成11年1月1日以前に会員となった者で構成される同期会(以下「年会費同期会」という)が納入する年会費については、次に会則改正のあるまで改正前の第7条の定めによるものとする。

第2条 (年会費)

同期会の納入する年会費は、第25条の定める経費に支弁する。

(経過措置2)**第1条 (年会費班部OB会)**

班部OB会は、本会を運営する費用に充てのための年会費を納入するものとする。年会費の額及びその納入方法は、評議員会で定める。

第2条 (年会費)

班部OB会の納入する年会費は、第25条の定める経費に支弁する。

(施行期日)

この会則の改正は、平成18年12月3日より施行する。

(参考)**改正前第7条 (年会費)**

同期会は、本会を運営する費用に充てするための年会費を納入するものとする。年会費の額及びその納入方法は、評議員会で定める。

総明会 会長及び副会長選出規定

会則第9条1項に基づき、会長及び副会長の選出は本規程により行う。

(選出委員会の設置、解散、委員の選出)**第1条**

会長及び副会長の選出を行う場合は「選出委員会」(以下委員会という)を設置する。委員会は役員改選又は補充の時期に合わせ、十分な期間を考慮し、理事会が設置する。

③

委員会の構成は、委員長1人、委員6人とする。委員の選出は理事会及び評議員会で各々3人とする。委員長は会長が指名したものがこれにあたる。

④

委員会の解散は、総会において会長及び副会長が選出された時点とする。

(会長、副会長の選出、承認について)**第2条**

委員会は、会長及び副会長の選出にあたり、推薦及び立候補を受け、その者をもって候補者とする。

②

候補者の中より、会長及び副会長候補者を

選出する。選出においては全員一致を原則とするが、定員に絞り込めない場合は、その状態で選出終了とする。

③ 理事会は、委員会より選出された候補者の承認を行う。

④ 評議員会は、理事会で承認された候補者の承認を行う。

⑤ 評議員会において承認された会長、副会長は、総会の決議をもって、これを選任する。

(理事会の承認)**第3条**

② 委員会より選出された会長候補者が1名の場合、理事会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

③ 委員会より選出された会長候補者が2名以上の場合、理事会において投票を行い、最も得票数の多い候補者を会長候補者として承認する。

④ 委員会より選出された副会長候補者が3名の場合、理事会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

⑤ 委員会より選出された副会長候補者が4名以上の場合、理事会において投票を行い、得票数の多い順に3名を副会長候補者として承認する。

⑥ 評議員会の承認

⑦ 第4条 理事会より選出された会長及び副会長候補者は、評議員会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

⑧ 第5条 (会長、副会長の資格)

会長及び副会長は、総明会会員として20年以上在籍し、かつ評議員又は理事を経験していることを資格とする。

この規定は、平成18年12月3日より施行するものとする。

平成22年 7 月吉日

明治大学付属明治高等学校同窓会
「総明会」会員 各位

明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会
総明会会長 尾島 育二郎

明治高校「創立100周年」記念事業へ寄付のお願い

母校明治高校は2008年4月より、更なる飛躍を目指して長年慣れ親しんだ神田駿河台（猿楽町）から調布へ移転し、男女共学の学校として新たな歴史を歩み始めました。

そして、2012年には、母校が学校創立100周年を迎え、さらに歴史の重みを具えた学校となります。

そこで「総明会」では2008年3月に調布校舎移転記念品を母校へ寄贈致しました。

さらに、創立100周年記念品を寄贈する計画とそれに伴う寄付の募集を平成18年度より、会員の皆様にご寄付のご協力をお願いしておりますが、お陰様で当初目標の1千万円を平成21年度にて達成することが出来ました。

これもひとえに会員の皆様の格別なご厚情の賜物と深く感謝を致しております。

現在2012年に行われる予定の記念事業について、「創立100周年記念事業委員会」が発足し事業内容について検討を重ねている所でございます。

会員の皆様には今後の母校の飛躍と発展の為、100周年を迎える2012年まで引き続き記念事業への寄付をお願いすることについてご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

なお、創立100周年記念に際して寄贈する記念品は、今後、理事会、評議会にて承認を受けたものを寄贈する予定でございます。

（注）税控除(寄付金控除)の証明書の発行について、皆様のご寄付の年度ではなく、総明会としてまとめて学校に寄付行為を行なう2012年の4月以降、証明書が必要な方へご寄付を頂いた総額にて発行（後日、郵送）される予定ですのでご注意ください。

記

1. 寄 付 金 額 1口 1万円以上
(平成24年まで、複数回数の納付可能です。)
2. 寄付募集期間 2012年3月31日まで
3. 申 込 先 同封の「郵便振込用紙」により、お近くの郵便局にて振込みをお願いいたします。
 なお、お手数ですが管理の関係から通信欄に「明治高校卒業年月」(例：昭和49年3月卒)を記入してください。
 また、税控除の証明書が必要な方は、上記に加えて「明治大学の卒業学部名」と「証明書必要」と記入してください。
4. 振 込 先 口座番号 00170-6-93825
 加入者名「明治高等学校同窓会総明会」
5. 問 合 せ 先 総明会・会計
 中村 正容 TEL(携帯)090-4411-1684
 総明会・副会計
 佐藤 眞弘 TEL(携帯)090-8500-5447
 狩野 智雄 TEL(携帯)090-1534-8396

創立百周年 御寄付者一覽

(敬称略)

北村 元廣 (昭和39年卒) 金 百万円	尾島育四郎 (昭和41年卒) 金 四十万円	向殿 政男 (昭和36年卒) 金 三十万円	吉田耕太郎 (昭和45年卒) 金 三十万円	佐藤 仁 (昭和39年卒) 金 二十万円	男坂俱樂部 (昭和44年卒) 金 二十万円	二九会一同 (昭和29年卒) 金 十五万円	明翔会 (昭和56年卒) 金 十万円	狩野 智雄 (昭和56年卒) 金 十万円	別府 隆彦 (昭和18年卒) 金 五万円	鈴木利彦 (昭和23年卒)	尾島雄三郎 (昭和34年卒)	高石秀雄 (昭和37年卒)	阿部 正行 (昭和40年卒)	神崎 浩昭 (昭和56年卒)			
中島 富之 (昭和27年卒) 金 三万円	黒須 静夫 (昭和38年卒)	山縣 文男 (昭和45年卒)	山口 敏郎 (昭和3年卒) 金 二万円	外山 大 (昭和15年卒)	石田 利夫 (昭和18年卒)	車 健一 (昭和26年卒)	杉 健次郎 (昭和42年卒)	稲垣 秀明 (昭和44年卒)	高橋 淑浩 (昭和45年卒)	佐藤 眞弘 (昭和49年卒)	岡本 雅仁 (昭和51年卒)	中村 哲士 (昭和37年卒) 金 一万五千円	山口 国敏 (昭和2年卒) 金 一万円	染矢 太郎 (昭和13年卒)	林 幹夫 (昭和18年卒)	藤田 辰雄 (昭和19年卒)	林 忍 (昭和18年卒)

坂本 哲郎 (昭和25年卒)	吉田 満 (昭和27年卒)	小松 原和修 (昭和28年卒)	秋元 宏信 (昭和28年卒)	井野 川博昭 (昭和28年卒)	鶴見 祐策 (昭和28年卒)	高橋 潔 (昭和32年卒)	堀部 欣也 (昭和33年卒)	村田 保廣 (昭和36年卒)	森 敏孝 (昭和37年卒)	戸倉 正雄 (昭和37年卒)	諸井 靖次 (昭和38年卒)	岩間 勝雄 (昭和38年卒)	松下 義超 (昭和40年卒)	広渡 義紀 (昭和41年卒)	平野 雅久 (昭和41年卒)	鶴松 房治 (昭和43年卒)	鈴木 忠男 (昭和43年卒)	関野 雄二 (昭和44年卒)	藁谷 豊 (昭和44年卒)	中河 孝樹 (昭和44年卒)	小川 滋 (昭和44年卒)	毛塚 真次 (昭和44年卒)	高津 繁夫 (昭和44年卒)	原田 正知 (昭和44年卒)	福田 忠伸 (昭和46年卒)	伊達 浩二 (昭和51年卒)	石渡 孝輔 (昭和56年卒)	山田 英明 (昭和56年卒)
-------------------	------------------	--------------------	-------------------	--------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

倉形 聡 (昭和56年卒)	富田 信和 (昭和56年卒)	山崎 哲夫 (昭和57年卒)	古沢 天 (昭和61年卒)	辻村 誠之 (昭和62年卒)
------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------

桑原 精一 (昭和26年卒) 金 八千円	米山 耕右 (昭和27年卒)	宇田川 雄弘 (昭和30年卒)
----------------------------	-------------------	--------------------

守田 満 (昭和24年卒) 金 五千円	藤田 拓也 (平成18年卒)
---------------------------	-------------------

和智 秀樹 (昭和48年卒) 金 二千元

合計 三百八十一万一千円

前記は、平成20年4月1日から同22年3月31日までの2年間に寄付頂いたものです。平成22年3月31日現在で総明会会計にて確認できたものを掲載させて頂いております。

平成20年3月31日時点の六百九十九万二千円と併せて、累計で一千万三千円となります。

編集後記

昭和58年卒 明輪会

オープンキャンパスの取材も終わりに近づき、紫紺ホールで応援指導班の公開応援を見る機会がありました。在校生バスケット部に所属していた私は、体育祭や文化祭等の学校行事以外「応援」のことを特別に思ったことは殆ど無く、むしろそれが当たり前に思っていました。

今回も何げなく見ていたのですが、全国の中学校や高校で応援団を持った学校がどのくらいあるのだろうか、何曲ものオリジナルの応援歌をみんなで歌える学校がいくつあるのだろうか、という思いがふと湧いてきて来て、「明治に通ってたんだなあ」と、当時のことが次々と思いだされ、とても暖かい気持ちに包まれました。年なんですからね。ご寄稿頂いた皆さま、会報委員の先輩方、同期のみんな、可愛い後輩達、ご協力頂いた多くの方々お一人

お一人に心よりお礼申し上げます。そして今、会報を読んでもうださっている「あなた」に心から感謝いたします。
(並木 功)

数年前に総明会の幹事学年というのを知り、一昨年会報なるものがあることを知り、昨年初めて会報委員になってからは、おかげさまでいろんな出会いがありました。感謝。
(青木正美)

あまりお役に立てずに申し訳ございませんでした。今回のお手伝いは、原体験の再確認とでも申しました。うか？自分探しの小さな旅をしたような感じがいたしました。
(遠藤憲治)

明治といえば独立自治・質実剛健、このキーワード無しに語ることはできません。無駄の排除・合理化・均質化といったことばかりが叫ばれる昨今、時代遅れと言われようとも逆に、このキーワードの思想の中にある「無用の用」を大切に、

これからも明高健児OBとして人生を全うしたいと思っています。
(大竹 彰)

全ての「わ」は、学校訪問やOB会訪問から情報を得ることで始まりました。学校図書館で先輩方が後世に伝えるために遺した貴重な一次資料から東京五輪のわを見つけ、日本ライフル射撃協会の明大スポーツ振興事務室の関川様、明大射撃部の皆様と「ひとのわ」を繋げて、高徳先輩に辿り着いた時の感激は忘れられません。

総明会腕章を付けての度重なる学校訪問に「また来たの！」という先生方からの有難い言葉や頂戴しなごら、棟朝君や荻野さんご取材を快諾して頂き、そこには「明治」に連帯する「このころのわ」を感じました。無茶な要望にもすぐに対応して頂いた吉田先生、迷惑ばかりおかけしたのに最後まで見捨てずに付き合ってくれた先輩、そして困らせかけた後輩、そして助けてくれた言にも優しく助けてくれ

た同期のみんな。ありがとうございます。うございます。
人一倍「ひとのわ」このころのわ」を体験できました。
(西秋輝彦)

表紙作成にあたって

縁あって、今回表紙のデザインを担当させて頂きました。

おわりのように、明輪会の「輪（わ）」をモチーフにMとからめてアイキャッチを作成いたしました。想像にお任せするとして、去年の会報広告でキャッチフレーズにした「ひとのわ」このころのわ」が、この様なかたちになって、本当にうれしく思います。二十数年ぶりの再会、それからさらに4年。会えばすぐあの頃に帰れる仲間たち。時間に研磨されたもの、赦されたもの。そんないろいろな輪が笑顔と共にさらに行けるように願っております。
(新町研作)

住所変更時のお願い

総明会名簿委員会では総明会会報、総明会からのお知らせが皆様のお手元に、一通でも多く確実に届くよう各学年の評議委員を通じて総明会会員名簿の管理を行なっております。

お引越し等で住所が変わられた方はお手数ですが総明会専務理事までご連絡いただきますようお願いいたします。

連絡先

総明会専務理事

竹澤 啓

電話

03・9675・9955

FAX

03・3675・9922

E-mail

takekawa@r2.dion.ne.jp

お礼とお詫び

会報委員会一同多くの総明会会員の皆様から、この会報誌発行にあたり、ご寄稿及び貴重なお写真の提出をいただきました。心より御礼申し上げます。

紙面の都合上、全部を掲載することができませんでした。

また、文章中においても、万人が読むのに不適切かと思われる表現等につきましては、会報委員の責任で割愛・表現の変更をさせていただきますました。

会報委員全員で文章を校正いたしました

点もあるかと思いますが、至らぬ点もあるかと思えます。

何卒ご理解いただきます様お願い申し上げます。

第46回 総明会実行委員会

実行委員長

大塚 達宏

副実行委員長

鴨川 佳明

式典委員

真野 大

伊藤 由満

明大明治カミング委員

西谷清二郎

ゴルフ委員

高橋 浩

会報委員

森久保泰弘

寄付広告委員

荻部 大

並木 功

大野 久芳

青木 正美

坂井周太郎

高村 昌秀

秋間 聡郎

川嶋 潤

山崎 将行

門川 隆之

堂垣 孝夫

監査委員

大熊 健介

名簿委員

高橋 浩

事務局

新町 研作

表紙デザイン

表紙デザイン

表紙デザイン

表紙デザイン

祝 第46回総明会総会

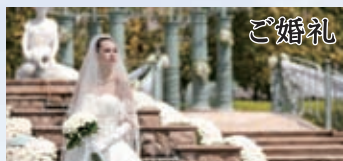
OKURA
HOTELS & RESORTS

ご宴会



03-5683-5700

ご婚礼



03-5683-0521

ご宿泊



03-5683-5755

HOTEL
East
21
TOKYO

オークラ ホテルズ & リゾーツ

ホテル イースト21東京

〒135-0016 東京都江東区東陽6-3-3 TEL 03-5683-5683(代表)

www.hotel-east21.co.jp



【発行】 明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会 総明会
〒182-0033 東京都調布市富士見町 4-23-25
明治大学付属明治高等学校内
Tel. 042-444-9100
<http://www.meiji.cside7.com/>

【編集】 明輪会（めいわかい / 昭和58年卒）
総明会 会報委員会

【印刷】 赤岩印刷